

85  
55

Ⓜ

051808-001-5

85-55

基本戰術摘要解義(訂正增補版)

雲外居士/著

M33

BFB-0665





89  
155

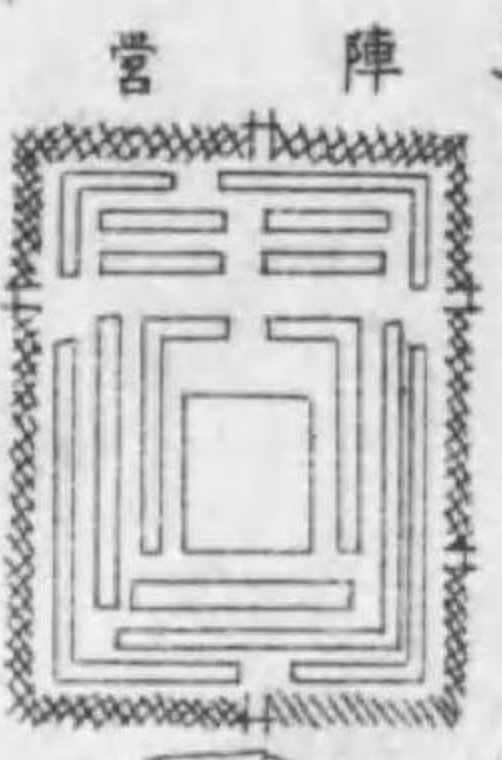
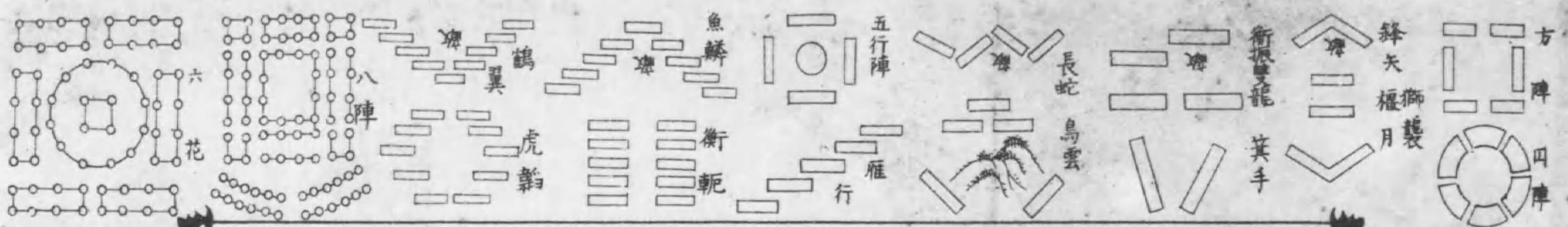
雲外居士著

訂正增補

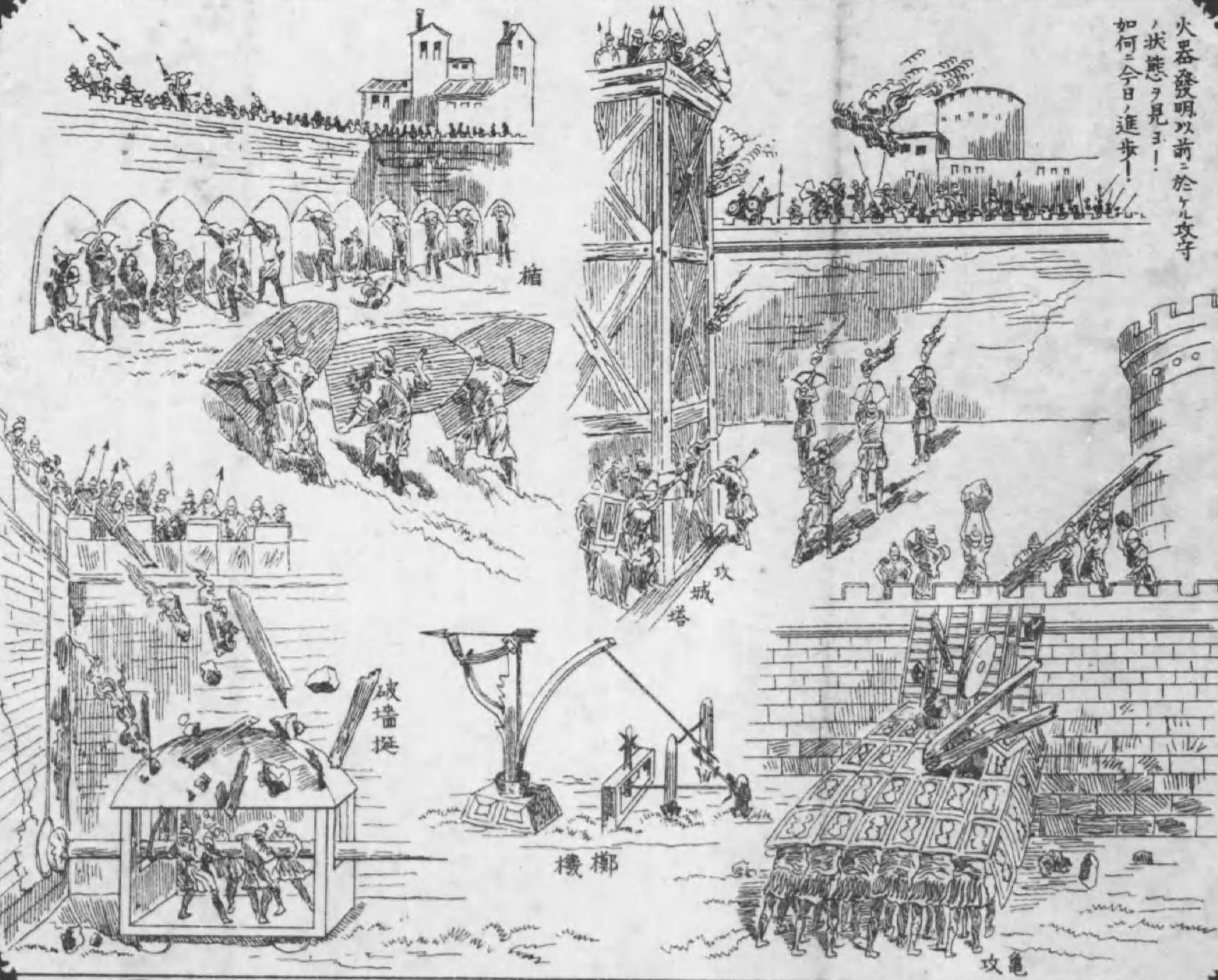
基本戰術摘要解義 第一卷

川流堂小林又七發行

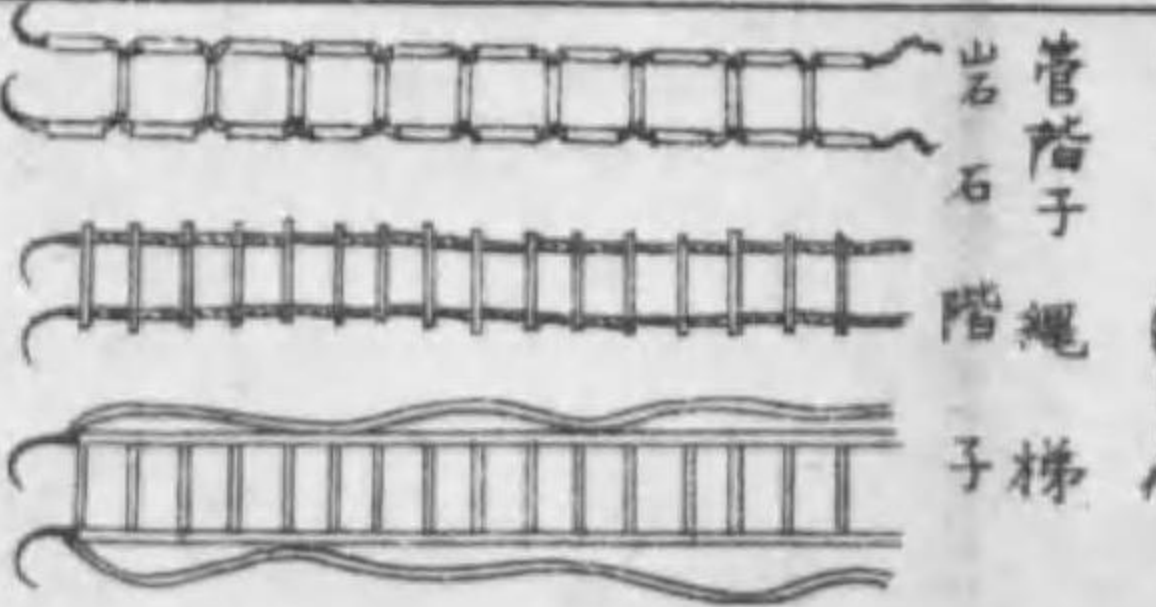
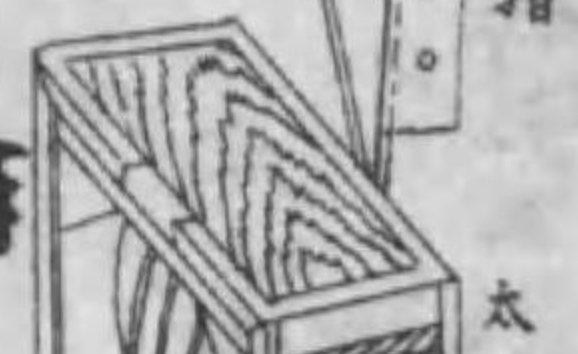
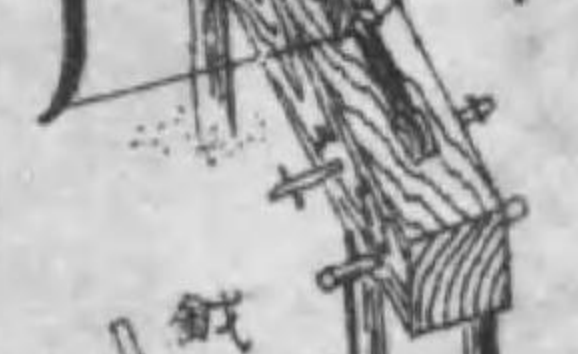




武者走大走



火器發明以前に於ては攻守の狀態を見よ！如何に今日進歩！





### 序言

本書は元來江湖諸君の研究資料に供するの目的を以て最初より著述したる者にあらず唯た著者等のいたすら草紙に外ならざりし然るに諸彦の勸告に由て發行はなしたるもの、前陳の次第なるを以て固より不完全なるを免せず各位幸に此等の遺漏を補ひ賜はん爲めに本文紙面に別の上欄を設けり即ち此上欄は遺を補ひ漏を充たすの余地となし併せて著者が諸者の閲讀に便ならしめん爲めの註記を載するに供せり

著述上各兵家の(参考書中に記せる各書)所説紛々として決せざる件は





概ね各外國兵事新聞に由て近今の學說を斟酌し以て斷案を下せり然るも新材料なく爲めに遂に斷案を下す能はざりし件は其儘諸說を陳列して參考に供し置けり殊に外國兵書諸新聞を參考に供するに當り悲哉著者が各國の語學に不熟なるを以て其譯出したる所の言辭が文を爲さず或は了解に苦しき所もあらん是を特筆して謝し置かんとする所なり

各局部各専門の事柄に就き本書述ぶる所の外尙ほ深く研究を要せらるゝ節は本書參考書目中の各書を閲讀せらるるを敢て遺憾なかるべし

●基本戰術摘要解義ノ目的

方今戰術ノ研究ニ資スル書籍其數少シトセス然レトモ概ネ其所說局部ニ留マリ一般ニ諸原則ヲ網羅スルモノナシ例ヘハ甲ハ戰鬪ノミ乙ハ野外勤務ニ屬スルコトノミ丙ハ戰略統帥ニ關スルコトノミ丁ハ補助學ニ關スルコトノミ等ノ如シ故ニ全般ノ戰術戰略ヲ一通リ了解セント欲セハ諸種ノ書籍ヲ閲讀シタル後ニ非ラザレバ能ハズ是レ其研究ニ時日ヲ費スコト多キノミナラズ其勞又尠ナカラズ乃チ本書ハ短時日ニ於テ其勞少ナク迅速ニ諸般ノ原則ヲ了解シ普通作戰ノ統帥ニ支障ナキ智識ヲ與ヘント欲スルモ



ハナリ、故ニ、萬書ヲ集メテ、始メテ、知リ、得ベキ、原則ヲ、僅ニ、此  
一書ニ、悉皆、綱羅シ、俗言セハ、戰略戰術原則ノ、大字典タラシ  
ムルニアリ

●基本戰術摘要解義著述ノ方法

基本戰術ノ原則ハ悉皆綱羅記述セリ然レトモ其原則ノ由  
テ生スル演約的理由ノ説明等ニシテ既ニ士官學校其他將  
校團教育等ニ由テ普ク教授サレアルベキ者ハ勉メテ節畧  
シ唯タ其要點ノ結果ノミヲ記シ以テ著述ノ順序ヲ規正ス  
ルニ留メ成ルヘク煩雜ヲ避ケ單簡ニ速ニ要點ヲ了解シ易  
キカ如クス但シ普通通知ラレアル平易ノコトモ時トシテハ

記述セリ是レ他ノ照應引證等ノ爲メ著述ノ手段上已ムヲ  
得サルコトナレハ幸ニ諒察ヲ乞フ

第一篇乃至第四篇ハ戰略戰術ノ學理的上原則ヲ述ヘ就中  
想定ニ從ヒ作戰ノ經過情況ヲ現出セシメテ説明スルニ  
アラサレハ充分理解セラレ難キ件、並ニ想定ニ從ヒテ説  
明スルヲ利益ト思考シタル件ハ唯タ其基礎ノ原則ノミ  
ニ留メタリ而シテ其精細ハ第五篇ニ遜ルコト、セリ  
第五篇ハ諸原則ヲ實際ニ應用スル方式研究ヲ主トシ所謂  
應用戰術ノ研究ニ資シ併セテ第一篇ヨリ第四篇ニ至ル  
間ニ於テ説述シ能ハサリシ戰略戰術ノ原則ヲ例證シテ



說述ス

第六篇ハ上陸作戰並ニ國防作戰ノ原則並ニ應用ノ一端ヲ述ブ

第七篇ハ要塞ノ攻守法並ニ之レニ附帶スル諸原則ヲ述ブ

第八篇ハ守勢攻勢ニ於ケル各種後方連絡並ニ連絡線上ニ

於ケル諸原則ヲ述ブ

補遺トシテ著述ノ順序上第一篇乃至第八篇中適當ノ條項

ニ於テ説明シ能ハサリシ件並ニ戰略戰術ト互ニ相待ツ

テ緊要ナル補助學ヲ述ブ

附録トシテ軍事學諸般ノ必要件ヲ摘記シ幹部演習圖上對

### 策兵棋野外演習等ノ良友顧問タラシム

#### ●參考書目

步兵操典、騎兵操典、砲兵操典、工兵操典、野外要務令、諸教範、Meckel氏著基本戰術、Lehnert氏著軍隊指揮官手簿、佛國サンシール兵學校兵學教程、佛國砲兵學校築城教程、佛國中將Berthaut氏行軍戰術、佛國參謀少佐ハルトー氏戰術講義、佛國シュニーガン氏戰論、他兵連合野戰砲兵、クラフト戰略論、獨乙野外要務令、陸軍大學校帥兵規則、陸軍大學校帥兵術、野戰砲兵士官手簿、基本戰術講授錄、戰術講授書、日本士官學校戰術教程、同築城學校教程、同兵器學教程、ブルームー戰略論、參謀服務學、偕行社記事、大學校交通學、アリアルモン氏戰場築城論、獨乙兵學校築城及ヒ攻城法教程、ラスール氏騎兵搜索戰術、步兵論、騎兵論、要塞戰注、マハン海橋論、海戰術、千八百七十年普佛戰、全七十七年普土戰、丁抹戰等ノ論評、普國兵事新報、佛國兵事新報、ドラゴミローフ氏戰術論、海戰史論、其他各國時々ノ新聞ハ略ス



例言

- 一、 此篇ハ枝隊ノ應用戰術ヨリ混成旅團ニ移リ師團統帥ノ端緒ヲ畧說シ軍ノ作戰ニ移ル所ニテ終ル
- 二、 說叙ノ目次ハ作戰ノ經過ニ從ヘリ
- 三、 研究事項ノ段落ト作戰經過ノ段落ト畧ボ一致シタル所ハ第何問トシテ目次ニ掲ケ其他作戰ノ經過上段落ヲ附シ能ハザル所ハ問答體ニシテ作戰經過ト共ニ說叙セリ故ニ本篇目次ノ分別ハ唯ダ著者ガ著述ノ便宜ニ從ヒタルモノニシテ第何問ト記シアルモ敢テ章項ノ分別上深キ意味アルニアラズ
- 四、 研究事項ノ目次ハ記事中間外ニ記載シ閱讀ニ便ナル如ク、、、點ヲ付セリ又研究ノ注意並ニ閱讀ノ便ニ供スル見出シ等ノ爲メニ必要ナル註記ハ、、、點ヲ附セズ單ニ六號文字ヲ以テ欄外ニ記セリ



# 基本戰術摘要解義

## 總目錄

### 第一卷

第一篇 一般ノ總說並ニ各兵種固有ノ戰術

第二篇 諸種ノ戰鬪原則

### 第二卷

第三篇 局地戰及ビ特別枝隊ノ小戰

第四篇 野外帥兵術 行軍、駐軍、衛生、給養、命令、訓令、判斷等總テ統帥ニ關スルモノ

### 第三卷

第五篇 基本戰術ノ應用 枝隊戰術ヨリ混成旅團、師團等ノ作戰ニ進ミ軍ノ作戰ニ移ルニ據結マデ



第四卷

第六篇 上陸作戰、國防作戰

第七篇 要塞戰

第八篇 後方勤務

第五卷

補遺

方今ノ新戰術、海上海岸戰、戰畧統帥ノ諸計畫、各國諸兵家ノ新說等ヨリ築城、交通、兵器、地形等ノ補助學等ニ至ルマデ前篇中適當ノ處ニテ說叙シ能ハザリシモノヲ編纂ス

第六卷

附錄

軍事諸般ノ必要件ヲ摘記シテ指揮官ノ手簿タラシム

基本戰術摘要解義第一卷

目次

第一篇 一般ノ總說並ニ各兵種固有ノ戰術 一

●戰爭ノ要旨及ヒ目的

其一 政畧上ノ目的

其二 軍事上ノ目的

●兵力

●兵學

●用兵上ノ兵語

●戰爭ノ攻守

一 丁  
二 丁  
三 丁  
四 丁  
八 丁  
十 八 丁  
二十四 丁



- 其一 戰畧上攻守戰ノ利害
- 其二 戰術上攻防ノ利害

● 戰鬪ノ類別

● 各兵種ノ性質

- 其一 步兵
- 其二 騎兵
- 其三 野戰砲兵
- 其四 工砲兵
- 其五 輜重兵

● 隊形

- 其一 散開隊次、散開隊形、密集隊次、密集隊形、戰鬪隊形ノ解

二十四丁  
二十七丁  
二十九丁  
三十一丁  
三十一丁  
三十二丁  
三十四丁  
三十五丁  
三十六丁  
三十六丁  
三十八丁

- 其二 密集隊次及ヒ散開隊次ノ利害
- 其三 戰鬪隊形ノ要領並ニ各隊ノ任務
- 其四 步兵隊形
- 其五 騎兵隊形
- 其六 砲兵隊形

● 縱層配備ノ必要

● 步兵戰鬪要領

- 其一 散開隊次ハ步兵ノ主要ナル戰鬪法
- 其二 步兵射擊ノ種類
- 其三 戰鬪中射擊及ヒ其指揮並ニ遮蔽物應用ノ要領
- 其四 散開隊次ノ運動
- 其五 銃劍突擊

四十丁  
四十二丁  
四十六丁  
五十四丁  
五十九丁  
六十五丁  
六十六丁  
六十六丁  
六十八丁  
七十三丁  
七十七丁  
八十三丁



- 其六 步兵大隊戦闘ノ要領
- 其七 歩兵ノ歩兵ニ對スル戦闘
- 其八 歩兵ノ騎兵ニ對スル防禦
- 其九 歩兵ノ砲兵ニ對スル戦闘

●騎兵戦闘要領

- 其一 騎兵戦闘ノ性質
- 其二 乘馬戰
- 其三 騎兵ノ徒步戰
- 其四 騎兵ノ騎兵ニ對スル戦闘
- 其五 騎兵ノ歩兵ニ對スル戦闘
- 其六 騎兵ノ砲兵ニ對スル戦闘

●砲兵戦闘要領

- 八十六丁
- 八十九丁
- 九十三丁
- 九十九丁
- 百二丁
- 百二丁
- 百十四丁
- 百二十四丁
- 百二十八丁
- 百三十一丁
- 百三十四丁
- 百三十五丁

- 其一 砲兵戰ノ性質
- 其二 砲兵射擊
- 其三 砲兵陣地撰定ノ要領
- 其四 砲兵用法ノ要領
- 其五 砲兵ノ護衛
- 其六 諸國砲兵使用意見ノ約說

●彈藥補充

- 其一 歩兵彈藥ノ補充
- 其二 砲兵彈藥ノ補充

●各兵種連合ノ利害

●諸兵連合獨立枝隊編合ノ標準

●戰鬥序列、軍隊區分

- 百三十五丁
- 百三十八丁
- 百四十六丁
- 百五十八丁
- 百六十四丁
- 百六十四丁
- 百六十五丁
- 百七十五丁
- 百七十七丁
- 百七十九丁
- 百八十一丁
- 百八十二丁
- 百八十四丁



第二篇 諸種ノ戰鬪原則

- 戰鬪ノ必要及ヒ目的 百九十七丁
- 戰鬪ノ勝敗 百九十九丁
- 死傷及ヒ會戰ノ時機 二百一丁
- 豫期戰 二百四丁
- 其一 緒戰 二百六丁
- 其二 總戰 二百七丁
- 其三 決戰 二百九丁
- 其四 終結 二百十丁

- 遭遇戰 二百十丁
- 決戰及ヒ持續戰 二百十六丁
- 夜戰 二百二十丁
- 攻戰守戰 攻撃精神ニ付キ並ニ之レニ關スル千八百七十年戰例 二百二十九丁
- 戰鬪正面ノ廣狹梯隊區分 二百四十二丁
- 攻撃 二百四十六丁
- 其一 總論 二百四十六丁
- 其二 攻撃準備並ニ實施ノ時機 二百五十二丁
- 其三 攻撃點ノ撰定 二百五十四丁
- 其四 本攻助攻 二百五十六丁
- 其五 正面攻撃側面攻撃 二百五十八丁



- 其六 包圍
- 其七 迂回
- 其八 脅威牽制緊留
- 其九 防禦工事ヲ施セル陣地ノ攻撃
- 其十 攻撃ニ於ケル兵力ノ用法
- 其十一 攻撃經過一般ノ景況

- 防禦
- 其一 總論
- 其二 陣地ノ撰定
- 其三 側面陣地
- 其四 準備陣
- 其五 收容陣地

二百六十六丁  
二百七十一丁  
二百七十三丁  
二百八十丁  
二百九十丁  
二百九十二丁  
二百九十七丁  
二百九十七丁  
二百九十九丁  
三百五丁  
三百九丁  
三百十二丁

- 其六 陣地ノ占領及ヒ兵力ノ用法
- 其七 逆襲
- 其八 前進哨
- 其九 防禦經過一般ノ景況
- 追擊
- 退却
- 戰鬥ノ指揮並ニ各級指揮官ノ責任動作
- 其一 總指揮官ノ部署ニ關スルコト並ニ之レニ關シ各指揮官ノ注意
- 其二 總指揮官ノ統御ニ關スルコト
- 其三 各級指揮官ノ責任



基本戰術摘要解義 第一卷

第一篇 一般ノ總說並ニ各兵種固有ノ

戰術

●戰爭ノ要旨及ヒ目的

抑モ戰爭トハ各國間ニ生スル政畧上ノ紛議ヲ判決ス  
ル爲メ別ニ法庭ヲキテ以テ威力ニ訴フル所ノ術策ナ  
リ

夫レ社會交際上和親ヲ維持スルノ間ハ百事正理ニ基クト雖モ一朝和  
親ノ破ル、ニ當リテハ威力ハ忽チ正理ヲ壓倒スルモノニシテ戰爭ハ  
實ニ自然ノ理ニ出ツルモノニシテ天下ノ公律ト謂フヘシ世人或ハ兵



ヲ凶器、戰ヲ危事トナシ此道ニ由ラスシテ永世ノ平和ヲ保タント欲ス  
是レ理勢ヲ知ラサル論ノミ道德ノ夢ノミ且ツ戰爭ハ人智ノ開明國勢  
ノ振興ニ最大ノ効驗ヲ有スルモノニシテ多年大平無事ニ畢ルトキハ  
文弱ニ流レ士氣敗頽スルニ至ルハ古今ノ歴史之レヲ證スル所ニシテ  
是レ又戰爭ハ國家進運ノ必要素タルヲ示ス者ニアラスシテ何ソヤ

戰爭ノ目的ハ大別シテ二種トナス政略上ノ目的、軍事  
上ノ目的是レナリ

### 其一 政略上ノ目的

政略上ノ目的ハ國權ノ維持、國益ノ爭、國土ノ奪掠、獨立ノ爭ニ於テ勝利  
ヲ得ントスル者ナリ故ニ此目的ハ軍事上ノ目的ヲ達セサルニ先チ之  
ヲ果スヲ得ルコトアリ蓋シ敗者ハ通常憤懣ヲ忍ンテ戰爭ノ極端ニ至

ルヲ避ケ加之ナラス國軍大ニ敗レ國土ノ一部既ニ敵ノ占領スル所ト  
ナルニ至レハ尙ホ其救脫スヘキモノヲシテ危險ヲ免レシメンカ爲メ  
ニ遂ニ和議ヲ乞フニ至ルヘキヲ以テナリ

政略上ノ目的ヲ例證セハ明治二十七八年戰役ニ於テ我日本帝國ガ  
朝鮮ノ獨立ヲ確固ニスル爲メ清國ニ打擊ヲ加ヘ、又十九世紀ノ中葉  
ニ於テ屢々爲セル魯土ノ戰爭ハ必竟魯ガ地中海ニ勢力ヲ及ホサン  
爲メニシテ是等ハ皆ナ國權ノ維持、國益ヲ政略目的トセリ又十八世  
紀ノ中葉ニ於テ魯普奧三國同盟シテ波蘭ヲ攻メシハ國土奪掠ヲ目  
的トシ又當世紀ニ於ケル亞米利加南北戰爭ノ如キハ南部諸州ノ人  
民合衆國ヨリ脫シテ獨立セントスル目的等ノ如シ

### 其二 軍事上ノ目的

軍事上ノ目的ハ單ニ敵軍ヲ挫劔スルニアリ且ツ之レニ依テ敵ヲ壓服



シ再ヒ抵抗スルノ念慮ヲ絶タシメ頼テ以テ政略上ノ希望ヲ達スルニ  
アリ即チ敵國ノ軍隊ニ對シ全勝ヲ得ルカ或ハ敵國ヲ占領シ其資源ヲ  
奪領スルヲ以テ軍事上ノ目的ハ達セラレ、モノナリ

軍事上ノ目的ヲ例證セハ明治二十七八年戰役ニ於テ清軍ヲ殲滅シ  
テ再ヒ我ニ抵抗スルコト能ハサラシメ北京ヲ占領シテ國家ノ資源  
ヲ我有ニ歸セシメントスル如シ而シテ又遼東半島ヲ占領シ平壤、旅  
順ノ勝利等ノ如キハ是レ又軍事上ノ目的ノ一部ヲ達シタル者ナリト  
云フヘシ

### ●兵力

一國ノ國軍ハ左ノ五項ヲ顧慮シテ兵數ヲ定ムルノ基礎トス

#### 一、人口ノ多寡疎密

人口ノ多寡疎密ハ壯丁ノ多寡ヲ生シ都鄙住民ノ等級、職  
業及ヒ慣習ハ徵募法及ヒ兵種ニ大ナル關係ヲ有ス抑々  
徵兵ナル者ハ不生産的ノ國民タラシムルモノナルヲ以  
テ過大ノ徵兵ハ勞力ノ資ヲ暴騰セシメ國家ノ生産力ヲ  
減耗シ過長ノ兵役ハ人口ノ繁殖ヲ害ス

#### 二、歳入歳出

軍隊ハ生産力ナク軍隊ニ備ヘアル資材ハ俗ニ睡眠財産  
ト云ヒ平時ニ於テハ活動セス戰時ニ於テ初メテ活動ス  
ルモノナリ故ニ平時ニ於テハ軍隊ニ於ケル人馬材料悉  
ク無生産物ナリ約言セハ平時軍隊ニ要スル國稅ハ國家  
ノ平和ヲ維持シ生命財産ヲ保護スル保險料ナリ且ツ軍  
隊ノ需用品ハ其數量大ナルノミナラス往々其調辦ニ急  
ヲ要スルヲ以テ動モスレハ經濟上ノ常道ヲ攪擾ス故ニ



軍隊ノ大小ハ其國ノ經濟上ノ諸元素ヲ顧慮セサルヘカ  
ラス

三、地理

天然ノ地理ハ國防並ニ進取ニ如何ナル得失アルヤ地理  
有利ナレハ以テ國軍ノ不足ヲ補フヘク地理不利ナレハ  
國軍ノ優勢ヲ以テ之レヲ補ハサルヘカラス

四、時ノ形勢ニ由リ自國ノ執ルヘキ政略

積極政略ト消極政略トニ由テ國軍ノ多寡ヲ左右ス

五、隣國ノ兵力及ヒ政略

隣國ノ兵力及ヒ政略ニ從ヒ之レニ對スル國軍ノ兵力ヲ  
定ムルヲ要スルハ自然ノ理ナリ

前陳各項ヲ顧慮シテ設置シタル國軍ノ威力ハ左ノ要旨ニ從ツテ強弱  
ノ程度ヲ左右セラル、モノトス

(一) 軍隊ノ多寡、精否、並ニ資材及ヒ之ヲ敵國ノ境界ニ運搬スルニ  
要スル時間ノ長短

(二) 敵襲ノ患アル國境ノ地勢及ヒ城塞ニ據テ守禦力ヲ強ムルノ  
程度

(三) 戰資即チ内國ノ人員及ヒ材料ハ兵員、馬匹、彈藥、武器等ノ缺損  
ヲ補充スルニ足ルヤ否ヤ及ヒ之レヲ徵集整備スルノ遲速  
乃ハチ前諸項ヲ完全ナラシメ威力ヲ高メンニハ國軍編制上必ラス左  
ノ素質ヲ具有スルヲ要ス

一、常備兵

二、後備兵

三、徵兵法

四、馬政



- 五、教育ノ齊一
- 六、服従法
- 七、刑罰
- 八、武装ノ整備並ニ衣食住ノ供給
- 九、兵器彈藥被服等ノ製造所
- 十、要塞
- 十一、交通機關

●兵力

戦争ハ全國ノ體力、心力、資力ヲ舉ケテ事ニ從フモノニシテ戦争起ルト  
 キハ民ト國トノ連絡ヲ密ニシ人民中有スル所ノ全力ヲ悉ク之レニ供

シ復タ餘ス所ナク幾千万人ノ生死國家ノ盛衰興亡ヲ左右ス兵ヲ用ユ  
 ルノ重大ナル此クノ如ク即チ兵學ハ此ノ重大ナル運用ヲ學フ者ニシ  
 テ最モ貴重スヘク最モ高尚ニシテ價值アル所ノ者ナリ夫レ他ノ諸術  
 ハ天稟ノ才略ヲ要スルコト甚タ寡シト雖モ兵學ニ在ツテハ特ニ才略  
 機敏ヲ要ス即ハチ機ヲ決スルコト神速微妙ニシテ事ヲ行フ果敢不撓  
 ナルヲ要シ僥倖ノ運ニ會シ不幸ノ變ニ陥ルモ精神爲メニ動カス自若  
 トシテ之ニ處スルヲ要ス優勝劣敗強ハ弱ノ肉ヲ食フノ日ニ在ツテ唯  
 タ特ムヘキハ兵ナリ學フヘキハ兵ヲ用ユル術ナリ  
 兵學ヲ區分シ其關係ヲ示ス左ノ如シ





軍制學 編制 經理

補助學(兵器、築城、交通、地形學等)

用兵 トハ之ヲ大ニスレハ國軍運用ノ術ニシテ之ヲ小ニスレハ團隊指揮ノ術ナリ此等ノ術ヲ學フヲ用兵學ト云フ  
戰略 ハ即チ用兵法ニシテ戰爭ノ指揮ニ關シ所謂兵ヲ會戰地ニ運用スル計畫ニ係ルナリ  
戰術 ハ即チ交戰法ニシテ戰鬪ノ實行ニ屬シ所謂兵ヲ戰場ニ操縱スル實施ノ術ナリ  
定規戰術 ハ諸兵種ノ性能規定ノ隊形諸運動及ヒ戰術上ノ諸定則ニ關シ所謂應用戰術ノ基礎タリ  
應用戰術 ハ定規戰術ノ應用ヲ謂フ

國制ト軍制ノ關係

軍制學 ハ戰爭ニ要スル素質ヲ整備スルノ學、即ハチ兵力ノ構成保持ニ係ハル制ヲ講究スル學ナリ

本書ハ主トシテ用兵學ニ關スルコトヲ説述スルノ目的ナルヲ以テ軍制學ニ關スルコトハ爰ニ序ヲ以テ其一端ヲ説クニ留メントス夫レ國家ハ人類ノ集リタル共同團體ニシテ土地ト人民ヲ基礎ニシテ一ハ獨立主權ヲ統治スル所ノ團體ナリ既ニ國家生存シ之レヲシテ永久ニ生存セシメント欲セハ一途ニ出ツル統治ヲ以テ之レヲ經理スルニ非ラサレハ能ハス此統治ナケレハ共同團體タル國家ト云フ能ハス一ツノ禽獸團體ニ外ナラス此一途ニ統治スル權ヲ統治權ト云フ統治權ヲ換言スレハ國權ナリ  
國權ハ唯一獨立ノ權ニシテ此權ノ所在ニ由テ國體ニ差別ヲ生ス即チ君主ニ存スレハ君主國、人民ニ存スレハ民主國トナル而シテ其主權ノ作用ニ由テ亦タ政體ニ差異ヲ生ス君主カ主權ヲ專用スレハ君



主專制政體トナリ民間ニ於テ發動セシムレハ共和政體トナル即チ政體ハ主權作用ノ形式ナリ國體ト政體トチ混スル勿レ我國ノ如キ即チ國體ハ君主國ニシテ政體ハ立憲政體ナリ

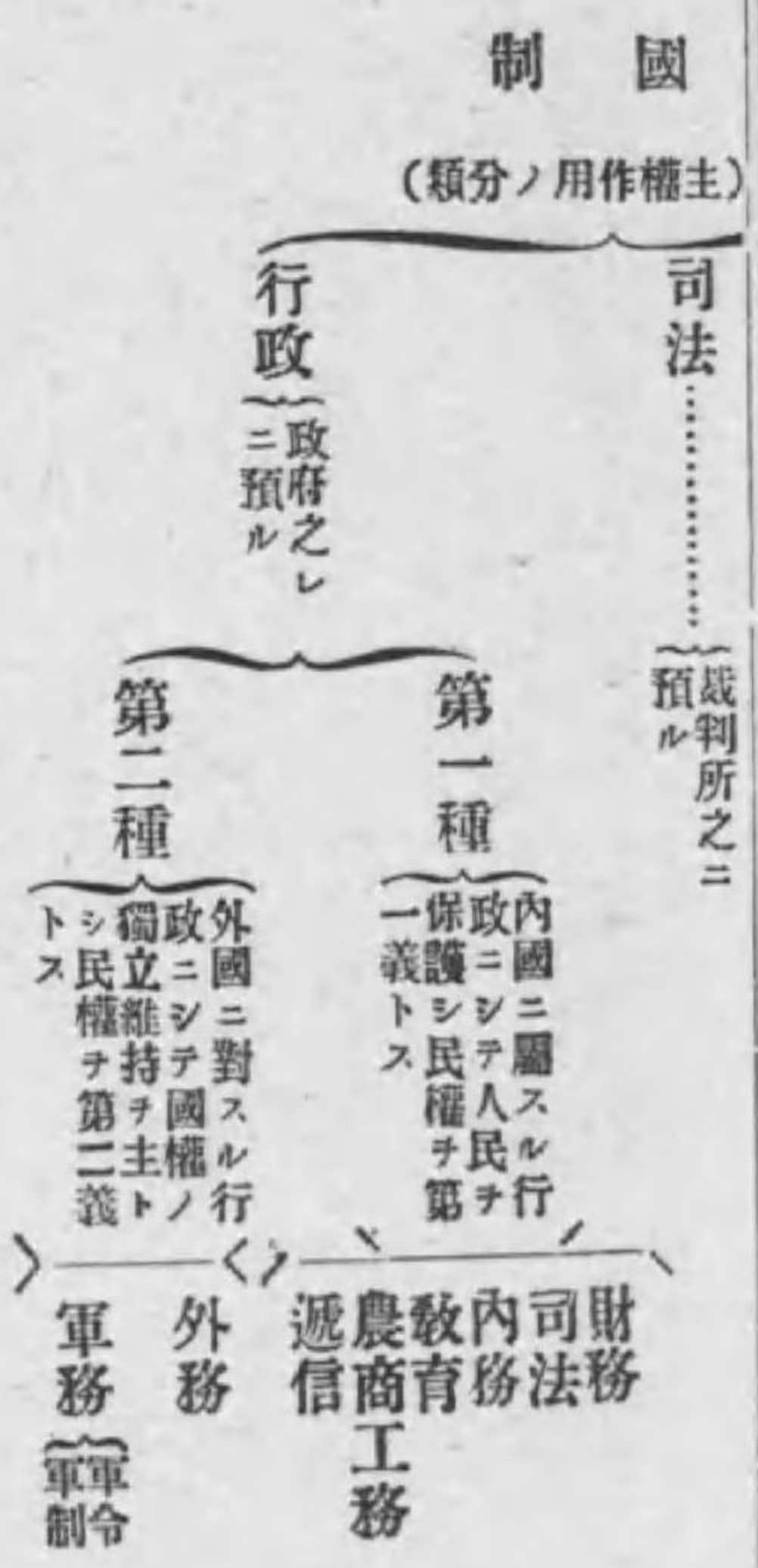
乃ハチ國民ハ國權ノ許ニ在ツテ憲法及ヒ法律ノ保障ニ依テ安穩ニ社會ニ生存スルヲ得ヘシト雖トモ國家ハ之レニ由テ宇内列國ノ間ニ立チ其權利ヲ保持スルヲ得ス之レヲ保持シ國制ヲ維持シ得ルハ前條「戰爭ノ要旨」ノ處ニ於テ述ヘタル如ク戰爭ナル唯一ノ威力裁判ニ由ルノ外ナシ之レカ爲メ國家ハ戰爭ニ要スル素質即ハチ兵力ヲ養成シ其構成ノ法ハ用兵學ト相待ツテ宜シキヲ得ルカ如ク軍制ヲ定メサルヘカラス

是、チ、以、テ、軍、制、ハ、國、制、ヲ、維、持、ス、ル、爲、メ、國、家、重、要、ノ、機、關、ニ、シ、テ、國、家、行、政、ノ、一、部、ヲ、爲、ス、今、其、關、係、ス、ル、所、ヲ、畧、説、セ、ハ、左、ノ、如、シ

憲法上ノ大權  
國務大臣ガ陛下ノ命ニ由テ之ヲ行フ

立法  
共同生存スルノ準則ニシテ議會之レニ預ル

司法  
裁判所之ニ預ル



軍制ト軍令

即ハチ軍務ハ軍制ノ含有セララル、所ニシテ國家行政ノ下ニ他ノ諸行政ト互ニ關聯セサルヘカラス

然レトモ軍制ト軍令トハ自ラ其系統ヲ異ニシ軍制ハ國家行政ノ一部トナリ憲法及ヒ法律ノ制裁ヲ受クヘキ範圍ニ屬スト雖トモ軍令ハ一派獨立シ其範圍外ニ超然タルモノナリ何トナレハ軍制ハ國家ノ元素タル人口、經濟、民庶ノ精神等即ハチ民權ニ關係スト雖トモ軍



令ハ兵馬統帥即ハテ國家戰闘力ノ指揮ニ屬シ轉變不測ノ敵ヲ制セ  
 シガ爲メナルヲ以テ獨リ自國ヲ統治スルノ意旨ノミニ準據スルコ  
 ト能ハス抑ツテ無限ノ專裁權ヲ有セサルヘカラサレハナリ故ニ統  
 帥上ノ意思ヲ令スルヲ軍令ト云ヒ行政上ノ意思ヲ令スルハ法律布  
 達ナリ此ニ於テ國家行政ト相俟ツテ軍制ヲ定メ以テ兵力ヲ設備シ  
 其設備セラレタル軍隊ハ軍令ニ由テ行動シ敵前ニ於テ軍隊ノ服従  
 スヘキモノハ唯々軍令アルノミ而シテ此軍令ヲ發スルハ獨リ國家  
 ノ元首ノミ  
 是ニ由テ之レヲ見レハ國制ハ軍制ヲ含有スルノミニシテ兵力ノ運  
 用ニ至ツテハ其關知スル所ニアラス而シテ用兵學ノ始マル所ハ國  
 制學ノ默止スル所ナリ  
 軍令ハ戰時ハ大本營參謀總長之ヲ司リ平時ハ陸海軍大臣之ヲ奉行  
 ス元來行政ノ機關タル陸海軍大臣ガ軍令ヲ取扱フハ系統上好マシ  
 カラサル所ナレトモ目下軍令ト法律ト班然區別ヲ立ツルコト難キ

事件モアリ爲メニ軍事制令ハ帷幕勅令トシテ自ラ他ノ法律トハ趣  
 ナ異ニシ陸海軍大臣之レヲ發布シアリ假令ハハ軍隊内務書諸教範  
 ノ如キ別冊ハ通り定メラ、ルトシテ布達スル如シ  
 獨乙ニ於テハ勅令ヲ以テ軍令ト法律ノ區別ヲ定メ軍隊内部ニ向ツ  
 テ發スル命令軍紀ニ關スルコト、人事ニ關スルコト等ハ軍令トシ他  
 ノ行政或ハ豫算ニ關スルコトハ軍令トセスト云フ  
 抑々軍令ト政令ト區別シ置クノ必要タルヤ平時ニ於テ人民ノ權利  
 ヲ保護スル爲メニ設ケタル法律條規ハ一旦戰時ニ至リテハ無効ト  
 ナルコトアリ之レニ反シ軍令ハ益々其効ヲ發揚セサルヘカラス蓋  
 シ戰時ニ於テハ人民ノ權利ヲ願ミルニ暇アラス之レヲ犧牲ニ供シ  
 大權ノ行動ヲ自由ニセサルヘカラス夫レ戰時國家變局ノ際ニ於テ  
 君主大權ノ行動ハ其目的共同生存ニアル者ナレハ假令ヒ人民ノ權  
 利ヲ犧牲ニ供スルト雖敢テ之レヲ無視シタルニ非ラス國家ヲ救フ  
 爲メニ止ムチ得サルニ出ツル者ナリ即チ君主大權ノ行動自由ヲ以



テ共同生存ノ目的ヲ達スルハ是レ君主ノ責任重大ナル所ナリ

軍制ノ一部タル經理機關ト軍令ノ一部タル統帥機關トノ運系ニ付  
テハ種々ノ説アリ今參考ノ爲メ大要ヲ左ニ述ヘン

統帥機關即ハチ司令官衙ハ統帥ヲ司ル所ノ高等司令部ニシテ軍隊

モ亦々統帥機關ニ屬ス經理機關ハ或ハ純然經理ノミヲ司トル監督  
部ノ如ク或ハ經理ノ一部ヲ委任セラレタル官衙軍隊等ノ如シ

此ニ於テ經理機關ト統帥機關トノ關係ニ就キ左ノ三説アルナリ

一、經理機關ハ必ラス統帥機關ニ隸屬ス

二、經理機關ハ統帥機關ニ隸屬セス

三、經理機關ハ或ル場合ニ由テハ統帥機關ニ隸屬シ或ル場合ニ  
ハ隸屬セズト

第一説ハ穩當ナラス今日ハ往昔ノ如キ專制政治ニアラス經理ノ如  
キハ議會ニ關係ヲ有スルヲ以テ專一的統帥機關ニ從屬セシメ能ハ

サルナリ

第二説ハ甚々不可ナリ統帥機關ト經理機關ト分離スル時ハ作戰ニ

必要ナル一指揮下ニ於テスル共同動作ヲ爲ス能ハス

第三説ハ適當ナル者ニシテ凡ソ經理ノ事項ハ憲法ノ常綱ニ由テ行

フ者ニシテ自由獨行ヲ許サス之レニ反シ統帥機關ハ外ヨリ制肘ヲ

及ホサス自由獨立ニ行動スル者ナレハ此機關ニハ成ヘク制肘ヲ受

クル經理事項ヲ避ケシメ以テ統帥ヲ自由ナラシムルヲ要ス然レト

モ戰時ニハ万事皆一指揮下ニ動作スルヲ要シ且ツ經理ノ眞否ハ作

戰上大關係アルヲ以テ指揮ハ一司令官ヨリ出テ業務ハ他局ニ於テ

之ヲ執リ以テ統帥上ノ牽累ヲ減スルヲ可トス故ニ平時ハ經理機關

ヲ獨立セシメ(監督部ヲ獨立セシムル如シ)戰時ハ統帥機關ニ付屬ス

(監督部ヲ軍司令官ニ付屬スル如シ)獨魯奧國等概ネ此制ニ依レリ



●用兵上ノ兵語

用兵上ニ於ケル兵語ハ種々錯多ニシテ逐一之レヲ説明スルハ徒ラニ煩雜ヲ増スニ過キサレヲ以テ殊更ニ此條ニ説明セサルモ他ノ各條ニ於テ自然ニ説明セラル、者並ニ又字義ノミニテ既ニ其要ヲ得更ニ説明ヲ要セサル者等ハ省キ爰ニ唯タ豫メ説明ヲ要スル者若干ヲ記載スルニ留ム

戰地 トハ兩國交戦ノ地域ヲ謂フ而シテ各種獨立軍或ハ軍ノ一部此

區域内ニ於テ作戦スル時ハ戰地分レテ數個ノ會戰地トナル

會戰地 トハ戰地ノ一部ニシテ兩敵相會スヘキ地ヲ云フ

戰場 トハ會戰地ノ一部ニシテ兩敵戰ヲ接スル地ヲ云フ

作戦 トハ戰ヲ爲ス行爲ヲ謂フモノニシテ駐軍行軍戰闘ノ實施ヲ總

稱ス

作戦目標 トハ作戦上我軍ノ達スヘキ目標例ヘハ敵ノ軍隊及ヒ首

府ノ如キ者ヲ云フ

策源 トハ作戦スル軍隊其需用ヲ仰ク所ノ背後ノ地域ニシテ通常國

境又ハ其近傍ニ在リ上陸戰ニ於テハ後方ノ灣港及ヒ此ニ碇泊スル

艦隊ハ即チ策源ナリ

策線 策源ヨリ作戦目標ニ通スル主要ナル連絡線例ヘハ首路鐵道ノ

如キモノヲ云フ

動員 トハ平時ノ姿勢ヨリ戰時ノ姿勢ニ移ルヲ云フ即ハチ人馬資材

ノ現員ヲ増加シ以テ出戦シ得ヘキニ至ラシムルヲ謂フ

聚中 トハ動員終レル軍隊ヲ指定セラレタル一地ニ集合スルヲ謂フ

而シテ聚中ハ概ネ策源ニ於テス

動員ノ反對ニテ戰時ノ姿勢ヨリ平時ノ姿勢ニ復スルヲ云フ



戰略要點

トハ通常作戰目標ノ如キ戰畧ニ緊要ナル地點ヲ謂フ即チ城塞、築設シタル陣地、首府及ヒ輻輳地等是レナリ

戰略要線

トハ戰畧上ノ遮隔トナルヘキ線ニシテ通常一地ヲ遮斷スル所ノ延長ナル障礙物例ヘハ大ナル河系、山脉ノ如キモノヲ謂フ通常此線ハ策線ニ直角ナル者ナリ

戰術要點

トハ他ヲ瞰制スル地點、堅固ナル據點及ヒ隘路ノ如キ者ヲ謂フ而シテ防禦線ノ一點ヲ占守シテ全線爲メニ堅固ナルヲ得ハ此點ヲ稱シテ陣地ノ鎖鑰ト云フ

戰術要線

トハ據テ以テ防禦ヲ固ムル所ノ障礙物斷絶地及ヒ高地等ノ諸線ヲ云フ

本戰

トハ大部ノ兵ノ戰鬪ニシテ戰役中一大段落ヲナシ或ハ戰役ノ局ヲ結フモノヲ云フ

小戰 ハ支戰トモ云ヒ兩敵中小部ノ兵ノ戰鬪ニシテ其勝敗ノ影響スル所大ナラス本戰一部ノ戰鬪ナリ

横隊 トハ各部隊左右ニ併列スル隊形ナリ

縱隊 トハ各部隊前後ニ重疊スル隊形ナリ

縱長 (深長) トハ先頭部隊ヨリ後尾ニ至ルノ深厚ヲ謂フ

梯隊 トハ前後ニ位置スル軍隊ノ配布ニシテ各部隊ハ或ハ一部重疊シ又ハ重疊セサルコトアリ

展開 トハ集合、收縮ノ隊形ヨリ密集部隊ノ横列排開スルナリ

散開 トハ密集隊ヨリ各部隊ヲ廣正面ニ疏散スルナリ

開進 トハ縦長ノ隊形ヨリ横廣ノ隊形ニ移ルナリ

戰術單位、戰鬪單位 戰術單位ハ一局部ノ戰鬪動作ヲ完全ナラシムルニ足ル兵力ヲ有シ且ツ一人ノ聲音ヲ以テ之レヲ號令シ得ル最



大限ノ部隊ナリ即チ歩兵ニアリテハ大隊騎兵ニ在ツテハ中隊ナリ然レトモ方今ノ歩兵戰術ハ散開隊次ヲ採用スルヲ以テ歩兵大隊ノ如キハ密集スル間ハ一人ノ聲音ヲ以テ之レヲ號令シ得ルモ展開散開スルニ至リテ最早一人ノ號令ハ普及セス此場合ニ於テ直接戰闘ヲ指揮號令シ得ルハ中隊ナリ是レ中隊ハ戰術二等單位即チ戰闘單位ナリ

會戰單位

小ナル軍隊ニ在テ各自ニ交戰及運動ノ單位ヲナセトモ大軍ニ在テハ軍ノ團結ヲ分チ諸兵ヲ連合シ獨立以テ戰フノ能力ヲ備ヘタル兵團ニ區分セサルヘカラス此區分スヘキ單位ヲ會戰單位ト云フ此單位ハ一途ノ指揮ニ屬シテ動作シ互ニ協力救護即チ合同一致ノ會戰ヲナスヲ要ス實見ニ由ルニ諸兵ヲ以テ編成スル會戰單位ノ兵數ハ一万二千乃至一万五千ヲ以テ至當トス何トナレハ此兵

數ノ長徑ハ概ネ八吉米突ナルヲ以テ遅クモ二時間ヲ費セハ交戰ノ爲メ全力ヲ展開スルヲ得ヘク譬ヒ優勢ノ敵ニ對スルモ他ノ援助ヲ借ラスシテ數時間交戰スルヲ得ヘシ是レ今日師團ヲ以テ野戰軍ノ會戰單位トナス所以ナリ

作戰單位

獨立ノ作戰ヲナサンカ爲メ永久ニ諸兵ヲ連合スル所ノ兵團ヲ作り國軍ヲ區分ス此兵團ヲ作戰單位ト云フ即チ國軍ヲ一個或ハ數個ノ作戰單位ニ區分シテ能ク此各單位ヲシテ獨立作戰セシメンニハ諸兵配合ノ比準宜シキヲ得且ツ軍隊ノ需用ヲ便スル屬部機關ノ完整スルヲ要ス

一軍ハ作戰單位四個乃至六個ヨリ編成スルヲ良トス十万前後ノ國軍ニアリテハ師團ヲ以テ作戰單位トナスヲ要ス此時ニ在ツテハ作戰單位ト會戰單位ト同一ナリ十万以上ノ軍ニ在ツテハ二師團或ハ



三師團ヲ以テ編成セル軍團ヲ以テ作戰單位トナスヘシ

●戦争ノ攻守

凡ソ戦争ニハ攻守ノ二勢アリ進ンテ戦ヲ求ム之レヲ攻戦(攻勢)及ビ攻撃ト謂ヒ駐ツテ敵ヲ防ク之レヲ守戦(守勢)又ハ防禦ト謂フ  
攻守ニ又戦畧上ト戦術上ノ別アリ然レトモ二者必ラスシモ併セ行ハル、モノニアラス例ヘハ戦、畧、上、攻、戦、ノ目的ヲ以テ兵ヲ用ユルモ敵ト會遇スルニ當リ戦、術、上、ノ、守、戦、ヲナスコトアリ又之レニ反シ戦、畧、上、守、戦、ナルモ敵ニ衝突シタル場合ニ於テ戦、術、上、ノ、攻、撃、ヲナスコトアリ

攻戦、守戦  
ハ戦畧上  
リ云ヒ  
防戦ハ  
ナリ  
ヨリ云フ  
語

其一 戦略上攻守戦ノ利害

戦略上守戦ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

- 第一 戦地ヲ詳細ニ知得シ且ツ之ヲ容易ニ利用シ得ル
- 第二 自國城塞ノ庇護ヲ得ルノ利アリ
- 第三 攻者ハ侵入スルニ當リ其軍ノ一部ヲシテ圍城又ハ後方連絡線守備等其他諸處ニ兵力ヲ殘留分割シ漸次其兵力ヲ減殺スト雖トモ防者ハ此クノ如ク後方ニ兵力ヲ殘留分割セサルモ資料ヲ運搬スルニ安全、容易且ツ路程近ク迅速ナリ
- 第四 國民ノ援助、情報ノ精確及ヒ時機ニ應シ民兵ヲ用ユルヲ得

戦略上攻戦ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

- 第一 敵國ニ侵入シ及ヒ第一ノ成功敵ノ監視部隊ヲ撃退スル如キ假令ヒ微少ノ勝利ト雖トモニ依テ全軍ノ志氣ヲ振起旺盛ナラシム



第二 戦地及ヒ時機ヲ自由ニ撰擇スルヲ得先制ノ利且ツ敵ヲ欺キ  
 或ハ不意ヲ襲ヒ又兵力ヲ聚合シテ一點ヲ攻撃シ得ル等皆攻  
 者ノ利トスル所ナリ防者ニ在ツテハ敵ノ攻撃點ヲ豫メ詳知  
 スル能ハサルヲ以テ兵力ヲ分離スルノ憂アリ

第三 敵國ノ資力ヲ以テ我軍隊ヲ容易ニ給養シ以テ自國ノ資力ヲ  
 節用シ且ツ自國ヲシテ戦闘ノ慘毒ヲ避ケシムルコトヲ得ヘ  
 シ

第四 攻者ハ成功ニ從ヒ敵國ヲ略取スルカ如キ積極ノ利ヲ有スト  
 雖トモ防者ハ唯タ敵ヲ防ク所ノ消極ノ利ニ過サルナリ

戦略上ノ攻守ニ關シテハ以上ノ如キ利害アリ要スルニ之レヲ結論ス  
 レハ左ノ如シ

攻守共ニ一利一害アルモ一般ニ攻戰ノ利ハ守戰ノ利ニ優ル者トス况

ンヤ敵ニ先ツテ軍備整頓シ決戰ヲ促カスノ勢力ヲ有スルニ於テオヤ  
 故ニ守戰ヲ爲スハ其兵力敵ニ若カスシテ援軍ヲ俟ツノ間及ヒ地勢大  
 ニ防禦ニ適スル時ノミニ限ルヘシ故ニ假令ヒ一時守勢ヲ執ルコトア  
 ルモ時機ヲ俟ツテ攻勢ニ轉スルコトヲ勉ムルヲ要ス凡ソ、戦、争、ノ、目、的、  
 即チ、敵、兵、ヲ、殲、滅、ス、ル、ハ、攻、勢、ニ、非、ラ、サ、レ、ハ、能、ハ、サ、ル、ナ、リ、

其二 戦術上攻防ノ利害

戦術上攻撃ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

第一 志氣ノ優勢即チ攻撃ハ敵軍ノ志氣ヲ挫折スルノ利アリ而シ  
 テ其攻撃ノ疾速ナルト敵ノ意表ニ出ツルト我勢力ノ猛烈ナ  
 ルトニ應シテ愈々然リ

第二 動作ノ地點ト時期トヲ自在ニ撰定(先制)スルヲ得即チ我カ欲



スル所ノ地點ト時期トニ於テ我カ欲スル所ノ兵力ヲ以テ本  
攻ヲ施シ或ハ之ニ由テ敵ヲ欺騙シ其兵力ヲ分割セシメ或ハ  
又之レヲシテ無要ノ地點ニ兵力ヲ備フルカ如キ危殆ニ陥ラ  
シムルヲ得

第三 戰鬪決勝ノ成果ハ攻撃ニ非ラサレハ之ヲ得ル能ハス

戰術上防禦ノ利トスル所概ネ左ノ如シ

第一 能ク地形ヲ利用シ得ヘク且ツ土地ヲ堅固ニシテ(築城)我武器  
ノ効力ヲ發揚シ敵火ヲ遮蔽スルコトヲ得

第二 守者ハ靜止スルカ故ニ運動スル所ノ攻者ニ對シ火効ヲ増大  
スルヲ得且ツ彈藥ノ補充容易ナリ

第三 戰場ノ地形ヲ詳知ス

戰術上ノ攻防ニ關シテハ以上ノ如キ利害アリ要スルニ之レヲ結論ス

結論

レハ左ノ如シ  
守者ハ地形ノ利ト兵器ノ威力トニ由テ寡能ク衆ヲ制スルヲ得ヘシ然  
レトモ志氣ノ優劣ニ至ツテハ既ニ一步ヲ攻者ニ讓レリ乃チ攻者ハ進  
取ノ銳氣先制ノ利ヲ以テ防者ヲ壓シ得ヘク必竟攻撃ハ利ハ志氣ニ屬  
シ防禦ノ利ハ物體ニ存ス苟モ決勝ノ成果ヲ得ント欲セハ必ラス攻撃  
ニ由ラサルヘカラス故ニ一時防禦ヲナスモ愈々雌雄ヲ決セントスル  
場合ニハ攻撃ニ轉セサル可ラス抑々攻守兩戰ノ得失如何ハ狀況任務  
目的地形等ニ關スレトモ若シ戰爭ノ狀勢タル攻守何レニテモ爲シ得  
ル時ハ必ラス攻撃ヲ爲スヘシ是レ確守スヘキ原則ナリ

● 戰鬪ノ類別



火戰(遠戰) ハ火器ヲ以テ遠距離ヨリ敵ヲ殺傷挫折シ以テ白兵戰ニ由ツテ爲ス所ノ決勝ヲ準備シ及ヒ之レヲ援助シ或ハ決勝ノ後追撃射撃ニ由テ成効ヲ全フスルヲ主旨トスルモノニシテ靜止ノ性質ヲ有ス蓋シ射撃ノ効力ハ火器ノ靜止ニ起因スレハナリ砲兵ハ即ハチ火戰ニ純良ノ兵種ナリ

白兵戰(近戰) ハ白兵ヲ使用スル戰鬪ニシテ運動ノ性質ヲ有ス蓋シ白兵ヲ使用スル前敵ニ接近スルヲ要スレハナリ此種ノ戰鬪ハ短時間ニ雌雄ヲ決シ運動ニ由テ敵地ヲ略シ敵ヲ其位置ヨリ驅逐スルニアリ而シテ此戰鬪ニ於テ志氣ノ影響ハ尤モ大ナルモノナリ騎兵ハ白兵戰ニ尤モ適スル兵種ナリ

方今射撃ノ威力ハ著シク増大セリト雖トモ火戰ノミヲ以テ勝敗ヲ決スル能ハサルコトアリ此場合ニ存ツテハ必ラスヤ白兵戰ヲ以テ雌雄

ヲ決セサルヘカラス是レ此二戰法ノ互ニ偏廢スヘカラサル所以ナリ

### ●各兵種ノ性質

#### 其一 步兵

步兵ハ獨立ノ兵種ニシテ其兵員ノ夥多ナルト効力ノ著大ナルトニ依リ之レヲ軍ノ主兵トナス而シテ其戰鬪動作タルヤ遠戰近戰及ヒ密集疎散ノ諸戰ニ適シ攻守二戰ヲ兼備シ而シテ晝夜ヲ論セス苟モ人ノ跋涉シ得ヘキ地ニ於テハ如何ナル所ト雖トモ戰鬪スルヲ得又此兵種ハ志氣ナル自力ニ依リ能ク最大ナル疲勞ニ堪ヘ且ツ其運動ヲ維持スルコトヲ得ル等皆他兵種ノ及ハサル所ナリ然レトモ遠距離ニ對スル射撃ノ効力ハ砲兵ニ及ハス又速力ト衝力トニ至テハ遙ニ騎兵ニ及ハサ



ルナリ

歩兵ノ養成ハ最モ費用少ナク而シテ徵募、裝備、訓練、補充等甚タ容易ニシテ且ツ危急ノ際立ロニ編成スルヲ得又戰地ニ於ケル給養ノ如キモ極メテ簡易ナリ

其二 騎兵

騎兵ハ軍ノ耳目ニシテ馬匹ノ速力ト衝突力トヲ以テ戰闘ニ於ケル至大要素トス即チ搜索勤務、傳令勤務並ニ攻撃等ニハ尤モ適スレトモ停止ノトキニ於テハ著シク其能ヲ減シ殊ニ防禦ニハ甚タ不適當ノ兵種ナリ故ニ其防禦ヲナサント欲スル時ノ如キハ逆襲ノ攻撃ヲ以テスルカ或ハ其携フル所ノ小銃ヲ以テスルノ外手段ナキナリ然レトモ騎兵ニシテ一旦下馬スルトキハ其特有ノ性能ヲ棄テ、不完全ナル歩兵ト

ナルニ過キサレハ譬ヒ小銃ヲ以テ徒歩戰スルモ固ヨリ充分ナル者ニアラス眞ニ己ムヲ得サル時ニ於テ之レヲ爲スノミ蓋シ騎兵ノ主要ナル武器ハ馬足ニアルナリ

騎兵ハ歩兵ト異リ時ト場所ヲ論セス自由ニ運動スル能ハス戰闘ノ形況及ヒ土地ノ種類ニ由テ著シク性能ヲ掣肘セラル、ナリ蓋シ馬匹ハ歩兵ノ如ク不齊地ニ運動ヲ自由ナラシムル能ハス又此兵種ハ自ラ射撃ヲ以テ攻撃ヲ準備スル能ハサルヲ以テ唯タ攻撃奏効ノ成否ハ機ニ投スルノ一點ニアルノミナレハナリ

騎兵ノ養成ハ之レヲ歩兵ニ比スレハ徵募(人馬)訓練(人馬)各別ノ教練及ヒ乗馬ノ訓練(補充)及ヒ戰地ニ於テ保育スルコト頗ル困難ニシテ且ツ巨額ノ經費ヲ要ス乃チ騎兵ヲ使用スルニハ指揮官タル者宜シク之レヲ愛惜シ一旦之レヲ損滅セハ容易ニ補充シ能ハサルコトヲ注意スヘ



其三 野戰砲兵

砲兵ハ陣地ノ骨幹ニシテ猛烈ナル火力ヲ以テ其戰鬪性能トス其射距離ノ大ナル志氣ニ影響スルノ大ナル破壊力ノ大ナル等ノ利アレ砲兵自身ニハ獨立ノ防禦力ナク砲卒各自一時ノ危急ヲ防シノ外ハ白兵ヲ以テ戰フコト能ハス且ツ砲兵正面ヲ以テ敵ニ對シ得ヘキトキニ非サレハ敵ノ攻撃ヲ防クコト能ハス殊ニ運動中ニ在ツテハ全ク抵抗力ナシ故ニ敵前ニ於テハ常ニ他兵ノ掩護ヲ要シ又假令特別ノ護衛隊ナキモ其近傍ニアル他兵種ハ必ラス危急ノ場合ニ於テハ砲兵ヲ掩護救助スルノ義務ヲ有スルモノトス

又砲兵ハ獨力ニテ戰鬪ノ決局ヲ告ケシムル能ハス必ラス他兵ト連合

戰鬪ヲナスヲ要ス蓋シ火戰ノミヲ以テ戰鬪ノ決勝ヲナス能ハス最後ハ必ラス白兵戰ニ因ラサルヘカラサレハナリ

土地ノ種類ハ亦タ砲兵ノ運動ニ影響ヲ及ホスコト最モ大ニシテ其他暗黒濃霧等ハ殆ント其効用ヲ失セシムルモノナリ

砲兵ノ養成ハ徵募訓練(人馬ノ教練殊ニ兵卒ハ徒歩車輛乘馬及ヒ砲煩ノ教練等雜多ナリ)保育(戰地ニ於テハ殊ニ然リ)等甚タ困難ニシテ且ツ巨額ノ費用ヲ要ス

其四 工兵

工兵ハ特別ナル兵種ニシテ堡壘ノ築造陣地村落森林等ノ防禦工事軍橋ノ架設軍路ノ改修破壊工作其他軍事ニ所要ナル百工ヲ擔任ス



其五 輜重兵

輜重兵ハ軍隊ノ齎ラス物件即チ大小行李及ヒ步砲二兵ノ豫備彈藥ヲ除クノ外軍中諸般ノ運輸(糧食縱列、野戰病院、架橋縱列及ヒ馬廠等)ヲ擔任ス

● 隊 形

戰術ノ隊形ハ其創造甚タ遼遠ニシテ人民ノ歴史ト共ニ之ヲ發見スル所ナリ然レトモ其古キニ溯リ遠キニ温及スルハ短冊少時ノ能クスヘキ所ニアラサルノミナラス徒ラニ隊形歴史ヲ學フニ過キスシテ其効少カルヘシ蓋シ吾人ノ研究スヘキ眼目ハ當今ノ火兵戰術ニ適スル隊形ノ利害ナリ大古ノ白兵戰時代ニ用ヒシ隊形ノ如キハ目下甚タシク

其研究ノ要ヲ認メサルナリ  
夫レ戰術隊形ナルモノハ戰術ノ骨幹ニシテ之レヲ運用シテ以テ攻防ノ戰鬪法ヲ生スヘク此戰鬪法ヲ地形任務敵情ニ應シテ千變萬化活用シ以テ戰術ノ妙ヲ生スヘシ  
隊形ノ沿革ハ種々ノ變遷ヲナシアレトモ要スルニ一大變革トモ云フヘキ二大區別ヲナセハ火器採用以前ニ於ケル密集隊形及ヒ火器採用後ニ於ケル疎散隊形是レナリ火器採用以前ニ於テハ專ハラ集團衝突ノ白兵戰ニシテ火器採用以後ハ衝突力ヨリハ寧ロ火力ニ由テスル火戰ナルヲ以テ其戰鬪性質全ク一變シ從ツテ隊形ハ一大變革ヲナスニ至リシハ實ニ自然ノ數ナリ

其一 散開隊次、散開隊形、密集隊次、密集隊形、



隊形ハ其隊ノ布列シタル形狀ノ名稱ナリ、隊次ハ概言スレハ隊形ノ總稱ニシテ深キ意義ヲ有スルニアラス即チ隊形ノ如何ニ關セス散開ノ姿勢ニアルモノヲ散開隊次ト云ヒ密集ノ姿勢ニアル者ヲ密集隊次ト云フ。

散開隊形ハ總テ兵隊ノ散開シタル隊形ヲ云フモノニシテ即チ散兵線ナリ散兵線ハ一步ノ間隔ニ散開シタルモノアリ三步ノ間隔ニ散開シタルモノアリ或ハ攻勢鉤形ニ散開シタルモノアリ是レ皆ナ散開ノ隊形ナリ

密集隊形ハ兵隊ノ密集シタル隊形ヲ云フモノニシテ橫隊アリ縱隊橫隊アリ重複縱隊アリ是レ皆ナ密集ノ隊形ナリ

散兵線ノ後方ニ橫隊或ハ縱隊ヲ以テ位置スル援隊アルトキハ是等ノ

散兵線及ヒ援隊ヲ總稱シテ散開隊次ト云フ何トナレハ凡ソ援隊ナルモノハ散兵ト同單位ニアル部隊ニシテ散兵ニ連繫スヘキモノナリ故ニ其單位ノ部隊ヨリ概言スレハ其部隊ハ散開ノ姿勢ニアルモノニシテ之レヲ散開隊次ニアリト云ハサルヲ得ス假令ハ戰團單位タル中隊ノ二小隊ハ前面ニ散開シ一小隊後方ニ援隊トナリアルモノトスレハ其中隊ハ散開隊次ニアリト云フ即チ中隊全部ニトリテハ既ニ密集スルモノニアラス散開ノ姿勢ニアレハナリ

聯隊中ノ三大隊カ種々ノ密集隊形假令ハ甲ハ重複縱隊、乙ハ縱隊橫隊、丙ハ大隊縱隊ヲ以テ各所ニ集合シタル時ハ之レヲ稱シテ聯隊ハ密集隊次ヲ以テ集合セリト云フヘシ

戰術單位タル大隊ガ例令ハ二中隊ヲ第一線トシ又二中隊ヲ豫備隊トシタル配備ヲ取リタルトキ之レヲ稱シテ戰團隊形ト云フ何トナレハ



第一線ハ即チ各中隊各自ニ散兵線ヲ作り援隊ヲ設ケ所謂散開隊次ヲ作レトモ豫備タルモノハ常ニ散兵ニ從屬スヘキ者ニ非ラス特別ノ任務ヲ有シ以テ大隊ノ戰術任務ヲ完全ナラシムル者ナリ即チ此豫備隊ト第一線トヲ以テ完全ナル戰闘ヲ完結スヘキ隊形ヲ爲ス者ナレハナリ而シテ又豫備隊ノミヲ特ニ隊次ノ名ヲ以テ唱ヘントセハ豫備隊ハ密集隊次ニアリト云フヘキナリ是レ二個ノ中隊ハ橫隊或ハ縱隊ヲ以テ兩翼ニアルカ或ハ梯形ニアルカ何レニセヨ全般ヨリ云ヘハ密集ノ姿勢ニアレハナリ

其二 密集隊次及ヒ散開隊次ノ利害

第一 指揮掌握便ニシテ能ク軍紀及ヒ順次ヲ維持シ司令ノ思慮部  
 第二 衆多團結ノ兵ヲ用フルヲ得故ニ壓力大ナリ  
 第三 前進ニ在テハ大ニ志氣ヲ旺盛ニシ抵抗ニ在ツテハ最モ堅固ヲ保有ス故ニ此ノ隊形ハ至大ノ衝突力ヲ有シ敵騎ノ襲撃ニ對シテハ至強ノ抵抗力ヲ具フルモノナリ

下ニ普及ス是レ密集隊次特有ノ利ナリ

第二 衆多團結ノ兵ヲ用フルヲ得故ニ壓力大ナリ

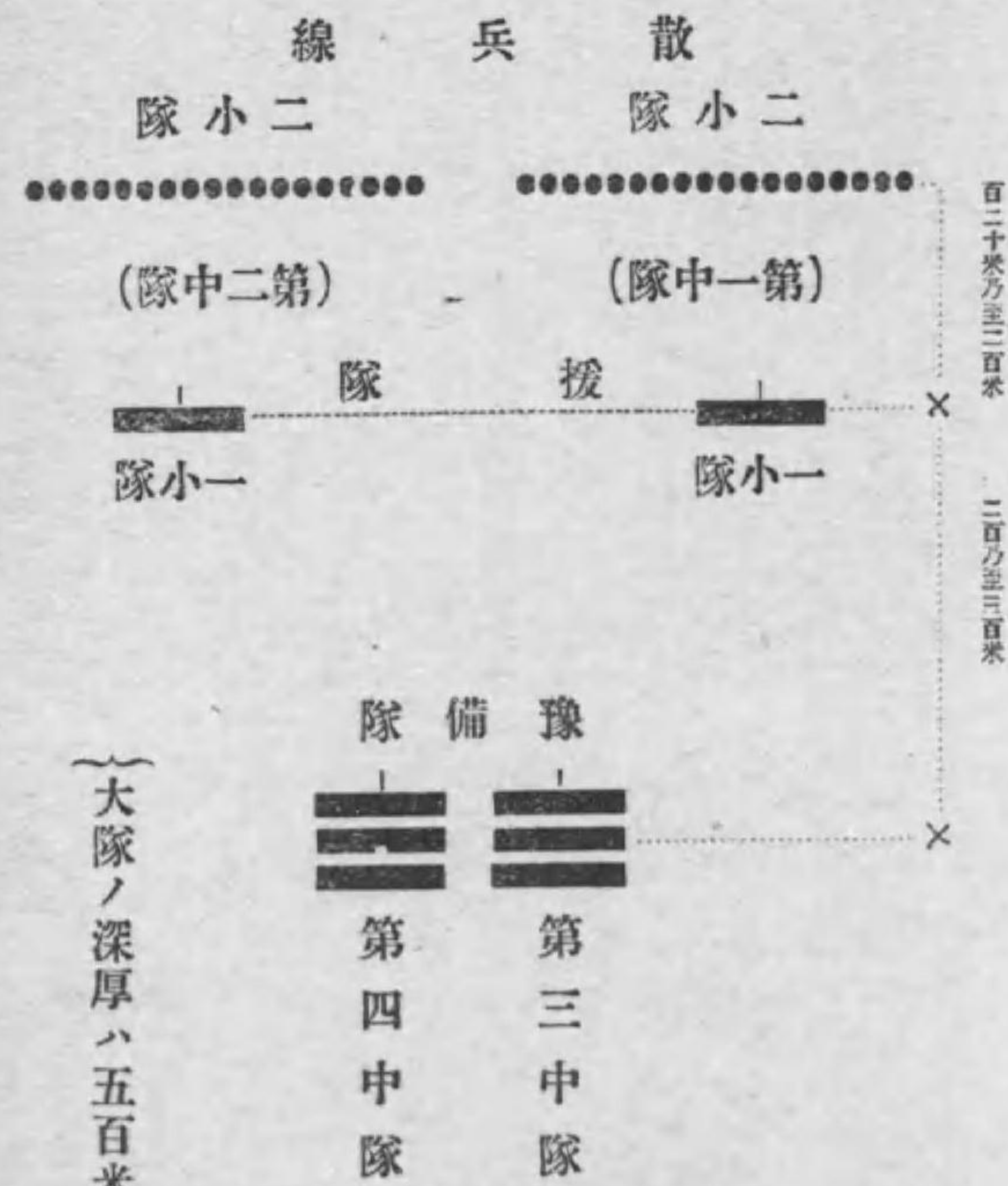
第三 前進ニ在テハ大ニ志氣ヲ旺盛ニシ抵抗ニ在ツテハ最モ堅固ヲ保有ス故ニ此ノ隊形ハ至大ノ衝突力ヲ有シ敵騎ノ襲撃ニ對シテハ至強ノ抵抗力ヲ具フルモノナリ

要スルニ密集隊次ハ團結志氣ノ旺盛至強ノ壓力衝突力及ヒ抵抗力ヲ以テ決戰ヲナス所ノ白兵戰ニ適ス然レトモ火戰ニ於テハ此隊形ハ大ニ損害ヲ蒙ムルヲ以テ散開隊次ヲ用ユルヲ要スレトモ苟モ散開ノ不  
 必要ナル場合ニハ成ルヘク長ク密集隊次ニ在ルヲ可トス是レ戰闘ニ  
 必要ナル掌握ニ便ナレハナリ假令ヒ一旦散開スルモ其必要止メハ速  
 ニ集合シテ密集隊ニ復スルヲ要ス  
 散開隊次ノ利左ノ如シ



步兵大隊戰隊形

第一圖



大隊ノ深厚ハ五百米ヲ最大限トス

第一 容易ニ地形ヲ利用シ得即チ掩蔽及ヒ武器ノ使用ヲ阻レヌ又妨ケ  
 ナス等ヲニ便ナリ

第二 敵火ニ對スル目標小ナリ

第三 運動自在ニシテ進退速ナリ

要スルニ散開隊次ハ敵火ノ下ニ在ル散兵線常用ノ隊次ニシテ火戰ヲ  
 主トスル砲兵ノ戰隊隊形モ亦一種ノ散開隊次ナリ

其三 戰隊隊形ノ要領並ニ各線ノ任務(第一圖)

戰隊隊形ハ次ノ要領ヲ具備セサルヘカラス

第一 成ルヘク多數ノ小銃ヲ備ヘ且ツ其火力ヲ逞ウスルコト

第二 成ルヘク敵火ノ被害ヲ減スルコト

第三 戰隊ヲ持續スルニ足ルヘキ兵力ヲ後方ニ梯置スルコト



右ノ三要領ヲ充タサントスルニ第一第二ハ相衝突スルモノニシテ即チ第一要領ヲ充タサン爲メ多クノ兵ヲ用ヒ散兵線ヲ密ナラシメハ勢ヒ我損害ハ大ナルヘク第二要領ヲ充タサンカ爲メ散兵線ヲ稀薄ニセハ第一要領ヲ充タス能ハス然レトモ抑々戦闘ノ目的ハ敵ニ損害ヲ與フルヲ以テ主眼トナシ我損害ヲ減スルハ第二位トセサルヘカラス況ンヤ第一要領ニ從ヒ我火力ヲ逞フセハ敵ノ損害ハ大ナルヘク從ツテ間接ニ第二要領ヲ充タスノ利アルニ於テオヤ然リ而シテ劇シク戦闘ヲ交ユル散兵線ハ漸次殺傷ノ爲メ空隙ヲ生スルヲ以テ之ヲ補フハ實ニ火力ヲ盛ニ持續スルニ尤モ必要ナル事ニシテ且ツ又決戦ノ爲メ行フ所ノ白兵戦ニ供スル爲メ或ハ敵ノ逆襲ニ應スル爲メ或ハ戦闘スル兵ヲシテ後方ニ扶援者アリト自信ノ恃頼心ヲ以テ極大ノ力ヲ致サシムル爲メ等ニハ必スヤ新銳ノ兵ヲ後方ニ控ヘサルヘカラス是レ即

チ第三要領ノ必要ナル所以ニシテ之レカ爲メニハ援隊豫備隊ヲ前後ニ梯置セサルヘカラス  
 梯置スル諸隊ハ戦闘ノ當初ニハ成ルヘク同一ノ單位タルヘシ然ラサレハ早クヨリ各異ノ諸單位混淆シ指揮困難ニシテ協同一致ヲ得サルニ至ラン  
 以上ノ要領ニ由テ組成スル戦闘隊形ハ通常散兵線援隊豫備隊ノ三線ヨリナルモノニシテ其各線ノ任務ハ概ネ次ノ如シ  
 第一線ハ戦闘ヲ開始シ結局ニ至ルマテ戦闘ス其行フ所ハ通常正面攻撃ニシテ且ツ概ネ突撃ヲ準備ス  
 第二線ハ概ネ左ノ任務ヲ有ス  
 一 前進ニ在ツテハ第一線ニ恃頼心ヲ與ヘ防禦ニ在ツテハ抵抗力ヲ増加ス



- 二 第一線ヲ増加ス
- 三 掩護ナキ第一線ノ側面ヲ警戒ス
- 四 略取セシ地點ヲ迅速ニ占領シテ戰鬥ノ成功ヲ確實ニス
- 五 第一線擊退セラル、トキハ之ヲ支持シ且ツ之ヲ收容ス
- 六 散兵ノ集合點トナル
- 第三線ハ勉メテ他ニ關係スルコトナク諸種ノ機變ニ應スルニ備フ或ハ逆襲若クハ側面攻撃ヲ行ヒ或ハ敵ノ行フ此二種ノ攻撃ニ抵抗シ或ハ退却線ヲ保護シ我兵戰ヒ利アラサレハ敵兵ヲ遮止ス

其四 歩兵隊形

横隊隊形ハ其本來ノ性能ヲ括言スレハ火戰ヲ爲スノ隊形ニ外ナラサルナリ故ニ一ニ之レヲ戰隊ト云フ又某兵家ハ之ヲ以テ

基礎隊形トナセリ即チ諸種ノ隊形ヲ作ルノ原素ト云フ意ナリ  
横隊ノ利害ニ關シテハ種々ノ說アレトモ其歸着スル所ノ要旨ヲ掲ク  
レハ概テ左ノ如シ

歩兵ノ利

- 一 火戰ニ於テ多數ノ火器ヲ排列スルヲ得
- 二 縱深小ナルヲ以テ砲火及ヒ遠距離ノ歩兵火等ノ如キ縱長ノ被彈面ヲ有スル者ニ對シ損對ヲ被ムルコト少ナシ

歩兵ノ害

- 一 縱隊ニ比スレハ運動困難ナリ殊ニ障礙多キ不齊地ニ在ツテ然リ
- 二 死傷多キトキハ動モスレハ動搖スルノ憂ヒアリ
- 三 方向變換ヲナスコト困難ニシテ大ニ時間ヲ消費シ且ツ不利ノ地形及ヒ敵火ノ中ニ在ツテハ順次潰亂



下方今敵火ノ  
ハ横隊ヲヨリ  
半小隊ノヨリ  
面縦隊ノヨリ  
キ横隊ノヨリ  
下横隊ノヨリ  
隊形ノヨリ  
リト云ハナ  
リト云ハナ  
リト云ハナ  
リト云ハナ

スルノ憂ヒ少カラス

以上ノ利害アルヲ以テ密集横隊ヲ用ユルハ概ネ左ノ時期ニアリ

- 歩兵横隊ノ用處
- 一 稠密隊次ヲ以テスル火戰時トシテハ白兵戰ノ爲メニモ用ユ
  - 二 敵火殊ニ砲火ノ下ニ於テ運動スルトキ

縦隊隊形 縦隊隊形ハ運動ノ隊形ニシテ又兵力ヲ集結スルニ便ナル隊形ナリ故ニ某兵家ハ復々之レヲ以テ基礎ノ隊形トナセリ蓋シ横隊ト同シク諸隊制ノ基礎ヲ爲スノ意ナリ

縦隊ノ利害ニ關シテハ種々ノ說アレトモ其歸着スル所ノ要旨ヲ掲ク  
レハ概ネ左ノ如シ

- 一 運動自由ニシテ地形ヲ利用シ易ク集合モ亦狭少ノ地面ニ爲サシムルヲ得ルノ便アリ

歩兵ノ縦隊ノ利

- 二 其正面狭小ナルヲ以テ速ニ行進ノ方向ヲ變換シ得
- 三 指揮官ノ掌握ニ便ニシテ結合團結力強シ
- 四 攻撃ニ在テハ衝突力強ク又側面ノ抗力多シ

- 歩兵縦隊ノ害
- 一 火器ノ排列ニ不便ナリ
  - 二 縦深大ニシテ敵火ニ好目標ヲ與フ

以上ノ利害アルヲ以テ縦隊ヲ用ユルハ概ネ左ノ場合ナリ

- 歩兵縦隊ノ用處
- 一 集合又ハ戰鬪前ニ於ケル準備隊形
  - 二 戰場ニ於ケル運動
  - 三 銃槍攻撃

方陣 昔時ハ大ナル方陣ヲ作リテ戰鬪ヲナセリ然レトモ今日ノ火器ト今日ノ騎兵トノ關係ニヨリ到底無益タルヘキハ論ヲ待タサルナリ蓋シ方陣ハ射撃ノ限界狭小ナルヲ以テ一方面ニ對シ衆多ノ火器ヲ



用ユルヲ得サルノミナラス敵ノ有効射程内ニ於テハ重大ノ目標トナ  
リ銃砲ノ集射ヲ受クルノ不利アレハナリ故ニ今日ノ我操典ニモ中隊  
ノ方陣ヨリ大ナルモノナク又之レヨリ小ナルモノモアラサルナリ而  
シテ中隊ノ方陣ハ左ノ如キ場合ニ用ユルモノトス

一 中隊縦隊ニアルトキ騎兵ヨリ急劇ノ射撃ヲ受クルカ或ハ四方  
ヨリ襲撃ヲ受クルトキ

二 彈藥缺乏シ他ニ騎兵ニ對スル處置ナキトキ

三 殺傷多キ戦闘後其隊伍動乱セルトキ

**集合隊形** 集合隊形ニ一定ノ隊形ナシ否ナ一定ノ隊形ヲ作ルノ必  
要ナキナリ如何トナレハ軍隊ノ集合ヲ要スルハ攻撃突貫等ノ後ニ於  
テ兵力ヲ集結シテ兵ノ志氣ヲ沈靜ナラシムルカ行軍若クハ舍營等ニ  
アルモノヲ一地ニ集合スルカノ如キ場合ニ起ルモノニシテ其起ルヤ

固ヨリ全ク其地形ニ應シ適當ナル隊形ヲ取ルノ外更ニ必要ナル隊形  
ト云フモノアラサルナリ故ニ操典第二百十二集合隊形ノ項ニ於テモ  
通常ナル語ヲ以テシ確然ト制限シタルコトナシ

**戦闘隊形** 方今ノ戰術ハ横隊戰術ニアラス亦タ縦隊戰術ニモアラ  
ス諸隊形ヲ利用シテ互ヒニ相援助シ横隊ト縦隊トヲ互用シ散開ト稠  
密ノ隊形ヲ交用シ遠戰ニ參スルニ近戰ヲ以テシ小群ノ戰術ト大群ノ  
戰術ヲ兼用スルニアリ是レ全ク火器ノ進歩ニ因縁スルモノニシテ實  
ニ戰術ノ高度ニ達シタルモノナリ

夫レ然リ故ニ散兵線獨リ戦闘ヲナス能ハス密集隊獨リ戰ヲ決スル能  
ハス是ニ於テカ散開、密集ノ長短相待ツテ散開戦闘始メテ成ル此等散  
開、密集ノ隊勢並ニ戦闘隊形ノ解ハ前條既ニ述ヘタル所ノ如シ

**大隊ノ基本隊形** 夫レ密集隊次ノ隊形ヲ一人ノ號令ニテ十分ニ



指揮シ得ルモノハ大隊ヲ以テ最大限トス故ニ大隊ニ於テハ基本隊形トシテ重複縦隊、大隊縦隊、縦隊横隊ノ隊形ヲ規定ス此隊形タル攻撃ニ運動ニ集合ニ用ユヘカラサルナシ即チ是レ基本隊形タル所以ナリ此ノ以上聯隊旅團等ニ在ツテハ最早聲音ヲ以テ一人ノ之ヲ號令スル眼リニアラス故ニ別ニ隊形ヲ規定スルノ必要ナク殊ニ我國ノ地形ニ於テ然リトス

大隊ノ基本隊形ニ於テ横隊ナキハ前ニ述ヘタル横隊縦隊ノ利害ニヨリテ考フレハ其至當ナルヲ了解スルナラン夫レ横隊ハ火戦ノ隊形ニシテ而モ大隊ニ於テ今日密集横隊ノ火戦ヲナス必要ナク否ナ爲シ能ハサルナリ密集横隊ノ火戦ハ戰闘單位タル中隊ヲ以テ限リトス又大隊ノ集合ニセヨ運動ニセヨ横隊ノ不利ナル既ニ述ル所ノ如シ  
重複縦隊ハ狭小ノ地面ニ集合シ易ク殊ニ掌握團結運動ニ便ナリ然レ

重複縦隊ノ用處

トモ隊形濃密敵彈ノ損害多キヲ以テ唯々射撃界外ニ於テノミ用ユルヲ得ヘシ又展開ニ當ツテハ多クノ斜行進ヲナスヲ要スルヲ以テ時間ヲ徒費ス故ニ戰闘準備ノ隊形ニ適セス

大隊縦隊ノ用處

大隊縦隊ハ地形狭長ナルトキノ集合隊形ニ適當シ又行軍間ノ集合ニハ速ニ開進シテ休憩ニ就キ又速ニ途上縦隊ニ移リ得ルノ利アリ然レトモ其縦長ナルヲ以テ重複縦隊ニ比スレハ砲彈ニ對スル害一層甚シク展開ニ當リテモ亦タ愈々時間ヲ費スナリ然レトモ正面比較的狭小ニシテ運動容易ナルヲ以テ戰闘前縦長ヲ短縮スルヲ要セサル間ノ運動ニハ屢用ユルモノトス

縦隊横隊ハ前ニ述ヘタル縦隊ト横隊ノ利害ヲ折衷シタル者ナレハ其利害ハ自ラ明カナルヘシ各中隊間ニ於ケル間隔ハ各中隊ニ運動ノ自由ヲ與ヘテ横隊ニ於ケル運動困難ノ害ヲ減シ縦深ノ比較的薄キハ砲



縦隊横隊ノ  
用處

彈ノ害ヲ減シ各中隊ノ併立ニ由テ生スル正面ハ横隊ノ利ヲ有シ各中  
 隊ノ側面ハ縦隊ノ利ヲ有シ各中隊若干ノ間隔ヲ有スルハ多少ノ障碍  
 ニ逢フモ運動ヲ妨ケラレス諸種ノ運動モ自由ナリ展開ニ當リテハ若  
 干ノ斜行進ヲ以テ間隔ヲ開ケハ足ルモノニシテ他ノ隊形ニ比スレハ  
 迅速容易ナリ故ニ此隊形ハ射撃界内ニ於ケル運動ニモ用ヒ得ヘク又  
 戰鬪準備ノ隊形或ハ縦長ヨリモ正面ノ廣キヲ要スル場合等ニ用ユル  
 モノナリ戰鬪後ノ集合ニ在ツテ多ク此隊形ヲ用ユルモ亦之レ展開ニ  
 便ナルヲ以テ敵ノ回復攻撃ニ備フルノ準備ニ外ナラサルナリ  
 唯タ縦隊横隊ニ於テ顧慮スヘキハ縦深少ナク比較的側面薄弱ナリ又  
 其正面廣キヲ以テ蔭蔽ニ難ク目標トナリ易キハ免レサル所ナリ

其五 騎兵隊形

騎兵ノ隊形ハ歩兵ノ如ク複雑ナラス是レ戰法ノ單一ナルニ基因スル  
 モノナリ騎兵ノ戰法トハ何ソヤ曰ク前條騎兵ノ性質ニ説述セシ如ク  
 白兵ノ突撃是レナリ故ニ騎兵ハ純然タル攻撃ノ兵ニシテ馬匹ヲ驅リ  
 白兵ヲ使用スルニ便ナル如ク隊形ヲ撰ハサル可ラス是レ騎兵ノ隊形  
 ヲ作ル大本ナリ

横隊隊形 横隊隊形ハ密集隊形中眞ニ騎兵襲撃ノ隊形ニ適スル者

ナリ其利害ノ大要ヲ掲クレハ左ノ如シ

- 一 諸部隊同時ニ敵ニ衝突シ數多ノ白兵ヲ使用シ得
- 二 砲火ノ害ヲ受クルコト少シ
- 三 隊面廣濶ナルヲ以テ攻撃ノ際敵ヲ包圍スルニ易シ
- 四 敵ニ對スル一直線ノ前進運動(襲撃)ニ在ツテハ大ニ  
其速力ヲ増加ス

騎兵ノ横  
隊ノ利



結論

騎兵ノ横隊ノ害

- 一 方向變換及ヒ運動甚タ困難ナリ
- 二 地形地物ヲ利用スル難シ

利害右ノ如クナルヲ以テ横隊ハ決シテ機動ノ隊形トシテ用ユヘキモノニアラス全ク方向ヲ變スル顧慮ナク一意敵ニ向ツテ攻進スル時ニ用ユヘシ

横隊隊形ヲ以テ襲撃スルニ當リ必要ナルハ中隊間ニ少ナル距離ヲ存シテ一隊ノ動搖全隊ニ波及セサル如クスル是レナリ

**梯隊隊形** 梯隊隊形ハ横隊ノ變形タルニ過キス其用法利害ノ大要ヲ述フレハ左ノ如シ

各梯隊ノ兵力一中隊以下ナルトキハ大ニ其効力ヲ減殺ス故ニ數中隊以上ノ部隊ニアラサレハ之レヲ用ヒサルヲ良トス而シテ之レヲ用ユル場合ハ多クハ隘路ヲ經過シテ直チニ展開スルトキ等ニアリ

横隊ノ用途

又、或ハ集團ノ隊形ニアルトキ急ニ襲撃ニ展開スル時ニモ用ユルモノナリ而シテ此ノ如ク己ムヲ得サル場合ハ外ハ歩兵ニ對シテ用ユルモノトセリ蓋シ歩兵ニ對シ梯隊ヲ以テ襲撃スレハ連續敵ヲ脅威シ恐怖ノ念ト不沈着騷擾トヲ來タサシメ遂ニ効ヲ奏スルコトアレハナリ

縦隊隊形

騎兵ノ戰鬪ハ悉ク運動ニ從屬ス故ニ其戰鬪隊形ハ皆運動ニ便ナル性能ヲ有セサルヘカラス而シテ縦隊隊形ハ其最モ運動ニ便ナル隊形ナリ横隊モ此性能ヲ有スト雖トモ其最モ長スル者ハ一意對敵ノ直進ナリ縦隊ハ然ラス

- 一 諸方向ニ運動スルコト自在ニシテ行進方向及ヒ正面ヲ變更スルコト容易ナリ



騎兵ノ利ノ縦

- 二 地形ニ適應セシムルコト容易ナリ
- 三 指揮容易ニシテ結合力大ナリ
- 四 攻撃線ヲ側面ニ編成スルコト容易ナリ

騎兵ノ害ノ縦

- 一 敵ノ砲火ノ内ニアリテハ損害ヲ蒙ルコト大ナリ
- 二 諸部隊一齊ニ衝突スル能ハス
- 三 正面廣カラサルヲ以テ包圍セラル、ノ危険アリ

右ノ如クナルヲ以テ縦隊ハ特別ナル場合ニ限り襲撃ノ用ヲナスモノナルヲ以テ寧ろ機動ニ用ユルノ隊形ト云フヘシ、而シテ機動ノ要訣ハ何時ニテモ諸方向ニ横隊ヲ編制シ得ルニアリ此要求ヲ満足スルモノハ全距離ノ縦隊ニアラサレハ成シ得サルナリ又地形ニ適用スルコト容易ナルヲ以テ集合隊形トシテ用ユルニ最モ便ナリ之レカ爲メニハ閉縮ノ縦隊ヲ用ユルヲ利トスルコト多シ

散開隊形

騎兵ノ散開隊形ハ戰鬥ノ隊形ナレトモ其隊形薄弱ニシテ不意ノ事變ニ應スルコト難ク衝突力微ナリ然レトモ其運動ハ迅速ニシテ敵火ニ對シ損害ヲ減少スルモノナリ故ニ此隊形ヲ以テ襲撃ヲナスハ砲兵或ハ散開セル歩兵殊ニ敗兵ヲ追撃スルトキ等ニアリ

結論

以上各種隊形ニ就テ論スル所ニ由レハ次ノ結果トナルヘシ

- 第一 横隊ハ密集襲撃ノ爲メニ最良無比ノ隊形ナリ
- 第二 梯隊ハ横隊ノ變形ニシテ特別ノ場合ニ於テ襲撃ニ用ユ
- 第三 縦隊ハ集合及ヒ戰場ニ在ツテ未タ襲撃ノ方向確定セサル間ニ於ケル諸運動ニ最モ適當ナル隊形ナリ
- 第四 散開隊形ハ損害ヲ減シ運動迅速ナレトモ危険且ツ薄弱ナリ

其六 砲兵隊形



砲車縱隊ノ  
利益左ノ如  
シ、地形ヲ  
利用シテテ  
運動シ易  
二、各砲車  
同時ニ放  
面ニ放列  
ヲ布置ス  
ルコトヲ  
得ル  
閉縮間隔ノ  
利益左ノ如  
シ、狭少ノ  
地帯ニ集  
合スルヲ  
得  
二、指揮容  
易ナリ

砲兵中隊ノ機動隊形ハ十分ナル間隔ヲ有スル横隊隊形ヨリ良キハナシ然レトモ大ナル部隊ニ於テハ其正面廣大トナリ運動ニ不便ヲ來スヲ以テ諸種ノ隊形ヲ用ユ

砲兵ハ縦隊ヲ用ユル甚タ少ク且ツ縦隊ハ特ニ利トスル所少ナシ間隔ヲ開キタル横隊ノ利ハ概ネ左ノ如シ

- 一 縦深淺ク敵ノ砲火ニ對シ目標ヲ數個ノ小部ニ分チ損害少シ
- 二 砲車ニ砲彈命中シ爲メニ擾亂ヲ生スルモ直接ニ他砲車ニ波及スルノ患ナシ
- 三 各砲車ハ轉回並ニ前車ノ駕脫等ニ便ナリ
- 四 戰備迅速ナリ即チ縦隊ニ在ツテハ前車解脫ノ爲メ展開ヲ要スルヲ以テ迅速ニ戰備ヲ整フル能ハス
- 五 運轉便利ナリ即チ迅速ノ歩度ヲ用ヒ得又一砲車障礙物ニ遭フ

第一段列ト  
離放列トノ  
距離

モ之レヲ容易ニ避ケ得ル

六 各砲各自獨立スルヲ得ル即チ一砲車停滯スルモ之レカ爲メニ他ニ波及スルコトナシ

**戰鬪隊形** 戰鬪隊形トハ砲車隊放列ニ備ヘ兩段列各其位置ヲ占メタル時又ハ戰線進入ノ目的ヲ以テ區分サレタル中隊ノ各部相隔離シタル時ノ隊形ヲ謂フ

砲兵中隊ハ尋常ノ土地ニ於テ左ノ戰鬪隊形ヲ取ルナリ(第二第三圖)

- 第一線ハ放列ニ備ヘタル砲車隊及ヒ二輛ノ彈藥車ヨリ成ル
- 第二線ハ即チ第一段列(前車モ此位置ニ至ル)ニシテ此位置ハ力メテ放列ニ接近シ敵彈ノ危害少ナキ翼ニ在ツテ蔭蔽シ殊ニ放列トノ交通容易ニシテ進退自在ナルヲ要ス開濶ノ土地ニ在ツテハ放列トノ距離ヲ稍大ニスヘシト雖トモ二百、米、以上、至、ル、ハ、不、利、ナ、リ、又、密、集、ノ、隊、形、ヲ







第一段列ト  
離列トノ距

戰線ト彈藥  
離列トノ距

避クヘシ  
 第三。線ハ即チ第二段列ニシテ此位置ハ敵彈ノ危害ヲ蒙ムルコト無ク  
 靜肅ニ彈藥ノ補充ヲ行ヒ得ル限リハカメテ放列ニ接近シ交通自在ニ  
 シテ容易ニ之レヲ發見シ得ク又道路狹隘中ニ在ルヲ避ケ其隊形ハ  
 最モ能ク遮蔽物ヲ利用シ得ル如ク之レヲ定ム開濶ナル土地ニ在テモ  
 放列ヲ距ルコト約ネ六、百、米、以、上、ナ、ラ、サ、ル、ヲ、要、ス、  
 彈藥縱列ハ戰鬪ヲ開始スルヤ總指揮官之ヲ招致シ砲兵隊長ニ之レヲ  
 通知ス砲兵隊長ハ亦之レヲ部下ニ報知シ此縱列ノ處ニ至リテ彈藥ノ  
 補充ヲ受ケシム而シテ縱列カ招致セラル、ノ距離ハ戰、線、ヨ、リ、二、千、米、  
 後、方、ナ、ル、ヲ、通、常、ト、ス、此以內ニ招致スルハ特ニ必要ナル例外ノ場合ナ  
 リ

● 縱層配備ノ必要

戰鬪ヲ交ユル部隊ハ彼我ノ殺傷多ク戰線ハ漸次ニ空隙ヲ生シ後方部  
 隊ヲ以テ之レヲ補ハサレハ以テ戰鬪ヲ持續スル能ハス且ツ側面ハ尤  
 モ弱點ニシテ敵ハ常ニ時機アレンハ側面ヲ襲ハント欲スルモノニシテ  
 戰鬪中側面ノ警戒ハ必スヤ交戰部隊ノ外後方ニ控ユル一部隊ヲシテ  
 之レニ任セシメサルヘカラス殊ニ方今ハ往昔ニ於ケル如キ一舉ニ勝  
 敗ヲ決スル如キ白兵戰ニアラスシテ長時間ニ亘ル火戰ナリ凡ソ戰鬪  
 ハ時間長ケレハ從テ由テ來ル所ノ不意ノ變ハ益、多ク之レニ備フルニ  
 ハ愈、縱長配備ノ必要ヲ感シ又方今ニ於ケル如ク散開戰鬪ニ在ツテハ  
 往々部下團隊ハ司令官ノ掌中ヲ離レ敵兵ニ接近スル部隊ハ時々獨斷  
 ヲ以テ交戰セシメサルヲ得ス且ツ戰鬪酣ニシテ彼此ノ部隊混淆スル



ノ機ニ當リ司令官其勢ヲ逞フシ戰勢ヲ左右スルハ一部ノ兵隊ヲ手裏ニ貯存シ之レヲ以テ時機ニ應スルヨリ他ニ良法ナシ是等ハ即チ縦層配備ノ必要ナル所以ニシテ殊ニ騎兵ノ白兵衝突ノ如キハ彼此格闘混亂スルニ當リ其勝利ハ單ニ新銳ナル一部ヲ以テ更ニ之レニ加フルモノニ歸スルノミナラス亦側面ノ警戒ハ襲撃ニ當リ甚タ必要ナル者ナリ是レ騎兵襲撃ニ在ツテモ亦タ後方戰列ノ配備欠クヘカラサル所以ナリ

### ● 歩兵戰鬪要領

#### 其一 散開隊次ハ歩兵ノ主要ナル戰鬪法

歩兵ハ火戰白兵戰ノ兩戰鬪法ヲ兼用スル者ト雖トモ火戰ハ輓近歩兵

ノ戰鬪中其効用實ニ著大ナリ然リ而シテ一戰中火戰ハ其時期長クシテ勞力死傷モ亦多キニ居ル乃チ現今ノ如キ効力猛烈ナル火器ヲ以テスル戰鬪ニ於テ若シ時機ニ先チ白兵ヲ以テ之レニ當ラントスル時ハ忽チ敗滅ヲ招クヤ必然ナリ宜シク火器ノ効力ヲ發揚シ猛烈ナル射撃ヲ彼レニ與ヘ我最後ノ突撃ハ防禦力既ニ萎靡シタルカ或ハ敵兵ノ委棄シタル陣地ニ對スルニ過キサルカ如クセサルヘカラス是レカ爲メニハ分合自在ニシテ能ク地形ヲ利用シ我損害ヲ減スルト同時ニ兵卒武器ノ使用ヲ便ニシ其最大効力ヲ現ハスコトヲ勉メサルヘカラス此要求ヲ充タス者ハ即チ他ナラス散開隊次ヲ以テスル戰鬪ナリ夫レ大ナル密集部隊カ有効ナル敵ノ歩兵火ヲ受クルトキハ其時間短少ナリト雖トモ許多ノ損害ヲ免レス故ニ密集部隊ノ直接戰鬪ニ參與スルノ時期ハ短少ナルヲ要シ之レニ反シ散開戰鬪ハ長時間ニ亘ルヲ



得ヘシ此ニ於テカ散開隊次ハ現今火器ノ威力ニ對シテハ必ラス依頼  
スヘキ戰鬪手段タル明ナルヘシ

其二 步兵射撃ノ種類

步兵ノ射撃ハ二大別シテ散開隊次及ヒ密集隊次ノ射  
撃トス

密集隊次ノ  
射撃用處

密集隊次ノ射撃ハ稀レニ用ユル者ナリ何トナレハ密集隊次ハ敵ノ砲  
銃火ヲ受クルコト多シ故ニ散兵線中ニ存在スル適當ノ地物ニ據テ猛  
烈ニ射撃シ得ルトキ騎兵ノ襲撃ニ對スルトキ等例外ノ場合ニ用ユル  
モノトス  
散開隊次ニ於ケル射撃ハ步兵ノ主ナル戰鬪手段ナリ實ニ步兵ハ其火  
力ニ由テ敵ヲ防止シ又ハ我攻撃ヲ準備スルノミナラス時宜ニ由テハ

一齊射撃ノ  
利

直チニ火力ノミヲ以テ戰鬪ノ局ヲ結フコトアリ  
密集隊次ニ於ケル射撃ハ通常橫隊ヲ以テシ縱隊ニ在ツテハ四列射撃  
ヲ用ユルコトアリ

步兵射撃ヲ其射法ニ由テ區別スレハ一齊射撃、各個射  
撃ノ二種トシ又其射撃ノ速度ニ由テ區別スレハ緩徐  
射撃、並射撃、急射撃及ヒ連發射撃トス

一齊射撃ハ左ノ利ヲ有ス

- 一 射撃ノ指揮容易ナリ
- 二 時機ニ先ツテ無用ノ彈丸ヲ費サス彈丸ノ節用ニ便ナリ
- 三 射撃ヲ隨意ニ緩急スルヲ得、硝煙ノ飛散ヲ待ツテ照準射撃セシ  
ムルヲ得
- 四 志氣ヲ鼓舞ス又タ數多ノ彈丸ヲ同時ニ飛散セシムル故敵兵ノ



志氣ヲ沮喪セシム

以上ノ利アレトモ此射撃ヲナシ得ルハ戦闘ノ初期死傷少ナキ時ニシテ一旦戦闘激烈兵卒ノ心神動搖スル時ハ嚴格ナル一齊射撃ヲナス能ハス亂雜ナル一齊射撃ハ反ツテ害アリ故ニ一齊射撃ニ尤モ必要ナル者ハ動作ノ確實ト精神ノ沈着ニアリ

一齊射撃ノ要訣

各個射撃ノ利害

此射撃ハ密集隊次ヲ以テスルヲ通常トスレトモ戦闘未タ酣ハナラサル時ニアリテハ散開隊次ヲ以テスルコトヲ得ヘシ  
各個射撃ノ利トスル所ハ照準自在精密ニ迅速ニ數多ノ彈丸ヲ發射シ得ルニアリ然レトモ射撃ノ緩急ヲ制シ或ハ中止スルコト難ク硝烟ハ前面ニ漲リテ照準ヲ困難ナラシメ射撃ノ精否ヲ察スル能ハス兵隊ノ動搖ハ發射毎ニ増加シ彈丸ヲ浪費スルノ害アルモノトス  
四列射撃ハ狹正面ニ數多ノ銃數ヲ用ヒントスル時又縱隊ニ在ツテ展

射撃ノ限界

連發射撃  
用ノ時機

開ノ暇ナキ時等ニ用ユ此射撃ハ指揮困難、硝烟ノ漲滿、偶發、動搖等ハ二列横隊ニ於ケルヨリハ尤モ甚シキ者トス  
緩徐射撃、並射撃、急射撃、連發射撃等ハ要スルニ目標、時機ニ從ツテ射撃効力ノ如何及ヒ彈丸ヲ雨注スル緩急必要ノ程度等ヲ顧慮シテ適當ニ其施行スヘキ速度ノ種類ヲ決スヘキモノトス概言スレハ中距離(六百乃至千米)ニアル低キ目標ニ對シテハ緩徐ナル射撃ヲナシ急速ナル射撃ハ近距離(六百米以内)ニ於テ少時間有利ノ目標ニ對スル時ノミ施行ス砲兵ニ對スルトキハ千米ノ距離ニ於テモ尙ホ之レヲ行フコトアリ  
連發射撃ハ通常固定照尺ヲ用ユル者トス然レトモ時トシテ中距離ニ於テ少時間特別ニ利益ナル目標現出シ偉大ナル射撃ノ効力ヲ顯ハシ得ヘキ場合ニ限リ例外ニ此射撃ヲ用ユルコトアリ  
通常連發射撃ヲ應用スル時機、左ノ如シ



步兵戰術ノ要訣

- 一 攻撃ニ於テハ突撃前最後ノ準備ヲ爲ストキ
  - 二 防禦ニ於テハ敵ノ突撃ヲ撃攘スルトキ及ヒ逆襲ニ轉セントスル時機
  - 三 騎兵ヲ防禦シ或ハ戰鬪間俄然敵ト衝突セル時(堡壘ノ近傍、村落内、森林内等ノ戰鬪)
  - 四 退却スル敵ニ向ツテ追撃射撃ヲ行フ時
- 以上諸種ノ射撃如何ヲ問ハス常ニ戰線上敵ニ優ルノ銃數ヲ備フルハ步兵戰術第一ノ要旨タリ
- 此外間接射撃アリ此射撃ハ既知距離ニ於テ目標不動ニシテ彈道ノ彎曲ヲ利用シ好成绩ヲ期シ得ル時ニ用フルモノトス故ニ主トシテ要塞戰ニ用ヒラレ野戰ニ於テハ用ヒラル、コト稀ナリ

射撃上各兵ノ感銘スキ眼目

射撃軍紀

其三 戰鬪中射撃及ヒ其指揮並ニ遮蔽物應用ノ要領

射撃ノ規律能ク行ハル、ハ固ヨリ軍紀ノ嚴正ナルニ因ルト雖トモ然レトモ亦各兵ハ常ニ其司令ニ注目シテ速ニ司令ノ意ヲ知リ又火戰ノ始ハヨリ常ニ其彈藥ハ其數ニ限リアルコトヲ顧慮シ若干ノ彈藥ヲ射耗セハ若干ノ勢力ヲ減殺スルモノナレハ價値アル場合ニハミ發射スルコトヲ忘ルヘカラス然リト雖モ一目標ヲ射撃スヘキニ決定セハ其目的ヲ達スルニ必要ナル彈藥ヲ使用スヘシ其効ナキトキハ假令敵火ハ下ニ在ツテモ自若トシテ慢リニ應射スヘカラス蓋シ効力ナキ射撃ハ我兵ノ志氣ヲ挫キ敵兵ノ銳氣ヲ増スモノナレハナリ

乃ハチ射撃軍紀トハ火戰中命令ヲ確實ニ實行シ銃ノ取扱及ヒ戰鬪動作ニ關スル諸法則ヲ嚴守スルヲ謂ヒ其他尙ホ左ノコトヲ要求ス

- 一 敵火ノ下ニ在ツテ之レニ應射セサルトキト雖自若トシテ動











前ニ在ツテハ氣息切迫シ命中ヲ害スルコトヲ顧慮スルヲ要ス即チ之ヲ用ユルハ左ノ時期ニ限ル

其一 蔭蔽地ヲ出テ若シクハ射撃位地ヲ去テ他ニ之レヲ求メンカ爲メ敵ノ有効射程内ニ於テ開豁平坦ノ地ヲ通過スルトキ(躍進ヲ用ユルコト多シ)

其二 散兵突撃ノ時

其三 迅速ノ集合ヲ要スルトキ

其四 稀有ノ時機ニ在ツテ運動中ニ火線ヲ作り又ハ之レニ増員ヲナストキ

掩護ナキ側面運動ハ決シテ敵ノ有効射程内ニ於テ施行スヘカラス已ムヲ得サレハ斜行進ヲ以テ多少ノ方向ヲ轉スヘシ  
●躍進ハ火戰中射撃ノ有効距離ニ在ツテ露身シテ前進ヲ要スルトキニ

用ユルモノニシテ射撃ノ距離ヲ短縮センカ爲メ施行スルモノナリ散兵ノ突進ト混同スヘカラス而シテ此運動ハ遠距離ニ施ス能ハサルカ故ニ攻撃ニ在ツテハ敵ヲ離ル約四百米突以上ノ地ヨリ之レヲ始ムヘカラス躍進ヲナスニ二様アリ即チ他ノ梯隊ト同一線上ニ止マルカ或ハ之レヲ超ヘテ止マルカナリ是レ其地形ト時ノ情況ニ從フモノトス  
●躍進ハ已ムヲ得サル時ニ行フモノニシテ(掩護射撃ナキカ或ハ長キ距離ヲ駈歩ヲ以テ進ムトキハ氣息迫ル等ノ爲メ)好ンテナスヘキモノニアラス成シ得レハ迅速、一齊、ニ進ムヲ以テ最モ望ム所トス  
殊ニ側面若クハ瞰臨地ヨリ射撃ヲ以テ敵火ヲ制壓スルヲ得ハ間斷ナク前進運動ヲナスニ最モ便利ナリトス之レヲ要スルニ各人ハ次ノ要件ヲ服膺スヘシ

一、射撃ヲ以テ十分ニ準備シ唯タ間斷ナク前進スルヲ勉メハ好結



果ヲ得ヘキコト

二、有効ナル敵火ノ下ニ久シク停止スルトキハ夥多ノ損害ヲ被ル  
コト

三、敵前殊ニ近離ニ進ミタル後チ退却スルハ自滅ニ陥ルニ等シキ  
コト

散兵線ノ増加ハ援隊ヨリ爲ス者ニシテ延伸増加、伍間増加ノ二種アリ  
延伸増加ハ命令ノ實施並ニ指揮上ノ都合良ナレトモ他隊或ハ地形ニ  
制セラル、コト多クシテ屢用ユルヲ得ス伍間増加ハ此等ノ患ナキモ  
部隊混淆シ指揮不便ナリ然レトモ多クノ場合ニ於テ伍間増加ヲナス  
コト屢ナリ故ニ各幹部ハ伍間増加ト共ニ速ニ部隊ノ新編成ヲナシテ  
指揮命令ノ連繫ヲ明ニスルヲ要ス  
援隊ノ運動ハ火戰ノ運動ト地形トニ適合セサルヘカラス通常歩調ナ

散兵線ト援  
隊トノ距離

ク散兵線ノ運動ニ從フ然レトモ敵ノ有効射撃下ニ在ツテハ歩調ヲ取  
リ且ツ成ルヘク隊形ノ變換ヲ避クルヲ要ス

援隊ノ位置ハ地形ト戰鬪ノ顧慮ニ從フ者ニシテ一般ニ要點ノ後方危  
險ナル翼後、殊ニ掩護ナキ翼後ニシテ勉メテ火戰ニ近接スヘシト雖モ  
敵ノ有効射撃ヲ避クルヲ要ス中隊ノ散開ニ於テ最初ノ時機ハ通常散  
兵線ノ後方約百二十米ヲ通、トス、而シテ地形蔭蔽スルカ若クハ決戰  
ノ期近クニ從ヒ益此距離ハ短縮スルモノトス

援隊ノ隊形ハ現時ノ戰況、敵ノ火力、援隊ノ人員トニ由ツテ差アレトモ  
通常中隊ニ在ツテハ縱隊或ハ橫隊ヲ以テ運動ス則チ敵ニ目視セラル  
トキハ橫隊ヲ用ヒ之レニ反シ地形ニ依リ蔭蔽セラル、トキハ縱隊  
トナリ其他敵ノ火力ニ對シ適宜ニ梯隊ヲ作ルヘシ  
援隊ノ一蔭蔽地ヨリ他ノ蔭蔽地ニ轉スル時非常ニ敵火ヲ受クルノ恐



アレハ一時散開シテ進ミ再ヒ集合スルコトアリ是レ只ターツノ方便ニ過キス  
 散兵ノ集合ハ戦闘結局ノ時又追撃ノ後又退却ニ在ツテハ敵ノ追撃ヲ受ケサルニ至リ集合ス  
 集合ハ敵ニ面シテ密集部隊ノ所在ニ行ヒ又運動中ナレハ行進方向ニ行フヲ原則トス  
 併合ハ騎兵ノ襲撃ニ對シ或ル地物ノ背後ニ集團シテ防禦スルトキ又小ナル正面ヨリ數多ノ銃數ヲ用ヒントスルトキ一時之レヲ行フ又敵ノ射撃ヲ受ケサルトキ一時掩蔽物ニ由テ隊伍ヲ整頓シ團結力ヲ維持スル等ノ爲メニ行フモノトス而シテ各兵卒及ヒ各小部隊ハ其舊位ニ復スルヲ要セス唯タ速ニ密集隊ニ集合スルヲ要ス

## 其五 銃劍突撃

方今小銃愈々精巧トナレルニ由リ地形ノ助ケアルカ敵兵我火力ノ爲メニ紊亂スルカ殊異ノ好機ニ投スルカニアラサレハ銃劍突撃ノ奏功愈々稀少トナレリ

然リト雖トモ攻者ノ散兵線漸ク進ンテ敵兵ヲ距ル二百五十乃至三百米ノ所ニ達シ絶ヘス援兵來加シ攻撃點ニ對シ火力熾盛ヲ致スモ未タ敵兵ヲ驅逐シ能ハサルトキハ更ニ躍進シ更ニ其火力ノ熾盛ヲ極メタル後其ノ勢ニ乘シ速ニ銃劍突撃ニ轉スヘシ此時ニ及テハ隊伍ノ混淆之レヲ意トスルニ足ラス死傷ノ過多之レヲ顧ルノ際ニアラス其要一ニ奮勇殊死戰鬥以テ雌雄ヲ一舉ニ決スルニアリ而シテ其雌雄ハ多クハ志氣ノ盛衰ニ因リテ判ルナリ  
 銃槍攻撃ヲ爲スニ最モ適當ナル隊次ハ密集隊次即チ縱隊ナリ然レト



銃劍突擊奏功ノ要訣

モ縦隊ハ敵ノ火力既ニ衰微スルノ後チニ非サレハ之レヲ用ユルヲ得  
 ス決戦ノ突撃ニ先スル火戦中ニ於テ射撃ノ結果ヲ利センカ爲メ迅速  
 ニ銃槍ヲ以テ攻撃スルトキハ多ク散兵線ノ突進又ハ援隊ノ横隊攻撃  
 ヲ以テス然レトモ全勝ヲ決スルニハ尙ホ衆團突撃ヲ要スルコト多シ  
 然リ而シテ大部隊ニ在テ密集攻撃ノ爲メ横隊ヲ用ユルハ不可ナリト  
 ス是レ横隊ハ薄弱ニシテ潰亂シ易キカ故ナリ  
 抑々銃劍突撃ハ奏功ヲ期スヘキ要訣ハ左ノ四點ニアリ

- 一 火戦ヲ以テ先ツ敵ノ勢力ヲ挫折スルコト
- 二 迅速ニ好機ニ投スルコト
- 三 果敢斷行ヲ以テスルコト
- 四 目的點ノ遠隔セサルコト

凡ソ銃槍攻撃ハ之レヲ始ムルノ後チ躊躇シテ再ヒ火戦ニ變スルトキ

銃槍攻撃ノ隊形

ハ通常其攻撃ハ失敗スヘキヲ以テ一旦之レヲ實施スルニ當テハ戦線  
 ニ新銳ノ兵力ヲ増加シ一舉ニ猛進スルヲ要ス然リ而シテ偶然接戦ニ  
 至ルコトナキニ非スト雖トモ(局地ニ於テ不意ニ衝突シ又ハ弱者敵ヲ  
 避クル能ハスシテ接戦ニ至ル等)實例ニ據レハ準備戦ノ火力ト彼我漸  
 ク近接スルトニ因テ一方ノ兵氣既ニ萎靡シ其衝突ヲ避クルヲ以テ衆  
 團突撃ヲ爲スニ至ルコト甚タ稀ナリ故ニ攻者若シ勝利ヲ得ルノ算ヲ  
 有スルトキハ戦況ノ如何ヲ顧ミス果敢奮進自兵ニ由テ敵ヲ塵殺スル  
 ノ精神ヲ以テ之レヲ衝突スルヲ要ス

銃槍攻撃ニ於テ彼我衝突シタルトキハ敗者ハ死傷最モ多ク勝者ハ長  
 時間ヲ費スニ非ラサレハ隊次ヲ回復整頓シ能ハサルナリ

銃槍攻撃ハ縦隊横隊ヲ以テスルヲ通常トス小部隊ハ横隊ヲ以テスル  
 コトアルモ大部隊ニ於テ横隊ヲ用ユルハ稀ニ爲ス所ナリ



銃槍攻撃利アラスシテ撃退セラル、トキハ其兵隊速ニ最近ニ在ル掩蔽物ノ背後ニ退却シ此ニ集合ス其間衆多ノ散兵射撃ヲ以テ之ヲ掩護スルコト緊要ナリ蓋シ方今ノ火器ニ在ッテハ退却ハ頗ル殺傷ヲ蒙ムルコト著大ニシテ時トシテハ不幸ニモ殲滅ニ陥ルコトアルヘシ

其六 歩兵大隊戦闘ノ要領

大隊第一線ニ出テ散開隊次ニ移ル前ハ通常縦隊横隊ヲ取ルナリ凡テ大隊ハ大隊長ノ單簡ナル號令ニテ展開シ或ハ集合シ細部分ノコトハ中隊長ニ一任ス大隊長カ大隊ヲ使用スルハ大隊ヲ以テ一任務ヲ盡ス爲メ一般ノ目的ヲ示スノミ他ハ中隊長ニ委任スヘキナリ故ニ中隊長ハ其目的ニ從ヒ共同一致シテ該目的ヲ害セサル以上ハ獨斷事ニ從フ殊ニ戰鬥中ニ在ッテハ各指揮官適當ノ時機ニ於テ適當ノ命令ヲ下ス

ハ必然ノ事ナレトモ往々傳令ノ方法ナク或ハ命令ハ時機ニ遅レテ達シ或ハ誤リ傳ヘラル、コトアリ故ニ各指揮官ハ命令ヲ待ツニ拘泥スヘカラス假令ヒ命令ナクトモ適當ノ時機ニ於テ適當ノ所置ヲナスハ長官ニ對スル責任ナリ事情此クノ如シ故ニ大隊中ノ各中隊カ戰鬥中ニ分離スルモ結局ノトキニハ非常ニ離レ居リテ直ニ大隊長ノ使用ニ供スル能ハサル等ノコトアリテハ不可ナリ直チニ大隊長ノ命令ヲ聞キ使用セラル、位置ニアラサルヘカラス

大隊ヲ戰鬥ノ爲メニ展開スルハ一定ノ法ナシ即チ戰鬥線中ニ中隊ヲ逐次ニ展開スルカ或ハ最初ヨリ四中隊ヲ展開スルコトモアリ戰鬥ノ性質ニ從ヒ一般ニ區分スル法則ハ持久戰ニテハ縦長、決戰ニ在リテハ正面廣キ隊形ヲ取ルナリ然シ何レノ場合ニ在リテモ最初ニハ多クノ中隊ヲ出サス少クモ一中隊ハ豫備トシテ大隊長カ掌握スルヲ要ス



若シ孤立大隊ニ在ツテハ初メヨリ四中隊ヲ一線ニ出スコト決シテナ  
 シ先ツ初メニ一中隊ヲ用ヒ必要ニ應シ漸次展開シ最後決勝攻撃ニ至  
 ルマテ一中隊ハ必ス貯ヘサルヘカラス  
 展開ノ性質ヨリ云ヘハ初メハ全員ノ四分ノ一ヲ展開シ所用ニ應シ漸  
 次展開シテ少クモ四分一ハ豫備トシテ貯フナリ  
 戦闘正面ハ大隊ニ在ツテハ通常三百米ト定ム後方展開ノ距離ハ地形  
 ト戦況トニ由テ異ルナリ平坦開豁地ニ在ツテハ縦長ヲ深ク蔭蔽地ニ  
 在ツテハ之レヲ短縮ス平坦開豁地ニテハ敵火ノ顧慮上二百米突ヨリ  
 近ク二梯隊ヲ置カサルヲ要ス是レ砲彈或ハ遠距離ノ小銃火ニ於ケル  
 一集束被彈面ニ對シ同時ニ損害ヲ受ケサル爲メナリ然レトモ激戦ノ  
 場合殊ニ決戦前ニハ是等ヲ顧慮スルノ暇アラス二百米突以内ニモ二  
 梯隊ヲ配置スルノ必要アリ

其七 歩兵ノ歩兵ニ對スル戦闘

攻撃 歩兵ノ歩兵ニ對スル戦闘ノ勝利ハ射撃軍紀射撃指揮ノ完全ナル  
 ルモノニ歸ス故ニ指揮官ハ成ルヘク地形隊形ヲ利用シ敵ニ劇烈ナル  
 射撃ヲ加フルヲ要ス密集隊次ハ掌握ニ便ナルヲ以テ地形及ヒ敵火之  
 レヲ允ス限リハ成ルヘク久シク此隊次ヲ保存シテ進ムヘシ敵火遂ニ  
 散開ヲ要セシムルニ至レハ初メテ戦闘隊形ニ轉ス但シ最初ニハ戦闘  
 ヲ開始スルニ所要ナル兵員ノミヲ散兵線ニ備ヘ地形及ヒ情況ノ之レ  
 ヲ允ス限リ久シク射撃セスシテ敵兵ニ近接スルヲ勉ムヘシ  
 行進間諸單位ノ混淆ヲ避ケン爲メ散兵線ハ中央ニ閉縮シ以テ增加兵  
 ノ位置ヲ兩翼ニ存スル如クス但シ火急ノ場合ニ於テハ伍間増加ヲ行  
 フコトアリ



援隊及其他稠密ノ部隊ハ平坦開豁ノ地ニ在テ戦闘ノ初期ニ在ツテハ遙カニ後方ニ位置シ勢力未タ衰ヘサル敵火ニ對シテ有効射程内ニ暴露セサルヲ要ス然レトモ側面ノ掩護ヲ要スルトキハ援隊ヲシテ散兵線ニ接近セシメ且ツ後方ノ部隊ヲシテ側面ノ警戒ニ注意セシメサル可ラス戦闘ノ時機進ムニ從ヒ援隊及ヒ豫備隊ハ號令ヲ俟ツコトナク漸々第一線ニ近接シ決戦スヘキ地點ニ向テ續々新銳ノ兵力ヲ増加シ敵ヲ距ル二百米突ニ至レハ各兵卒ハ銃劍ヲ附着シテ突撃ノ時機ヲ伺フヘシ

銃劍突撃ハ通常後方ノ密集隊ノ援助ヲ受ケスシテ散兵線獨リ奮進突撃シ得ルハ甚タ稀ナリ然レトモ火線ニ在ルモノハ時機ヲ能ク知り得ル故機ニ投シ直ニ突撃スルコトアリ此時ニ於テハ後方近傍ニ位置スル密集部隊ハ神速ニ散兵線ニ踵テ進ミ其成功ヲ全フシ且ツ略取セル

地點ヲ占有スルヲ要ス

攻撃効ヲ奏セハ散兵線ハ火力ヲ以テ敵兵ヲ追撃シ其他ノ部隊ハ速ニ隊伍ヲ整ヘ以テ逆襲ニ應スルノ備ヲナスヘシ分散セル兵力ヲ以テ敢テ追躡スルカ如キハ之レヲ避ケサルヘカラス攻撃若シ効ヲ奏セサレハ殘餘ノ豫備隊ハ成ルヘク聚集シテ適宜ノ陣地ヲ占メ以テ我部隊ノ退却ヲ保護シ且ツ敵ノ追撃ヲ拒支スヘシ

凡ソ退却ハ縱令急速ニ之レヲ施行スルモ更ニ敵ニ向ツテ進ムヨリハ最モ大ナル損害ヲ被ルモノナルコトヲ感銘スヘシ

**防禦** 歩、兵、ニ、對、ス、ル、防、禦、第、一、ノ、要、訣、ハ、地、形、ヲ、利、用、シ、火、力、ヲ、逞、フ、ス、ル、ニ、ア、リ、而、シ、テ、後、方、ニ、密、集、部、隊、ヲ、配、置、シ、以、テ、側、面、ヲ、警、戒、ス、ル、コ、ト、亦、緊、要、ナ、リ

一般ニ防禦ノ隊形ハ攻戰ニ比スレハ其縱長ヲ短縮ス何トナレハ守戰



ニ在ツテハ初メヨリ運動ヲ要スルコトナク援隊等ハ地形ニ依リテ能ク掩蔽シ好機ノ到ルヲ待ツテ突然散兵線ニ増加シ得ルコト屢ナレハナリ

防禦ニアリテハ火力ヲ貯存シ敵兵ノ近接シテ有効射距離ニ至ルヲ待ツテ猛烈ニ發射ヲ行フヲ良トス若シ此機ニ先ンシ良好ノ目標現出スルトキハ部隊毎ニ一齊射撃ヲナサシムルヲ要ス

第一線ノ防禦ニ充ツル兵員ハ成ルヘク之ヲ節約シテ總豫備ヲ多カラシメ以テ此豫備隊ヲ戰況及ヒ地形ニ從ヒ瞬間ニ攻勢ニ轉スルニ便ナル地點ニ集合セシムルヲ要ス此配備ハ尤モ危險ナル敵ノ包圍ヲ防止スルニ尤モ適當ナリトス防禦兵隊愈々大ナルトキハ從ツテ又總豫備隊ノ側方間隔ヲ大ナラシムヘシ若シ間隔大ナルトキハ展開スヘキ餘地ヲ有シ攻撃ニ移轉シ敵ノ側面ヲ脅威シ我側面ヲ掩護シ得ヘケレハナ

逆襲ノ時機

戰鬪ノ終局

防禦ニ在テ主要ナル所ハ機ニ投シテ逆襲ヲ行フニアリ此逆襲ハ敵ノ攻撃中我火力ニ依テ動搖スルカ或ハ事故ノ爲メ躊躇スルトキ或ハ過度ニ其正面ヲ擴張シタルトキ其脆弱點ニ向ツテスルヲ有利トス防禦効ヲ奏セハ火力ヲ以テ敵兵ヲ追撃シ所要ナレハ決然攻撃ニ轉スヘシ防禦若シ効ヲ奏セサレハ密集隊ノ火力ノ掩護ニ依リ退テ(死守スヘキ要ナキ故)豫定ノ收容陣地ニ據ルヘシ退却ノ際敵兵ノ逼迫猛烈ナルトキハ其最モ猛烈ナル地點丈ケハ假令我兵ノ損害多キモ久シク防戦シ退却ノ兵ヲシテ安全ナラシムヘシ

其八 歩兵ノ騎兵ニ對スル防禦

一人ノ歩兵射撃ヲ準備シアルトキハ開豁ナル原野ニ於テモ一人ノ騎



兵ニ優ル者トス之レカ爲メ歩兵ハ如何ナル隊形ニテモ騎兵ヲ防禦シ得ルモノニシテ其要訣ハ沈着ニシテ射撃ノ命中ヲ大ナラシムルニアリ、隊形變換ノ如キハ火力ヲ熾シニスルノミハ目的ヲ以テ爲スヘシ、故ニ若シ縱隊ノ如キ射撃ニ不便ナル隊形ニ在ルトキハ成ルヘク速ニ横隊ニ展開シ猛烈ナル射撃ヲ爲シ得ル正面ヲ取ルヘシ抑々密集隊次ハ騎兵ニ對シ利益アルハキハ固ヨリ論ヲ俟タスト雖襲撃ヲ受クルニ方リ徒ラニ隊兵ヲ運轉シ或ハ併合ヲ行ヒ以テ密集隊ヲ作ル如キハ時間ヲ徒費シ歩兵ノ專有タル射撃ノ威力ヲ失フニ至ラン

散開隊次ハ火器ノ使用至便且ツ動作自由ナルヲ以テ殊ニ困難ナル地形ニ於テハ射撃力ヲ以テ騎兵ヲ擊退スルヲ得ヘシ乃ハチ散兵線が敵騎ノ襲撃ヲ受クルトキハ依然其位置ニ止マリ沈着シテ射撃スヘシ決シテ俄ニ併合或ハ集合スル等ノ必要ナシ唯タ地形ノ利アルトキノミ

一時併合スルコトアリ假令ハ騎兵ノ障碍トナル地物ノ後方ニ併合スル如シ若シ騎兵線薄弱ニシテ十分ノ彈雨ヲ注クニ足ラサルトキハ伏臥シテ騎兵ヲ超過セシメ援隊及ヒ豫備隊ハ急射撃ヲ以テ之レニ當ルヲ可トス

我カ散兵線カ敵ノ歩兵射撃ヲ受クルノ危害ナキヲ知ルトキハ膝姿若クハ立姿ヲ取ルヲ要ス蓋シ此姿勢ハ裝填迅速且ツ展望自在ナレハナリ若シ伏姿ニシテ前方ニ小起伏ノ存在スルニ會スル時ハ僅カニ騎兵ノ頭部ヲ見得ルニ過キスシテ射彈ハ往々騎兵ノ頭上ヲ飛行スルナリ、照尺ノ改装ハ時間ヲ徒費スルノ害アリ故ニ一定照尺ヲ專用シテ照準點ヲ變更スルヲ可トス然レトモ照準ハ隊ノ中央ニシテ馬足ニ撰定スルヲ以テ原則トス是レ騎兵が襲撃スルニ際シ方向及ヒ整頓ハ中央ニ取ルモノナレハナリ故ニ中央崩壞スルトキハ我ニ對シ襲撃スルノ基



礎ヲ消失スルニ至ルヘシ  
 停止シアルカ又ハ側行スルカ若クハ比隣部隊ヲ襲撃スル騎兵ニ對シ  
 テハ距離ニ應シ照尺ヲ裝用スルヲ至當トス亦タ梯隊襲撃ヲ受クルノ  
 場合ニハ近距離以上ニ於テ射撃ヲ開始スルヲ利アリトス而シテ一齊  
 射撃ハ成ルヘク持續スルヲ可トス殊ニ梯隊ヲ以テ襲撃スル騎兵ニ對  
 シテハ尤モ適當ナリ蓋シ各個射撃ハ射撃軍紀ヲ維持シ難シ騎兵ニ對  
 シテハ宜シク指揮官カ部隊ヲ掌握シ緩急其度ヲ得テ射撃ノ指揮ヲ適  
 當ナラシメ以テ隊伍ノ整肅ヲ維持スルコト必要ナレハナリ  
 我側面ヲ襲撃セラル、ハ火力ヲ發揚シ能ハサルヲ以テ尤モ不利ナル  
 者ナリ故ニ側面ハ尤モ警戒セサルヘカラス而シテ、側方ノ、援護アルニ  
 モ、拘ハラ、ス、正面ヲ、以テ、騎兵ニ、對スル、能ハサル、歩兵ハ、如何ニシテモ、騎  
 兵ヲ、防禦シ、能ハサルナリ、

抑モ歩兵ノ騎兵ニ對スル抵抗力ハ專ラ火力ニアリテ腕力ニアラス故  
 ニ騎兵ヲ防禦スルニハ衆多ノ小銃ヲ以テ射撃スルヲ要旨トナス方陣  
 ハ十分ニ火力ヲ用ユル能ハサルノミナラス敵若シ砲兵ヲ有セハ之レ  
 ニ對シテ著大ノ目標ヲ致スノ不利アリ然レトモ歩兵ノ騎兵ニ對シテ  
 尤モ不利ナル場合假令ハ軍隊ガ多クノ、彈藥ヲ、射費シタルトキ、衆多ノ  
 兵員ヲ失フタル、彈、開、後、隊、伍、未、タ、整、ハ、サルトキ、優勢ノ騎兵ニ由テ四面  
 ヲリ、絶、エ、ス、襲、撃、ヲ、受、ケ、ツ、敵、開、地、ヲ、退、却、ス、ル、ト、キ、等ニ於テ軍隊ハ隊  
 形ノ助ケニ籍ルノ外他ニ手段ナキ時ニ於テ此方陣ヲ用ユルモノトス  
 敵ニ對シテ前進スル歩兵ハ敵ノ騎兵ニ優勢ナル歩兵或ハ砲兵ノ掩護  
 アルトキ或ハ同時ニ各方向ヨリ數線ヲ以テ襲撃ヲ行ヒ得ル如キ優勢  
 ノ騎兵ニ對スルトキノ外ハ縱令ヒ開豁ナル原野ニ於テモ毫モ之レニ  
 顧慮スルコトナク前進ヲ續行スルヲ得ヘシ



歐洲諸國ノ如ク騎兵ト騎砲兵ト連合スル部隊ニ在ツテハ騎兵ハ戰闘ノ支障ヲ得勇猛ノ動作ヲ爲シ得ヘシ乃ハチ此場合ニ於テハ歩兵ハ巧ミニ地形ヲ利用シ砲兵ヲシテ至良ノ目標ヲ失ハシメ且ツ地物ノ掩蔽ニ依ツテ力メテ砲兵ニ接近スルヲ勉ムルト同時ニ先ツ襲來スル處ノ騎兵ヲ擊破シ然ル後小銃最良ノ射距離ニ於テ砲兵ヲ射擊スルヲ計ルヘシ而シテ其隊形ハ散開隊次ヲ以テ最良トス若シ地形平坦開豁ナル時ハ力メテ至小ノ姿勢ヲ取ルヲ良トス

以上諸種ノ關係ヲ說述シタル結果ニ由テ見レハ凡ソ歩兵ガ騎兵ニ對シ一步ヲ讓リ若干ノ成果ヲ收得セラル、ハ左ノ場合ニアリトス

- 一、歩兵ガ騎兵ニ對センガ爲メ自己ノ運動ヲ中止セサルヲ得サルトキ
- 二、有効ナル射擊ヲ爲シ能ハスシテ却ツテ敵ノ歩砲兵ヨリ損害ヲ

受クヘキ隊形例ヘハ方陣ヲ作ラサルヘカラサル時等ノ如シ

第九 歩兵ノ砲兵ニ對スル戰闘

歩兵ガ其射程外ニ於テ砲兵ニ對スルトキハ砲火ヲ蒙ルモ之レニ應答シ能ハス徒ラニ彈藥ヲ費消スルニ過キサルヲ以テ尤モ不利トス此時ニ當リテハ掩蔽物ヲ利用シテ火力ヲ避ケ或ハ位地ノ轉換及ヒ縱深ヲ減少シテ砲火ノ効力ヲ減殺スルコトヲ勉メサルヘカラス千米突ハ距離ニ在ツテハ歩砲二者ノ効力相同シク之レヨリ以下ノ距離ニ至リテハ歩兵ハ大ニ砲兵ニ優ルモノトス又千米突以上ニアリテハ歩火ノ効力少ナキモ砲兵ヲ擾亂シ或ハ運動ヲ妨害スルタメ有利ノ形勢ニ在ツテハ一時之レニ向ツテ一齊射擊ヲナスコトアリ

砲兵ノ運動中或ハ駕馬ヲ脱駕スルトキ或ハ砲兵ノ事故ノ爲メ射擊ヲ



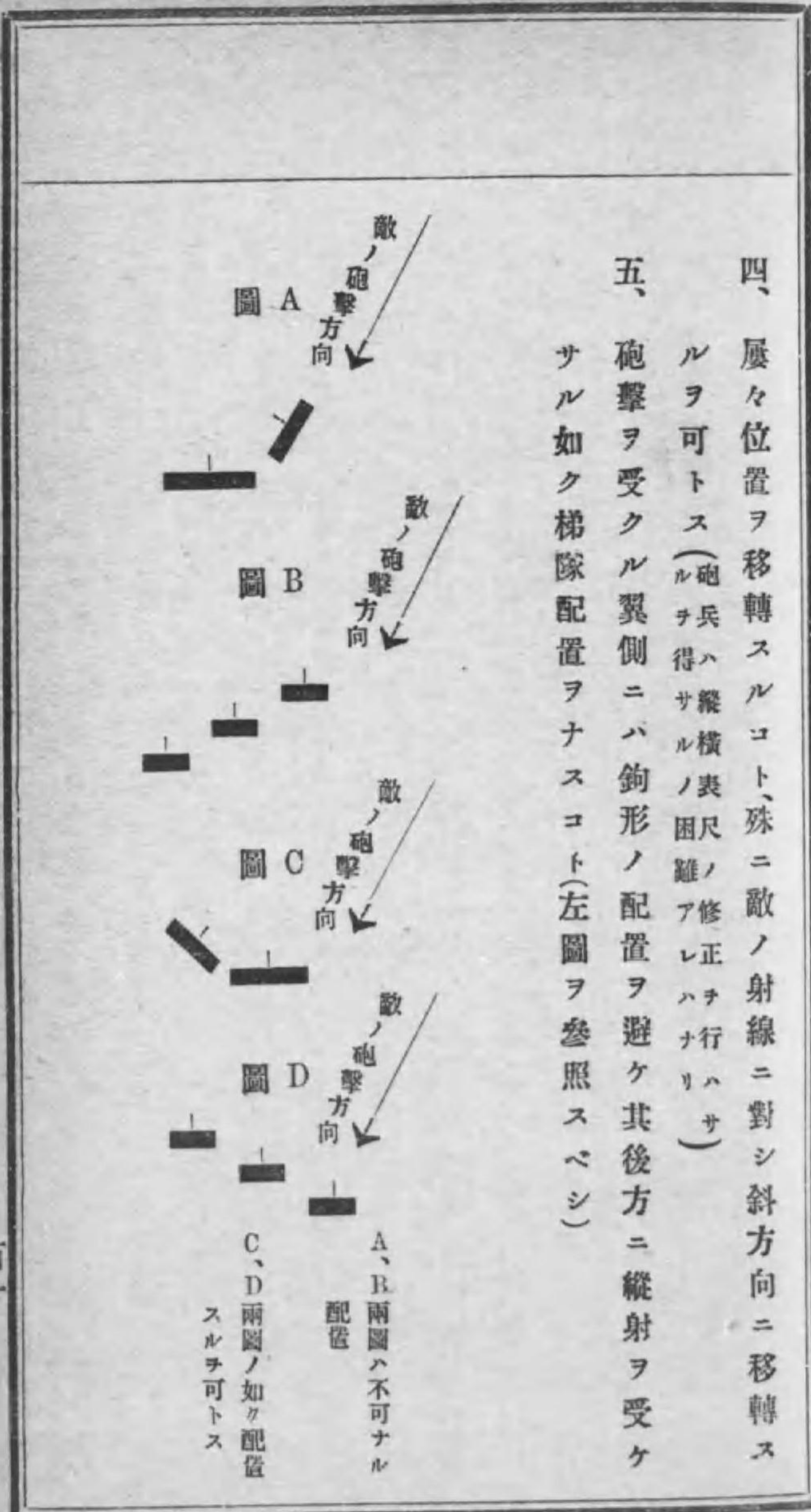
ナシ能ハサル形勢ニアルトキ等ハ歩兵ノ之レニ乘スルニ尤モ有利ナル時機トス

砲兵ヲ攻撃スルノ主要ハ全ク豫行ノ射撃ニアリ歩兵ノ火力能ク敵ノ砲火ヲ壓倒シ先ツ目視シ得ヘキ駕馬ヲ塵殺シ次キニ砲卒ヲ射撃シ其進退ヲ阻害シ得ヘキトキニアラサレハ攻撃ノ奏功ヲ期スヘカラス而シテ砲兵火ニ對シ死傷ヲ減スルニハ左ノ諸件ニ注意スルヲ要ス

一、大ナル縦隊ハ之レヲ分割シ横隊若クハ散兵線ノ如キ淺薄ナル隊形ヲ撰用スルコト

近時砲兵火ニ對スル損害ノ尤モ少キ隊形ハ各國種々試驗中ニシテ其論說モ從ツテ種々アリ

二、膝姿或ハ伏姿ヲ取り目標高ヲ減スルコト  
三、遮蔽物ヲ利用スルコト





砲煩奪取後  
ノ處置

要スルニ、砲兵ヲ攻撃セントセハ、成ルヘク速ニ近接シテ有効ノ小銃火  
ヲナスコトヲ勉メ正面攻撃、側面攻撃併セ行ヒ其近傍ニアル砲兵ノ護  
衛兵ヲ擊破シ猛烈一舉ニ砲煩ヲ奪取スルコトヲ勉ムヘシ  
砲煩ヲ奪取スルトキハ神速ニ其前方ニ集合スルヲ要ス是レ敵兵復ヒ  
其砲煩ヲ奪取センカ爲メニ試ムル所ノ反撃ニ應センカ爲メナリ而シ  
テ一部ノ兵ヲ以テ砲煩及ヒ負傷セサル馬匹ノ奪取ヲ確實ニシ或ハ其  
砲ヲ毀損セシム(閉鎖器ヲ除去シ照準器及ヒ車輪ヲ破壊シ火門ヲ閉塞  
スル等ノ如シ)

### ● 騎兵戦闘要領

其一 騎兵戦闘ノ性質

騎兵ノ戰鬥  
効力ハ火器  
ノ進歩ノ爲  
メ大ニ減殺  
セラレタル  
所以ヲ説ク

騎兵ノ戰鬥ハ唯々白兵攻撃ノ一法アルノミ馬上ノ火戰ハ効力微弱ニ  
シテ徒步ノ火戰ハ變則タリ  
密集隊次ハ騎兵主要ノ戰鬥隊形ナリト雖トモ猛烈ナル襲撃ハ竟ニ變  
シテ接戰亂闘トナリ其進退恰モ怒濤ノ如ク各騎ハ全勝全敗ノ兩極間  
ニ漂フ夫レ然リ騎兵ハ唯々一舉ニ運命ヲ決スル戰鬥兵ニシテ此戰法  
ノ實施ニ當ツテハ密集隊形ヲ要求ス然ルニ方今ノ新銳連發銃ニ對シ  
テ果シテ此密集隊形ノ運動ヲ許スヤ否ヤ千八百七十年普佛ノ戰ニ於  
テ使用セル小銃ハ今日ノ如ク鋭ナラス殊ニ獨逸兵ノ使用セルモノハ  
佛兵ノ使用セルモノニ降ルコト數等ナリシニモ拘ハラス騎兵ノ大襲  
撃ニシテ其効ヲ奏セシハ甚タ僅少ニシテ騎兵ハ歩兵火ニ對シテ損害  
ヲ蒙ムルコト莫大ナリシ況ンヤ今日ノ連發銃ニ於テオヤ騎兵ハ殆ン  
ト襲撃効ヲ奏セサルヘシ故ニ騎兵ガ固有ノ白兵戰ヲ爲スハ歩兵火ノ



援助ナキ騎兵ニ對スルトキカ、或ハ歩兵ノ彈藥ヲ消費シタルトキ等僅少ノ場合ニ限リ其戰鬥性能ハ今日ニ於テハ大ニ減少シタルモノト云フヘク往昔ノ戰鬥騎兵ノ如ク使用スルヨリハ寧ロ搜索警戒ヲ主任トセシムルノ己ムヲ得サルニ至ルヘシ

左、ニ、騎、兵、戰、闘、殊、ニ、騎、兵、指、揮、官、並、ニ、兵、卒、ノ、能、力、ニ、關、ス、ル、若、干、ノ、要、素、ヲ、述、ヘ、ン、ト、ス、

抑々騎兵戰鬥ニ於テ如何ナル隊形ヲ用ユヘキヤハ第一ニ考ヘサルハカラス、此隊形撰擇ニ就テハ如何ナルコトヲ注意スレハ宜シキヤト云フニ先ツ第一ニハ兵器ノ効用ヲ最大限ニ發揚セシムルコトヲ主眼トス之レカ爲メニハ煩雜ノ運動ニテ時、間、ヲ、費、ス、如、キ、ハ、最、モ、忌ム所ニシテ、單簡ノ運動ニテ直ニ所要ノ隊形ヲ整ヘ、最捷路ヲ取リ、其騎兵ノ騎、兵、タル固有ノ最大速力ヲ以テ決勝點ニ向ツテ進出スルコトガ緊要ナリ如何程隊形カ完全ナリトモ時間ヲ費シ時機ヲ失

シテハ騎兵ノ効力ハ更ニナキモノナリ故ニ迅速ニ進出シ兵器ノ最大威力ヲ發揚シ得サヘスレハ如何ナル隊形ニテモ可ナリ場合ニ由テ隊形變換ヲナシ居ル時ハ時機ヲ失スル等ノ患アルトキハ少々隊形ハ不完全ニテモ所謂兵ハ拙速ヲ貴フノ謬通リ其儘ニ現在ノ隊形ノ儘ニテ攻撃スルコトアルヘシ

攻、撃、ニ、於、テ、有、形、上、ノ、効、力、ハ、敵、ヲ、不、意、ニ、攻、撃、シ、彼、レ、ガ、無、形、ノ、精、神、上、ニ、於、テ、不、意、ヲ、襲、ハ、レ、周、章、狼、狽、シ、タ、ル、等、ノ、感、動、ニ、由、テ、益、大、ナ、リ、夫、レ、敵、ガ、沈、着、シ、ア、レ、ハ、適、當、ノ、處、置、ヲ、以、テ、我、ニ、對、シ、假、令、ヒ、敗、ヲ、取、ル、モ、其、損、害、ヲ、減、シ、得、ヘ、シ、ト、雖、モ、若、シ、狼、狽、其、度、ヲ、失、シ、タ、ル、ト、キ、ハ、爲、シ、得、ヘ、キ、處、置、モ、速、ニ、爲、シ、能、ハ、ス、減、シ、得、ヘ、キ、損、害、モ、減、シ、能、ハ、ス、非、常、ノ、失、敗、ニ、陷、ル、ナ、リ

奇襲ヲ行ハン爲メニ時ノ狀況ヲ確知シテ其機ヲ察シ巧ニ地形ヲ利用シテ一地ヲ占ムルコトハ缺クヘカラサル緊要ノ事トスレトモ而カモ騎兵攻撃ノ好機ハ瞬間ニシテ經過シ又其衝突ノ際ハ勇氣ノ如何



ニ由テ其勝敗ヲ左右スル者ナレハ決斷ヲ迅速ニシテ好機ヲ逸スル  
コトナク之レニ投シ勇敢ニ動作スルコト肝要ナリ  
戰、闘、ニ、於、テ、秩、序、ト、密、集、ヲ、維、持、ス、ル、ハ、指、揮、操、握、集、團、力、ヲ、完、全、ナ、ラ、シ、  
ム、ル、所、以、ニ、シ、テ、迅、速、ハ、動、作、ハ、好、機、ヲ、逸、セ、サ、ル、爲、メ、必、須、ノ、者、タ、リ、是、  
等、ハ、騎、兵、ノ、攻、撃、ニ、在、ッ、テ、感、銘、ス、ヘ、キ、モ、ノ、ト、ス、  
騎、兵、ニ、於、テ、馬、匹、ハ、一、ツ、ノ、兵、器、ナ、リ、馬、匹、ノ、良、否、ニ、由、テ、運、動、ノ、迅、速、秩、  
序、ノ、整、正、集、團、ノ、確、固、動、作、ノ、確、實、ヲ、左、右、ス、ル、ヤ、明、ナ、リ、  
總、テ、隊、長、ノ、動、作、ハ、部、下、ニ、對、シ、模、範、ト、ナ、リ、部、下、ノ、志、氣、ヲ、左、右、シ、有、形、  
無、形、ヲ、問、ハ、ス、至、大、ノ、影、響、ヲ、及、ホ、ス、モ、ノ、ナ、レ、ハ、隊、長、ハ、勇、敢、ニ、シ、テ、經、  
驗、ニ、富、ミ、威、信、ヲ、以、テ、軍、隊、ニ、對、シ、軍、隊、始、メ、テ、此、隊、長、ニ、信、服、シ、遲、疑、セ、  
ス、隊、長、ニ、隨、從、シ、水、火、ヲ、恐、レ、ス、突、進、ス、ル、モ、ノ、ナ、リ、  
騎、兵、ノ、戰、闘、ハ、白、兵、接、戰、ニ、シ、テ、其、經、過、迅、速、一、舉、ニ、唯、雄、ヲ、決、シ、又、此、唯、  
雄、ヲ、決、ス、ル、一、瞬、間、ノ、衝、突、好、機、ハ、一、瞬、ノ、間、ニ、往、來、ス、即、チ、迅、速、好、機、ヲ、  
握、ル、ニ、ハ、敏、捷、果、決、ヲ、要、シ、萬、難、ヲ、排、シ、テ、一、舉、ノ、勝、敗、ヲ、爭、フ、ニ、ハ、不、機、

ナルヲ要シ、好機ヲ看破スルニハ機、眼、ヲ、要、シ、忽、卒、一、瞬、ノ、間、ニ、確、實、迅、  
速、ニ、指、揮、統、御、ヲ、ナ、ス、ニ、ハ、單、簡、明、瞭、ナル、命、令、ヲ、要、シ、輕、急、ニ、流、レ、ス、正、  
當、ニ、好、時、機、ヲ、持、ッ、ハ、一、ツ、ニ、沈、着、ニ、ア、リ、彼、我、衝、突、各、自、ノ、志、氣、ニ、訴、ヘ、  
テ、勝、敗、ヲ、爭、フ、ハ、一、ツ、ニ、勇、猛、剛、膽、ナル、ヲ、要、ス、  
騎、兵、ノ、攻、撃、ハ、平、坦、連、綿、地、ナ、レ、ハ、最、モ、良、ナル、ハ、敢、テ、論、ナ、キ、ナ、レ、ト、モ、  
若、シ、凹、凸、起、伏、斷、絶、地、等、ナル、時、ハ、須、ラ、ク、充、分、ニ、地、形、ノ、搜、索、ヲ、必、要、ト、  
ス、馬、匹、ハ、徒、歩、人、ト、異、リ、少、シ、ノ、凸、起、凹、陷、物、等、ニ、遭、遇、ス、ル、モ、忽、チ、其、運、  
動、ヲ、ナ、ス、能、ハ、サ、ル、ナ、リ、即、チ、攻、撃、前、是、等、ノ、搜、索、ハ、實、ニ、必、要、ニ、シ、テ、若、  
シ、知、ラ、ス、シ、テ、攻、撃、ヲ、始、メ、不、意、ニ、障、碍、ニ、遭、遇、ス、ル、ト、キ、ハ、忽、チ、潰、亂、不、  
幸、ニ、陷、ル、ヘ、シ、故、ニ、戰、場、ヘ、到、着、ス、レ、ハ、直、チ、ニ、攻、撃、ヲ、行、フ、ヘ、キ、方、向、ニ、  
於、テ、ハ、地、形、搜、索、ヲ、爲、シ、置、カ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、  
此、地、形、搜、索、不、充、分、ナル、爲、メ、大、損、害、ヲ、蒙、リ、タル、例、ハ、往、々、ア、ル、コ、ト、ニ、  
テ、今、一、例、ヲ、舉、グ、レ、ハ、千、八、百、六、十、六、年、サ、ド、ワ、ー、ノ、戰、ニ、於、テ、普、國、騎、兵、  
ハ、奧、國、騎、兵、ニ、向、ッ、テ、襲、撃、セ、シ、カ、其、襲、撃、ヲ、行、ヒ、シ、地、ハ、我、方、ヨ、リ、敵、方、



地形搜兵

ニ緩傾斜チナシ一面麥畑ナルヲ以テ此緩傾斜ノ中腹ニ一ツノ凹道アリシチ認知スル能ハス襲撃シテ此凹道マテ至リ前進部隊ハ悉ク凹道ニ陥リ後援隊ハ隊伍ヲ棄セリ此間ニ等シク塙國兵ハ緩彈ヲ以テ亂射シ普國騎兵ハ進退谷マリ大損害ヲ受ケテ辛フシテ退却セリ地形搜兵ノ兵力ハ部隊ノ大小ニ依リ將校下士或ハ上等兵ヲ長トシ通常兵卒二名ヲ附ス此搜兵ハ攻撃ヲ行フトキニ至レハ正面ヲ避ケテ本隊ニ合スルモハトス

側面ノ警戒

騎兵ノ最モ恐ル可キハ不意ノ敵襲ヲ受ルニアリ騎兵ガ不意ヲ撃タレタルトキハ更ニ戦闘力ハナキモノナリ故ニ此危険ヲ豫防スルニハ唯々戦闘斥候ヲ以テスルノミナチス必要且ツ危険ヲ感スルトキハ一部隊ヲ派遣シ警戒セシムルヲ可トスルナリ

戦闘斥候

戦闘斥候ノ兵力ハ部隊ノ大小ニヨリ將校下士或ハ上等兵一名兵卒若干名ヨリ成ルモノニシテ騎兵隊ガ他隊ト直接ニ連絡シアラザルトキ此斥候ヲ以テ前方及ヒ側方ヲ警戒シ且ツ敵ノ動靜ヲ報告セシ

戦闘前下級指揮官ハ隊長ノ意圖ヲ知ラズ

ムルハ極メテ必要事タリ而シテ此斥候ハ本隊襲撃ヲ行フモ向ホ連續監視ニ任スルモノトス  
 騎兵ノ戦闘ハ一瞬一敗瞬間ニ決シ經過速ニシテ彼我衝突ノ後ハ頗ル紛擾ヲ極ムルモノナリ故ニ下級指揮官ハ隊長ヨリ命令ヲ受ケ得ヘキモノニアラス往々獨斷事ニ從ハサル可ラス故ニ戦闘ノ初メニ於テ下級指揮官ハ能ク隊長ノ意圖ヲ知リアレハ假令ヒ隊長ノ命令ヲ受ケ得サル時指揮官ガ隊長ノ意圖ヲ知リアレハ假令ヒ隊長ノ命令ヲ受ケ得サル時ニ於テモ情況ヲ判斷シ適當ニ處斷スヘキナリ假令ハ隊長ガ攻撃ノ目的ハ一時歩兵ヲ救援スル爲メトカ或ハ敵ヲ急追スル爲メトカ或ハ攻撃ノ後ハ何レノ方ニ方向變換スル積リトカ或ハ失敗ノ節ハ何レニ退却スル積リトカ等ヲ下級指揮官ニ示シ置カハ命令ヲ與フル暇ナキトキニ於テモ向ホ能ク下級指揮官ハ自己動作ノ方針ヲ決シ得ヘシ

下級指揮官

又隊長ハ繁多ナル情況任務ノ爲メニ副隨ヲ使役シツ、アル故交通



ハ隊長ト聯  
絡ヲ保持ス  
ルヲ要ス

下級指揮官  
獨斷專行ノ  
範圍

聯絡等ノ事マテハ往々注意ヲ怠ルコトアリ故ニ是ハ下級幹部ヨリ  
常ニ交通ヲ保ツハ重要ノ義務トスルノミナラス隊長ガ或ル點ニ一  
部隊ヲ差遣シタル後ハ其派遣セラレタル部隊ハ情況ニ應ジ如何ナ  
ル運動方向ヲ取ルヤモ知レズ故ニ此派遣部隊ハ常ニ已レノ所在ヲ  
隊長ニ報告スルニ非ラサレハ隊長ハ迷ニ何レニ此部隊ガ位置スル  
カヲ知ル由ナキニ至ルヘシ故ニ下級幹部ハ常ニ隊長ト交通ヲ保持  
シ、ア、ル、コ、ト、ニ、注、意、セ、サ、ル、ハ、カ、ラ、ス、  
部隊大ナルニ從ツテ其動作區域ノ擴張スルハ自然ノ勢ヒナリ動作  
區域ガ廣クナレハ各所ニ於ケル情況モ亦種々様々ニシテ此ノ諸種  
ノ情況ニ於ケル各部隊ニ時機ヲ失セス一々命令ヲ送ツテ動作セシ  
ムルコトハ到底爲シ能ハス從ツテ各下級指揮官ヲシテ隊長ノ意圖  
ヲ奉シ一般ノ目的ニ合スル如ク動作セシムル獨斷專行ノ範圍モ増  
大セサルヲ得ス故ニ此場合ニ於テ騎兵隊長カ細事ヲ監督セントス  
ルハ望ムヘカラサルノ誤リニシテ適當ニ任務ヲ果スニハ唯々諸部

騎兵ニ要ス  
ル天性

隊ヲ同シ目的ニ向ツテ協同一致セシムルノ一法アルノミ假令ハ敵  
ヲ包圍襲撃セントスルニ當リ部下ヲシテ悉ク同一ノ隊形、同一ノ步  
度等ヲ取ラシメ同一手段ヲ以テセンコトハ毫モ價値ナキモノニシ  
テ各部隊ノ各運動方向ニ從ヒ或ハ地形或ハ敵狀ノ爲メ甲ハ横隊ヲ  
以テ進ミ乙ハ縱隊ヲ以テ進ミ丙ハ早馳、丁ハ並馳ヲ取ル如ク準備運  
動中ハ各異ナラン然シ愈々敵ニ衝突スル場合ニ於テ各部隊同シ目  
的即チ敵ヲ包圍スルト云フ主意ニテ一齊ニ横隊ノ連續正面ヲ以テ  
襲撃ニ移レハ是ニテ目的ハ達スルナリ  
然レトモ獨斷專行ニモ限リアルモノニシテ假令ヘハ上官カ幾許ノ  
距離マテ追撃セント計畫シアルニモ拘ハラス其意圖外ニ出テ勝ニ  
乘シテ追撃スル等荷モ上官ノ意圖外ニ出ツルヲ許サス且ツ何等ノ  
場合ニ在ツテモ軍隊ノ秩序ト密集ヲ維持スルコトハ前ニモ述ヘタ  
ル如ク騎兵ノ集團力ヲ維持スル必要上忘ルヘカラサルコト、ス  
騎兵ノ戰鬪ハ歩兵ノ如ク豫メ準備戰ヲナシテ突撃ニ移ル如キモノ



トハ異リ唯タ一舉ニ猛進衝突シテ一瞬ニ勝敗ヲ決スルノ戦法アル  
 ノミナレハ其術突ニ於ケル唯雄ハ志氣ノ振否、勇氣ノ多寡如何ニア  
 ルノミ故ニ此一大勝負ヲナスノ騎兵タル者ハ勞苦モ障礙モ敵火モ  
 敵兵ノ多寡モ敢テ眼中ニ置カス深ク敵ト勝負ヲ争ヒ死ハ鴻毛ヨリ  
 モ輕ク名譽ハ山ヨリ重ク斃ル、カ或ハ生キテ勝利ノ榮ヲ貢フカ名  
 譽ト勇氣ノ下ニ欣喜雀躍シテ襲撃ニ從事スルノ精神ナカルヘカラ  
 ス襲撃ノ如キ機先ヲ争フモノニ在ッテハ遠巡躊躇スルハ勝ッヘキ  
 モノモ貢ケトナルナリ之レニ反シ果斷勇進ノ利ハ爾他ノ不利ヲ償  
 ヒ往々形勢チ一變シテ勝利ヲ占ムルモノナリ  
 騎兵ハ運動ノ範圍廣ク從ッテ騎卒ト雖モ搜索勤務ノ如キハ屢々獨  
 立シテ任務ニ服スルコトアリ此任務履行中ハ或ハ情報ヲ得ン爲メ  
 敵中ニ深入スルコトモアルヘク或ハ敵ニ包圍セラレ或ハ退路ヲ絶  
 タレ或ハ路ニ迷ヒ種々ノ危険ト困難ニ遭遇スルモノナリ此場合ニ  
 於テハ戰鬪ヲ以テ危急ヲ脱スルコトモアルヘク或ハ詭計ヲ以テ活

騎兵ハ自己  
 ノ身體ヨリ  
 モ厚ク馬匹  
 チ愛撫セサ  
 ルヘカラス

路ヲ求ムルコトモアルヘク其能ク種々ノ方便ヲ以テ任務ヲ果ス爲  
 メニ尤モ緊要ナルハ勇猛、果斷ナルニアリ然シ最レノミニテハ未ダ  
 充分ナラス尙ホ機ニ應シ事ヲ慮スルニ敏ニシテ耐忍力ヲ以テ熱心  
 ニ遂行ヲ勉メ前後過去將來ヲ能ク考ヘ計策ヲ凝ラシ危急ノ際ニ於  
 テモ能ク沈着ニシテ狼狽スルコトナキ性質ヲ具備シ其受ケタル命  
 令ト其時ニ遭遇スル形況トニ應シ獨斷至當ニ處置シ得ルノ能力ヲ  
 有セサルヘカラス  
 騎兵ノ活動力ハ馬匹ナリ騎兵ノ戰鬪ニ於テハ白兵ヨリ寧ロ馬蹄ヲ  
 以テ敵ヲ蹂躪シ馬足ノ連力ヲ以テ衝突スルヲ唯一ノ利器トス故ニ  
 騎兵卒ハ其馬匹ヲ失フトキハ最早戰鬪力ナキモノト云フモ可ナル  
 ヘタ實ニ馬匹ヲ愛撫スルハ自己ノ身體ヨリモ大切ナリ此馬匹アツ  
 テ而シテ後携帶スル武器ヲ使用シ之レヲ特ミ危急ノ場合ヲ凌グノ  
 伎倆ナカルヘカス



其二 乘馬戰

襲撃ノ要訣

乘馬戰ニ於テハ攻勢ト守勢トニ論ナク常ニ白兵ヲ以テスル襲撃ノ一法アルノミ而シテ騎兵ノ襲撃ハ方今新銳ノ火器ニ對シテ其効力ヲ削減セラレタルモノト雖トモ非常ノ場合ニ於テハ成効ト不成功トヲ論セス犠牲性トナツテ襲撃ヲ實施セサルヘカラスアルコトアリ故ニ今日全ク襲撃ヲ廢シ専ラ搜索警戒ノミニ服セシムル能ハス且ツ其搜索警戒勤務中敵騎ノミニ對シテハ此襲撃甚タ緊要ナルコトナルヲ以テ爰ニ襲撃ノ大要ヲ述フルハ敢テ無益ニアラサルヘシ

襲撃ノ要訣トシテ常ニ服膺スヘキ件ハ概ネ左ノ如クナルヘシ

- 一 兵隊ノ精神ト指揮官ノ精神ハ確實ニシテ兵隊能ク指揮官ニ信服シ大敵ヲ恐レズ指揮官ハ時機ト地形ヲ洞見スルノ才ヲ備ヘ一舉果決ニ事ヲ處シ突貫ニ當リ勇猛ニ進襲スルヲ要ス

- 二 敵ノ騎兵ニ對シテハ必ス常ニ彼ニ先シテ襲撃ヲ決行スルヲ要ス
- 三 團結堅固ニシテ衝力猛烈ナレハ縱令ヒ優勢ノ敵騎ニ對スルモ恐ル、ニ足ラサルコト
- 四 不意ニ出ツルコト
- 五 好機ニ投スルコト例ヘハ行軍中ニアル歩兵、展開前若クハ展開シツ、アル騎兵、射撃ノ準備ナキ砲兵等彼が未タ戰備ヲ取リアラサル時機ニ乘スル如シ
- 六 側面ノ如キ薄弱部ニ襲撃スルコト
- 七 前面及ヒ側面ニ搜兵ヲ出シ常ニ警戒スルコト
- 八 展開ハ好機ヲ得サルヘカラス早キニ過レハ敵ニ意圖ヲ知ラレ遲キニ過レハ機ヲ失ス



九

後方ニ豫備隊ヲ備ヘ攻撃ヲ續行スルコト但シ遂次兵力ノ増加ハ全ク騎兵戰ノ性質ニ悖レリ故ニ騎兵隊長ハ勝利ヲ得ル爲メ必要ト認ムル兵力ハ最初ヨリ使用スヘシ

一中隊ヨリ少キ小部隊ハ其全力ヲ一時ニ使用シ數中隊ヨリ成ル騎兵部隊ハ戰闘中ノレヲ二戰列ニ區分シ更ニ大ナル騎兵大部隊ニ在ツテハ必要ナレハ之レヲ三戰列或ハ四戰列ニ區分シ此第三戰列ハ戰闘初期ノ間豫期シ難キ不意ノ事變ニ應スル豫備ニ供シ而シテ既ニ第二戰列ノ全員ヲ使用スルニ至レハ第三戰列之レニ代ハリ其任務ヲ擔任セシム

第二戰列ノ任務ハ概ネ左ノ如シ

- (一) 側面攻撃ヲ施シ以テ第一戰列ノ正面攻撃ヲ援助ス
- (二) 敵ノ包圍運動ヲ抗拒シ以テ第一戰列ノ側面ヲ庇護ス
- (三) 第一戰列襲撃ヲ誤リ退却スルトキ之レヲ收容シ其集合ヲ

第二戰列ノ任務

庇護ス

(四) 第一戰列ノ正面幅十分ナラサルカ如キ特別ノ場合ニ在ツテハ第二戰列ノ一部ヲ以テ其面ヲ擴張ス

十

接戰格闘スルニ當ツテハ騎卒交互ノ協力白兵ノ用法及ヒ馬術ノ功拙如何ハ其勝敗ノ運命ヲ左右ス

襲撃ノ種類ヲ大別シ之レヲ概論スルコト左ノ如シ

襲撃ノ種類  
密集襲撃

密集襲撃トハ密集隊次ヲ以テ敵ヲ襲撃スルヲ云フ此襲撃ハ多ク用ユル所ノ者ニシテ其要ハ專ラ衝突力ノ大ナルニアリ而シテ敵ノ騎兵又ハ歩兵ノ密集部隊ヲ潰亂蹂躪セントスルトキ常ニ之レヲ用ユ殊ニ騎戰ニ於テハ其兵員警ヒ寡少ナルモ密集隊次ヲ取レハ散開隊次ニ於ケル優勢ノ敵ニ對シテ尙ホ且ツ利アリトス  
密集襲撃ニ最モ適切ナルハ、横隊ナリ又時トシテハ縦隊ヲ用ユト雖ト



モ是レ脱格ナリ縦隊ヲ以テスル襲撃ハ殆ント綿亘ノ地ニ非ラサレハ  
施行スル能ハス何トナレハ其後方ニアル線列ノモノハ其超越スヘキ  
小障碍物ヲ見ルコト能ハスシテ列伍分裂スルニ至レハナリ  
今縦隊ノ襲撃ヲナス一般ノ場合ヲ論スヘシ然レトモ是レ又決シテ墨  
守スヘキモノニアラスシテ其運用ノ妙ハ全ク司令官ノ方寸ニ存ス  
縦隊ノ襲撃ハ概ネ左ノ場合ニ於テス

- 一 敵ノ一點ニ向ツテ猛烈ニ之ヲ蹂躪セントスルトキ
- 二 攻撃點ノ正面狭小ニシテ横隊ヲ以テ突撃スル能ハサルトキ
- 三 數回ニ一點ヲ攻撃セントスルトキ
- 四 横隊ニ展開スル餘裕ヲ得サルトキ
- 五 人馬大ニ疲勞セルトキ

元來縦隊隊形ハ兵力ヲ集結スルノ隊形ナリ然ラハ歩兵ノ如ク之レヲ

縦隊ヲ以テ  
襲撃スル場  
合

歩兵於テハ  
縦隊ヲ以テ  
襲撃スル場  
合ニ於テハ  
利ナリ然レ  
モ然

攻撃隊形トシテ益アル隊形ナラサルヘカラス  
然ルニ之レ無キハ何ソヤ大ニ研究スヘキ一問題ナリ故ニ細カニ之レ  
ヲ論述セン

夫レ騎兵ノ戦闘ハ之レヲ二時期ニ分ツコトヲ得即チ前進ノ威力及ヒ  
白兵ノ使用是レナリ白兵使用ニ就テハ多クノ言ヲ費サ、ルヘシ是レ  
縦隊固有ノ性質上衝突ノ一暖時ニ於テ全隊同時ニ白兵ヲ使用スル能  
ハサレハナリ前進ノ威力ニ至テハ後方ノ部隊先方ノ部隊ヲ壓スルヲ  
以テ前方部隊ノ退却ヲ制シ且ツ塵埃ノ爲メニ後方部隊ノ情况ヲ知ラ  
スシテ無我無中ニ突進スル故ニ大ニ有利ナルカ如シ然レトモ騎兵ノ  
最、モ、恐、ル、者、ハ、側、面、若、ク、ハ、背、面、ヨ、リ、掩、撃、ヲ、受、ク、ル、ニ、ア、リ、此、一、殺、那、速  
ニ適當ナル運動ヲ以テ之レニ當ルヲ得ルニ非ラサレハ潰滅ニ至ルヤ  
必セリ故ニ前進ノ威力タル要訣ハ後方部隊ノ前方部隊ヲ壓スルノ力



ニ、ア、ラ、ス、シ、テ、何、時、ニ、テ、モ、司、令、官、ハ、一、舉、手、一、號、令、ニ、依、リ、進、退、自、在、ナ、ル、  
 ニ、ア、リ、ト、云、フ、ヘ、シ、縱、隊、果、シ、テ、此、要、求、ヲ、滿、足、ス、ル、ヤ、否、ヤ、武、器、衝、磨、ノ、音、  
 馬、蹄、馳、驅、ノ、響、ハ、殊、ニ、縱、隊、ニ、烈、シ、ク、號、令、ハ、勿、論、喇、叭、ト、雖、ト、モ、之、レ、ヲ、傳、  
 フ、ル、能、ハ、サ、ル、ニ、至、ル、塵、埃、ハ、殊、ニ、濃、厚、ニ、シ、テ、咫、尺、ヲ、辨、ス、ル、能、ハ、ス、是、レ、  
 縱、隊、ヲ、シ、テ、司、令、官、ノ、號、令、ヲ、辨、知、ス、ル、能、ハ、サ、ラ、シ、ム、此、時、ニ、當、リ、縱、隊、ノ、  
 一、側、面、ヨ、リ、掩、擊、ア、ル、ヲ、知、リ、之、レ、ニ、應、ス、ル、ノ、處、置、ヲ、取、ラ、ン、ト、ス、ル、豈、得、  
 可、ケ、ン、ヤ、橫、隊、ニ、於、テ、ハ、此、ノ、情、況、全、ク、相、反、ス、此、他、縱、隊、ハ、砲、彈、ヲ、受、ク、ル、  
 ニ、當、リ、テ、ハ、非、常、ナ、ル、擾、亂、ヲ、起、ス、者、ナ、リ、故、ニ、側、面、危、殆、ナ、ラ、サ、ル、カ、或、ハ、  
 萬、事、ヲ、棄、テ、一、點、ニ、猛、突、ヲ、爲、ス、ヲ、要、ス、ル、場、合、假、令、ハ、攻、擊、ノ、一、點、ヲ、破、碎、  
 ス、ル、時、等、ノ、外、ハ、之、レ、ヲ、用、ユ、ル、コ、ト、ナ、キ、ヲ、通、常、ト、ナ、ス、  
 密、集、襲、撃、ハ、隊、次、ノ、正、整、ト、連、絡、ノ、堅、固、ト、ヲ、要、ス、ル、ヲ、以、テ、其、速、力、自、ラ、制、  
 限、ヲ、受、ク、ル、所、ア、リ、又、騎、兵、ハ、韁、ヲ、緩、メ、疾、驅、セ、ハ、忽、チ、紛、擾、ヲ、醸、ス、ノ、恐、レ、

梯隊襲撃

ア、リ、早、ク、隊、長、ノ、掌、裡、ヲ、逸、ス、ル、ノ、害、ア、リ、故、ニ、疾、驅、ハ、將、サ、ニ、敵、中、ニ、突、入、  
 セ、ン、ト、ス、ル、時、機、ニ、非、ラ、サ、レ、ハ、用、フ、ヘ、カ、ラ、ス、馬、匹、ハ、又、尙、ホ、疾、驅、シ、テ、若、  
 干、距、離、ノ、追、戰、ヲ、爲、シ、得、ヘ、キ、餘、銳、ヲ、保、存、セ、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス、故、ニ、初、メ、ハ、徐、  
 カ、ニ、漸、次、其、速、力、ヲ、増、加、ス、ヘ、シ、  
 梯、隊、襲、撃、ハ、其、各、梯、隊、ノ、距、離、其、度、ニ、適、セ、サ、レ、ハ、全、ク、其、効、ヲ、失、フ、ヘ、シ、若、  
 シ、小、ニ、過、ク、ル、ト、キ、ハ、第、一、梯、隊、効、ヲ、奏、セ、サ、リ、シ、ト、キ、後、續、梯、隊、モ、同、時、ニ、  
 敗、滅、ス、ル、ニ、至、ラ、ン、又、大、ニ、過、ク、ル、ト、キ、ハ、第、一、梯、隊、効、ヲ、奏、セ、シ、ト、キ、其、勝、  
 利、ヲ、收、ム、ル、機、ヲ、失、ス、ル、ノ、患、ア、リ、故、ニ、此、距、離、ハ、五、十、步、ヨ、リ、百、步、ノ、間、ニ、  
 ア、ル、ヲ、良、ト、ス、

梯隊ノ利害

梯、隊、ノ、利、ト、ス、ル、所、ハ、各、隊、逐、次、ニ、襲、撃、ス、ル、ヲ、以、テ、其、一、部、ハ、司、令、官、ノ、撐、  
 握、中、ニ、在、テ、豫、備、隊、ノ、如、ク、使、用、ス、ル、ヲ、得、ル、ト、又、橫、隊、ニ、比、ス、レ、ハ、運、動、自、  
 在、ナ、ル、ニ、ア、リ、然、レ、ト、モ、司、令、官、ノ、指、揮、ヲ、困、難、ニ、ス、ル、ヲ、以、テ、各、梯、隊、動、モ、



スレハ各個ノ運動ヲナスニ至ル又暴露シタル側面危殆ナルヲ以テ此ニ豫備ヲ置クトキハ大ニ便利ナリ即チ左ノ如シ



梯隊ハ一舉ニ其効力ヲ用ユル能ハス是レ此隊形ハ横隊ト一般ナル能ハサル所以ナリ

散開襲撃ハ即チ散開隊次(接觸或ハ間隔ヲ取リタル一列)ノ襲撃ニシテ其衝突力薄弱ナリ然レトモ運動ノ迅速ナルト敵火ノ被害少ナキ利アリ此襲撃法ハ砲兵或ハ散開ノ歩兵ヲ攻撃スルニ用ヒ又諸兵種ニ對ス

散開襲撃

ル追撃ニ用ユルモノナリ

散會襲撃ハ横隊ヨリ之ヲ爲スト雖モ又急速ヲ要スルトキハ縦隊ヨリ

追撃

ス

追撃 最初ノ衝突ニ於テ若クハ接戦シタル後チ敵兵敗退セハ勇敢ナル追撃ヲ行ヒ以テ勝利ヲ全フスルコトヲ勉ムヘシ此際騎兵ハ密集隊次ニ在レハ其儘密集隊次ヲ以テ追撃シ或ハ更ニ散開隊次トナリテ追撃ヲ行フ若シ接戦ヲナシタルトキハ其儘散開隊次ヲ以テ追撃スヘシ而シテ成ルヘク損害ヲ敵ニ與フル爲メ且ツ敵ヲシテ再ヒ反抗シ得サラシメンガ爲メ常ニ敵ノ背後ニ逼迫シテ之レヲ急追スルヲ勉ムヘシ然レトモ追撃ハ十分ノ注意ヲ以テ施行スルヲ要ス否ラサレハ敵騎ニ反撃セラレテ既ニ收得シタル好果ヲ失フノミナラス爲メニ往々敗北ヲ招クニ至ルヘシ



集合

指揮官ハ密集ノ一部隊ヲ備ヘ以テ敵兵全ク殲滅スルニ至ルマテ追撃ヲ遂行スヘシ又要スレハ此部隊ヲシテ敵ノ反撃ニ對シ追撃部隊ヲ支援シ若クハ之レヲ收容セシムヘシ  
●集合ハ接戰若クハ追撃後ニ於テ極テ緊要ナリ此際固有ノ編成及ヒ順序ニ係ラス直チニ使用シ得ヘキ二列ノ密集部隊ニ集合スルモノトス

其三 騎兵ノ徒步戰

徒步戰ノ目的

徒步戰ノ目的ハ騎兵ニ獨立ノ性質ヲ附加シ乘馬戰ヲ行フ能ハサル場合ニ在ツテモ能ク其任務ヲ達成セシムルニアリ蓋シ火器ノ進歩ハ騎兵ノ本領タル白兵戰ノ價值ヲ減シ爲メニ騎兵カ諸種ノ任務ヲ盡クスニ當リテモ火器ノ援助ヲ籍ラサルヲ得サレハナリ

徒步戰ノ利

騎兵ノ徒步戰ヲナスハ畢竟止ムヲ得サルノ時機ニ於テノミ用ユルモノニシテ通常防禦ニ屬ス而シテ其徒步ノ攻撃ヲ行フハ騎兵其目的ヲ達スル爲メ他ニ手段ナキトキニ限ルモノトス夫レ騎兵下馬スレハ其騎兵タルノ特有性能ヲ失ヒ不完全ナル歩兵ニ過キス唯、タ、其、利、ト、ス、ル、所、ハ、運、動、ノ、迅、速、ナ、ル、ヲ、以、テ、敵、ノ、嘗、テ、豫、想、セ、ザ、ル、地、點、ニ、於、テ、不、意、ノ、戰、鬪、ヲ、開、キ、得、ヘ、ク、或、ハ、不、利、ナ、ル、ト、キ、再、ヒ、乘、馬、ス、レ、ハ、容、易、ニ、之、ヲ、避、ケ、得、ル、ニ、ア、リ

徒步戰ヲ爲ス時機

騎兵ノ携帶彈藥ハ極メテ僅少ナルヲ以テ徒步戰ハ爲シ得ル限り短時間ニ成功スル如ク動作スルヲ要ス之レカ爲メ戰鬪ノ初期ヨリ成ルヘク多クノ兵數ヲ使用スヘシ又各兵卒ハ能ク火器ヲ使用シ巧ニ地形ヲ利用スルヲ用ス  
徒步戰ヲナスノ時機概ネ左ノ如シ



- 一 搜索勤務中或ハ作戰動作中ニ於テ敵ノ占據セル隘路ヲ開クヘキトキ即チ我進路ヲ阻絶セラレ或ハ爲メニ時間ヲ徒費スヘキ迂路ヲ避ケントスルトキ
- 二 敵前ノ要地ヲ占領シ而シテ我歩兵ノ其地ニ達スル迄之レヲ固守スルヲ要スルトキ
- 三 地形ニ掩蔽セラレテ敵ノ縱隊ヲ射撃シ彼ヲシテ注意ヲ我ニ向ハシメ或ハ敵ノ行進方向ヲ他ニ轉セシメ以テ一層明ニ其兵力ヲ偵知セントスルトキ
- 四 射撃ニ由テ退却セル敵ノ連繫ヲ攪亂シ其運動ヲ遲滯セシムルトキ
- 五 退却運動ニ於テ敵ノ追撃ヲ遮止スヘキトキ
- 六 隘路ヲ通過シテ退却スル部隊ヲ收容スヘキトキ

徒歩戦ノ區分

- 七 我舍營地ヲ守禦スヘキトキ  
徒歩戦ハ中隊ヲ以テ單位トシ通常左ノ如ク區分ス
- 第一 徒歩戦ヲ爲ス部隊即チ散兵
- 第二 手馬
- 第三 戰鬪斥候
- 第四 馬上豫備隊(必要ナル場合ニ於テ)
- 徒歩戦ヲ爲ス部隊ハ凡テ歩兵ト同要領ニテ戰鬪ス而シテ徒歩セシムヘキ部隊ノ兵數ハ戰鬪ノ目的及ヒ手馬ノ行動ヲ要スルト否トニ由テ差アリ手馬ノ行動ヲ要スルトキハ半數ニアラサレハ下馬セシムルヲ得ス
- 手馬ハ將校若クハ古參下士ヲシテ之ヲ指揮セシメ敵ノ射撃ト通視ヲ避クル位置ニアラシメ常ニ散兵ト連絡シ散兵前進行動スレハ適宜運



動ニ從ツテ位置ヲ轉シ又散兵再ヒ乘馬スル時ハ迅速ニ之レニ馬匹ヲ  
供フルコト最大緊要ナリ  
戰、闘、斥、候、ハ、徒、步、戰、闘、部、隊、及、ヒ、手、馬、ノ、爲、メ、側、面、ノ、警、戒、ニ、任、ス、ル、モ、ノ、ト  
ス、而、シ、テ、此、斥、候、ハ、通、常、乘、馬、ス、ル、モ、ノ、ナ、レ、ト、モ、地、形、乘、馬、ニ、テ、動、作、ス、ル  
ヲ、得、サ、ル、ト、キ、ハ、徒、步、ノ、騎、兵、ヲ、用、ユ、ヘ、シ  
乘、馬、豫、備、隊、ハ、步、兵、戰、ヲ、準、備、ス、ル、間、及、ヒ、其、戰、闘、中、絶、ヘ、ス、敵、方、ヲ、警、戒、シ  
手、馬、ヲ、掩、護、シ、或、ハ、好、機、ニ、投、シ、襲、撃、ヲ、以、テ、徒、步、戰、ノ、結、果、ヲ、收、メ、又、徒、步  
部、隊、再、ヒ、乘、馬、ス、ル、際、敵、ノ、逼、迫、ス、ル、ア、レ、ハ、逆、襲、ヲ、以、テ、之、ヲ、援、護、ス

其四 騎兵ノ騎兵ニ對スル戰闘

騎兵ト騎兵ノ戰闘ニ於テハ概ネ密集襲撃ヲ行フモノニシテ戰勝ノ歸  
スル所ハ專ラ志氣ノ壯ナル者ニアリ襲撃ニアリテハ敵ノ薄弱部即チ

側面ニ向ツテシ且ツ不意ニ出ツレハ其奏功確實ナリ敵ノ側面ニ向フ  
ハ我ニ有利ナルト同時ニ敵モ亦我側面ヲ伺フ故側面ノ警戒ハ尤モ緊  
要ナリ  
襲、撃、ニ、於、テ、ハ、決、シ、テ、彼、レ、ニ、先、ン、ゼ、ラ、レ、ス、又、好、機、ヲ、見、ル、コ、ト、必、要、ナ、リ  
此、機、會、ニ、投、ス、ル、コ、ト、ハ、襲、撃、ノ、尤、モ、要、訣、ニ、シ、テ、亦、尤、モ、難、キ、所、ナ、リ  
騎、兵、ニ、對、ス、ル、戰、闘、ニ、在、テ、尤、モ、適、切、ナ、ル、要、件、ハ、後、方、ニ、尙、ホ、戰、闘、ニ、參、集  
シ、得、ヘ、キ、豫、備、隊、ヲ、控、ユ、ル、之、レ、ナ、リ、夫、レ、騎、兵、互、ニ、衝、突、ス、ル、ト、キ、ハ、常、ニ  
接、戰、ト、ナ、リ、此、時、ニ、當、リ、テ、勝、利、ハ、常、ニ、新、銳、ナ、ル、兵、ヲ、之、レ、ニ、加、フ、ル、モ、ノ、  
ニ、歸、ス、是、レ、戰、列、縱、層、配、備、ノ、必、要、ナ、ル、所、以、ナ、リ  
我、未、タ、襲、撃、ヲ、行、ハ、サ、ル、ニ、敵、先、ツ、退、ク、ト、キ、ハ、之、ヲ、追、撃、ス、ル、タ、メ、一、部、隊  
ヲ、シ、テ、散、開、襲、撃、ヲ、行、ハ、シ、ム、ヘ、シ、自、餘、ノ、隊、ハ、其、支、援、ト、シ、テ、之、レ、ニ、後、繼  
徐、行、セ、シ、メ、以、テ、彼、レ、ガ、伴、退、ノ、策、ニ、陥、リ、テ、或、ハ、強、大、ナ、ル、第、二、線、或、ハ、伏



兵ニ會スルニ備フヘシ之レヲ要スルニ騎兵相戰フニ當リテハ正、整、團、結、衝、突、ノ、威、力、運、動、ノ、功、妙、側、面、攻、擊、及、ヒ、縱、層、配、備、ヲ、適、當、ニ、活、用、ス、ル、ヲ、極、メ、テ、緊、要、ナ、リ、ト、ス、  
今、左、ニ、騎、兵、ニ、對、ス、ル、騎、兵、戰、ノ、普、通、要、點、ヲ、摘、記、ス、レ、ハ、左、ノ、如、シ、

● 襲撃ハ成シ得レハ三戰列ヲ以テ行フ可トス

● 第一戰列ハ務メテ強大ニス

● 第二戰列ハ第一戰列ノ側方後約二百米ノ距離ニ於テ通常危殆ナル翼方ニ位置ス

● 第三戰列ハ第一戰列ノ後方約三百五十米ニ於テ其中央後ニ跟隨スルカ或ハ第二戰列ノ現在セサル翼方ニ位置ス

● 不意ニ襲撃ヲ行フコト能ハサルトキハ力メテ長ク速歩ヲ用ユヘク然レトモ自餘ノ場合ニ在ツテハ遠距離ヨリ驅歩ヲ用ユヘシ

● 襲撃ハ最大ノ正面ヲ以テ行フヘク且ツ敵ノ一翼ヲ包圍センコトヲ務ムヘシ聯隊ニ在ツテハ一中隊ヲ梯陣トナシテ從ハシメ戰列ニ區分セサルヲ反ツテ利トスルコトアリ

其五 騎兵ノ步兵ニ對スル戰闘

方、今、小、銃、火、ノ、威、力、大、ナ、ル、ニ、至、リ、騎、兵、ノ、步、兵、ニ、對、ス、ル、ハ、甚、タ、難、キ、所、ト、ナ、リ、步、兵、戰、ヒ、疲、レ、テ、隊、伍、錯、亂、ス、ル、ノ、ト、キ、或、ハ、意、表、ニ、出、ツ、ル、カ、或、ハ、步、兵、ノ、彈、藥、ヲ、射、耗、シ、タ、ル、時、等、ニ、ア、ラ、サ、レ、ハ、其、奏、功、確、實、ナ、ラ、ス、然、レ、ト、モ、我、軍、ノ、危、急、ヲ、救、フ、タ、メ、犠、牲、ト、ナ、ル、ト、キ、ハ、損、害、ヲ、願、ミ、ス、猛、烈、ナ、ル、襲、撃、ヲ、爲、サ、ル、ヘ、カ、ラ、ス

騎兵各種ノ時機ニ於テ執ルヘキ隊形ハ豫メ定則ヲ以テ示スヲ得ス其成效ハ突進ノ神速ト非常ノ勇氣トヲ以テ襲撃スルニアリ故ニ一タヒ



好機會ヲ得ルヤ要スレハ直ニ其現在ノ隊形ヲ以テ襲撃スヘシ又若シ成シ得サレハ各部隊逐次ニ諸方向ヨリ襲撃スルヲ利アリトス蓋シ如此襲撃ハ歩兵ノ志氣ヲ挫折シ狼狽爲ス所ヲ知ラサラシムルニ至ルモノナリ

陽撃ヲ行フ爲メカ或ハ散開スル歩兵ニ對シテハ散開襲撃ヲナシ密集スル歩兵ニハ密集襲撃ヲナスモノトス

歩兵ニ對スル騎兵戰ノ要點

今、左ニ歩兵ニ對スル騎兵戰ノ普通要點ヲ摘記ス

●各戰列ハ約二百米突ノ距離ヲ以テ梯次シ前戰列ニ續テ重層襲撃ヲナス

●蔭蔽シテ敵ニ近接シ或ハ不意ニ襲撃スルコト能ハサルトキハ遠距離ヨリ驅歩ヲ用ヒ以テ速ニ射撃界ヲ通過スヘシ

●攻撃點ヲ撰ブニハ地形ニ利害ナケレハ多クハ最捷路ヲ取ルヲ利

アリトス

●決戰ノ期近ツクニ至レハ歩兵ノ援隊豫備ノ大部分ハ散兵戰ニ加入スルヲ以テ迅速ニ新火線ヲ側面ニ配置シ得ス故ニ此場合ハ歩兵ノ側面尤モ薄弱ナリ

●行軍中ニアル歩兵ハ其先頭或ハ後尾ヨリ襲撃スルヲ要ス

●未タ大ニ動搖セサル所ノ歩兵ニ對シテハ二乃至三戰列ヲ以テ互ニ約百五十米ノ距離ヲ存シ襲撃ヲ行フヘシ中隊ニ在ツテハ橫隊ヲ用ユ而シテ後方ノ戰列ハ我騎兵ノ襲撃ヲ受ケス或ハ我騎兵貫通セシ所ノ歩兵ニ向ツテ襲撃ヲ行フヘシ若シ敵ノ歩兵ヲ停止セシムルコト必要ナルトキハ絶ヘス脅威ヲ行フヘシ

●敵ノ歩兵警戒嚴ナラサルトキ及ヒ隊伍不整頓ナルトキ并ニ大ニ損害ヲ受ケシ時ノ如キハ襲撃ヲ行フノ好機會ナリ宜シク果敢斷



行時機ヲ失フナキヲ要ス

其六 騎兵ノ砲兵ニ對スル戰鬪

騎兵ノ砲兵ニ對スル要訣ハ概ネ步兵ニ對スル者ト異ナルコトナシ騎兵襲撃ヲナスニ適スル時機ハ砲兵其發射ヲ以テ對抗シ得サル間ニアリ其時機概ネ左ノ如シ

- (一) 砲兵ノ大ニ紊亂セシ時
- (二) 側面或ハ背面ヨリ不意ニ襲撃シ得ル時
- (三) 前車ヲ解脱シ或ハ連絡セントスル時
- (四) 砲兵運動中ニアルカ或ハ戰況ニ依リテ襲撃ニ對シテ發射シ得サル時

砲兵ニハ通常護衛隊アルモノナリ故ニ砲兵ヲ襲撃スルト同時ニ他ノ

騎兵が砲兵ニ對シ襲撃スベキ場合

部隊ヲ以テ之ヲ擊破セサルヘカラス而シテ砲兵ニ向フ襲撃ハ散開襲撃ヲ以テシ(成ルヘク砲兵陣地全正面幅ニ亘ルヲ可トス)其護衛兵ハ歩兵或ハ騎兵ナルニ應シ前ニ論シタル要旨ニ從フヘシ  
地形ニ應シ側面攻撃ヲナシ能ハサルトキ并ニ戰況ニ依リテハ遠大ノ距離ヨリ展開シ成ルヘク其速力ヲ利用シテ敵ノ砲火ヲ避ケ其後方ニ第二戰列或ハ第三戰列ヲ設ケ敵ノ騎兵ニ對シ掩護ニ任スルヲ可トス  
砲兵ノ陣地ニ突入シ得タル後ハ歩兵ノ砲兵ニ對スル場合ニ於テ説キシ要領ニ同シ

● 砲兵戰鬪要領

其一 砲兵戰ノ性質



## 砲兵ハ獨立力ヲ有セス然シ砲兵戰ハ鞏強ナリ

戰ノ勝敗ハ敵ヲ戰場ヨリ驅逐スルニアリ砲兵ノミノ戰ハ其勝敗ヲ決スル能ハス唯タ戰ヲ持續スルニ過キス其敵ヲ驅逐スルハ他兵ノ任ナリ然レトモ他兵若シ砲兵ノ援助ヲ藉ラサレハ遂ニ其結果ヲ全フスルコト能ハス

方今砲兵威力ノ増加ニ依リ敵ノ砲兵ヲ破壊スルノ必要ヲ生セリ敵ノ砲兵完全ナルカ或ハ其損害微少ニシテ其前方ニ廣射界ヲ有スルトキハ之レニ向ツテ攻撃スルモ成効ノ無キモノタルハ千八百七十年戰役ニ於テ既ニ證明スル所ナリ況ンヤ今日ニ於テオヤ砲兵ハ此ノ如ク威力ヲ有スルモ援助ノ兵種ニシテ他兵ト連合スルニ非ラサレハ戰フ能サルノミナラス戰鬪、行軍、露營、舍營ヲ問ハス必ス他兵ノ保護ヲ仰カサルヲ得ス

砲、兵、ノ、戰、ハ、運、動、輕、捷、ナ、ラ、ス、隨、テ、動、作、勇、猛、ナ、ラ、ス、ト、雖、モ、亦、他、兵、ノ、如、ク、容、易、ニ、疲、勞、ス、ル、コ、ト、ナ、シ、故、ニ、砲、戰、ハ、強、靱、以、テ、久、シ、キ、ニ、堪、ヘ、輒、ク、其、兵、ヲ、消、盡、セ、サ、ル、モ、ノ、ト、ス、而、シ、テ、砲、兵、ハ、其、前、進、ス、ル、ト、退、却、ス、ル、ト、ヲ、以、テ、戰、況、ノ、利、不、利、ヲ、察、ス、ヘ、カ、ラ、ス、砲、兵、線、ハ、戰、鬪、ノ、骨、髓、ヲ、ナ、シ、他、ノ、兵、種、ハ、血、肉、ト、ナ、リ、テ、其、周、圍、ニ、戰、フ、モ、ノ、ト、ス、特、ニ、其、地、形、步、兵、戰、ニ、利、ア、ラ、サ、ル、ト、キ、ハ、益、々、砲、兵、戰、ノ、固、有、性、能、著、シ、ク、顯、ハ、ル、コ、ト、多、シ

砲兵其陣地ニ位置セス且ツ射擊セサレハ必ス敗滅スヘシ嘗テ滑膛砲ノ時代ニハ射距離頗ル短少ナルヲ以テ步兵ノ戰況ニ應シテ進退スルヲ要シタリト雖モ施條砲行ハレシヨリ以來砲兵ハ勉メテ火線ヲ維持シ猥リニ陣地ヲ轉セサルヲ良トスルニ至ル殊ニ今日ノ微烟速射砲ニ至リテ益々其然ルヲ知ル



其二 砲兵射擊

彈着ノ觀測ハ射擊ヲ確實ナラシムル爲メ最モ緊要ナルモノナリ確實ノ射擊ハ距離測量ノ正否ニ關ス此距離ハ一般ニ試射ニ由ツテ彈着ノ遠近ヲ觀測シ適宜ニ之ヲ修正シ依テ以テ之ヲ知了スルモノトス故ニ砲兵ノ有効距離トハ其射距離ノ遠近ニアラスシテ觀測ノ正否ニアリ野砲ハ能ク三千八百米、山砲ハ三千米ノ遠キニ達スルモ(野砲ハ三千五百米、山砲ハ三千米ニ於テ彈子ハ猶ホ人馬ノ殺傷力ヲ有ス)其尤モ有効ナルハ概ネ野砲ニ在テハ二千米前後、山砲ニ在ツテハ千五百米前後トス

砲兵ノ有効距離  
射擊種類ノ區分

射擊ハ其射角ノ異同、速度及彈種ニ從ヒ三類ニ大別ス  
射角ノ異同ニ從フテ試射、齊射、級梯射ノ三種トス

試射トハ目標ノ距離ヲ測定スル爲メ種々ノ射角(表尺)ヲ以テ射擊ス

齊射トハ試射ヲ以テ目標ノ距離ヲ測定セシ後チ同シ射角ヲ以テ射擊シ試射ニ由テ得タル測定距離ノ適否ヲ檢スルナリ  
級梯射ハ地形若クハ戰況ニ依リ射彈ノ觀測困難ナルトキ目標ノ位置スル地境內チ數種ノ射角(級梯ノ表尺)ヲ以テ探射スルヲ謂フ  
速度ノ如何ニ由テ緩射、尋常射、迅速射、急放及ビ齊發等ノ別アリ  
緩射ハ發射毎ニ中隊長砲車番號ヲ號令シ砲車毎ニ發射セシムルヲ以テ其速度ハ一定セス最モ緩徐ナル射擊ナリ(彈藥ヲ節用スル爲メ持久戰若クハ戰鬪ノ初期ニ用ユ)  
尋常射ハ六門中隊ニ在ツテハ約十五秒時ニ一發ヲ發射シ發射毎ニ其射彈ヲ觀測スルヲ得ヘシ(之レヲ用ユル場合ハ緩射ニ準ス)  
迅速射ハ裝填セル砲車ガ順次ニ從ヒ成ルヘク速ニ發射シ其速度ハ六門中隊ニ於テ遅クモ六秒時ニ一發ヲ發射ス(決戰ノ時機ニ用ユ)  
急放ハ既ニ裝填シ且ツ照準ヲ終リタル砲車特ニ號令ヲ用ヒス直チ



ニ發射ス(運動スル敵ニ對シ修正完キ時機ヲ見テ發射ス)  
齊發ハ小隊或ハ中隊ニ於テ其隊ノ全砲車一齊ニ發射スルナリ(火力  
ヲ同時ニ聚注スヘキカ或ハ地形又ハ距離ニ因リ觀測困難ナル時ノ  
試射ニ用ユ)

彈種ニ關シテハ着發射擊、曳火射擊、霰彈射擊ノ三種トス

着發射擊ハ着發スル信管ヲ裝シ彈着ノ激突ニ依テ信管發火シ彈丸  
ヲ破裂セシメ其破片及ヒ彈子ノ爲メニ効力ヲ現ハスモノナリ而シ  
テ此射擊ニハ榴彈、榴霰彈兩様ヲ用ヒ殊ニ榴彈ハ爆烟多ク彈着ノ認  
識ニ容易ナルヲ以テ遠距離射擊並ニ試射ニ用ユ  
曳火射擊ハ曳火スル信管ヲ裝セル榴霰彈ヲ以テシ目標ノ前方空中  
ニ於テ破裂セシメ其破片ト彈子トニ由テ効力ヲ顯ハスモノナリ  
霰彈射擊ハ砲口ヨリ直チニ彈子ノ束葉ヲ生シ恰モ獵銃ノ彈子ニ於  
ケル如キ効力ヲ有ス故ニ近接セル敵ニ對シテ防禦ノ用ニ供スルモ  
ノニシテ多クハ五百米以内ノ距離ニ於テ使用ス而シテ其効力ハ土

着發射擊ノ利

地ノ種類ニ關シ大ニ左右セラル則ハ軟土、耕地等ニ在ツテハ其彈  
子跳躍ノ利ヲ失ヒ土地平垣堅硬ナルトキハ跳躍ノ功大ナリ且ツ此  
射擊ハ使用簡易ニシテ迅速ナル利アリ

着發射擊ハ左ノ利ヲ有ス

- 一 彈着ニ由テ距離ヲ測定シ得ルヲ以テ特ニ試射ニ適ス
- 二 家屋、橋梁、牆壁、阻障等ニ對シ破壊力大ナリ
- 三 我兵ヲ超越シテ發射スルニ適シ而シテ其使用簡易單一ナリ
- 四 信管分畫ヲ整正スル等ノ煩ナク使用確實且ツ要スレハ堅硬ノ  
土地ニ於テ霰彈射擊ニ代用スルコトヲ得

曳火射擊ノ利

曳火射擊ハ左ノ利ヲ有ス

- 一 曳火彈ハ土地ニ關係スルコトナシ之レニ反シ着發彈ハ標的前  
方ノ土地柔軟ナル時ハ破壊ノ効力ヲ減殺ス



射撃ノ指揮

二 掩蔽物ノ背後ニアル所ノ敵ヲ射撃スルニ利アリ

三 破片ノ數多キヲ以テ其射距離分明ナルトキハ軍隊人馬ニ對シテ尤モ効力アリ

要スルニ遠距離射撃或ハ人馬ニ對シテハ曳火射撃ヲ利トシ破壊又ハ試射ノ爲メニハ着發射撃ヲ利トス

砲兵隊長ハ指揮官ヨリ示サレタル目標ヲ配當シ戰闘實行ノ方法ヲ定メ死場ヲ顧ミルコトナク各戰況ニ應シ常ニ主要ナル目標ヲ射撃スヘシ

戰闘ノ始ニ於テハ通常砲兵ヲ以テ目標トシ就中先ツ最モ我ニ害アルモノヲ射撃スルヲ原則トス然レトモ場合ニ依リ其最モ撲滅シ易キモノヲ射撃スルコトアリ

歩兵ニ對シテハ最前線ヲ射撃スルヲ通則トス而シテ散兵ヲ射撃スル

ニハ射彈ヲシテ廣ク其全線ヲ覆ハシムル如クスヘシ之レカ爲メ三十米以上ノ幅ヲ有スル目標ニ對シテハ砲火ヲ分ツ之レヲ分火ト稱ス

騎兵ノ襲撃ニ對シテハ急速ナル射撃ヲ用ユ遠距離ニアル騎兵ニ對シ射撃シテ効力アルハ其集團シアルトキニ限ルモノトス

高等司令部ヲ射撃スルヲ以テ往々有利トスルコトアリ

準備ヲ整ヘ不意ニ立テ一途ノ指揮ヲ以テ同時ニ射撃ヲ開ケハ大ニ効力ヲ増スモノトス優勢ノ敵ニ對シテハ一時敵ノ一部ニ射撃ヲ集中シ効力ヲ顯ワスコトヲ試ムヘシ

敵ノ各部ニ損害ヲ加ヘンカ爲メ射撃ヲ數目標ニ分配スヘキコトアリ然レトモ砲兵ノ優勢ハ射撃ノ集中ニ由テ得ラルヘキモノナレハ確タル目的アルニ非ラサレハ紊リニ射撃ヲ分離スヘカラス

方今集團砲兵ノ利益ヲ主唱スルニ至リ砲兵射撃統一ノ指揮ノ必要



ヲ認ムル尤モ切ナリ然リ而シテ日本ノ地形ハ各丘陵間水田ノ横ハ  
 ルアリテ爲メニ陣地ハ分離セラレ殊ニ大集團ノ放列正面ノ如キハ  
 大ナル擴張ヲ要スルヲ以テ砲兵隊長ガ統一ノ指揮ヲナスハ甚々固  
 難ニシテ之レヲ指揮スルニハ號令ヲ以テスル能ハス命令ニ由ラサ  
 ルヘカラス乃チ此命令ノ傳達法ハ如何ニスヘキヤ一ツノ研究問題  
 タリ曰ク記號若シクハ手旗信號ヲ以テセンカ未タ其結果ヲ得ス砲  
 聲喧騒ノ場合ニ於テ各中隊長ハ殆ント響セリ聲音記號共ニ無益ナ  
 リ普佛戰役ニ於テハ小笛ヲ以テ號令下達ノ前注意ヲ喚起スルニ供  
 シタリト雖トモ是レ亦不充分ナリ要スルニ今日ニ於テハ砲兵隊長  
 ハ放列ヨリハ寧ロ一般ノ戰況ヲ能ク視察シ得ヘキ地點ニアリテ戰  
 況ヲ觀察シ其戰況ニ應スル射撃指揮ハ成ルヘク筆記命令ヲ以テ傳  
 達スルヲ可トセン  
 又方今弧形照準器ノ利ニ由テ盛ニ間接射撃ヲ主張セラル、ニ至リ  
 タレトモ然シ砲兵ハ果シテ間接射撃ヲ以テ正格トスヘキカ或ハ脱

格トスヘキカ偏ニ地形ト戰況ニ因ルナリ効力上ヨリ論セハ直接照  
 準ヲ可トスルコト無論ナリ我損害ヲ減スル方ヨリ論セハ間接照準  
 ニ若クナシ故ニ敵砲頗ル優勢ニシテ直接照準ノ爲メ我砲ヲ露出セ  
 ハ直チニ敵ノ爲メニ沈黙セシメラル、如キ時ハ間接射撃ヲ以テ頗  
 ル利益トス

一部ガ直接照準ノ爲メ露出シ他部ハ遮蔽シテ間接射撃ヲナス如キ  
 場合ニハ其露出セル部分ハ非常ニ損害ヲ蒙リ之レニ反シ遮蔽セル  
 部分ハ損害少カルヘシ是等ハ戰闘ノ情況上已ムヲ得サル事ト雖ト  
 モ亦一方ニ於テ指揮官ハ德義上成ルヘク直接照準ヲナサシムルナ  
 ラハ全隊一齊ニナサシムルトコト願ヒスヘシ  
 砲兵カ陣地ニ進出スル以前ニ準備陣地ニ於テ先少裝填スルコト  
 アリ此場合ハ地形ノ關係上砲車縱隊ヲ以テスルコトアリ然ルト  
 キ第一段列ハ後尾ニアルヲ以テ彈藥ハ一時前車ノ者ヲ使用シ砲  
 車ヲ放列ニ備ヘ其前車ヲ解脱シテ第一段列ノ處ニ至リタルトキ



其三 砲兵陣地撰定ノ要領

陣地ノ撰定ハ砲兵戰術ノ大部分ヲ占メ此陣地ノ良否ハ砲兵威力ノ消長ヲ左右スル明ナリ方今ノ戰鬪ニ於テハ戰鬪ノ開始ハ先ツ砲兵ニ由テセラレ集團砲兵ノ威力ヲ以テ敵ニ損害ヲ與ヘ步兵ハ之レニ續テ其計策ヲ施スナリ故ニ砲兵ハ步兵計策ヲナスノ時間ヲ與ヘサルヘカラス即チ砲兵ハ戰ノ初期ニ於テ他兵ニ先ンシ自由ニ陣地ヲ撰定スルノ權利アリ否ナ權利アルノミナラス戰鬪ハ砲兵陣地ヲ以テ主トセサルヘカラス實ニ砲兵陣地ノ可否ハ全軍ノ勝敗ニ係ル者ナリ日本ノ如キ蔭蔽起伏多キ土地ニ在テハ砲兵陣地ノ撰定屢々困難ナリ殊ニ今日頻リニ唱道スル集團砲兵ノ陣地ニ至ツテハ本邦中二三ノ平

原ヲ除クノ外ハ殆ントナシ蓋シ本邦特色ノ地形トシテ丘陵間ニハ水田アリ爲メニ陣地ハ數多ニ分隔セラル、ヲ以テナリ乃ハ陣地ハ假令ヒ連續セサルモ砲兵隊長カ戰場一般ヲ望見シ得テ統一ノ指揮下ニ砲兵射撃ヲ導ケハ以テ集團砲兵ノ効力ヲ現ハシ得ヘク又全隊悉ク直接照準ヲ爲シ得ス一部分ハ間接照準ヲ以テ満足セサルヘカラス陣地ノ正面狹少ナルトキ平坦ノ地形ニ在ツテハ五百米突ノ距離ヲ以テ重層放列ヲ布キ得ヘント雖トモ段列及ヒ指揮官ノ位置等ニ不便尠カラスシテ其實行甚タ難キモノトス砲兵ハ假令屢々他ノ兵隊ヲ超越シテ射撃ヲナスノ場合アリト雖トモ此射撃ハ到底其効用ヲ制限セラル、モノナリ然レトモ他兵種ノ後方ニ陣地ヲ占領スルトキハ左ノ利アリ、

一 陣地ノ撰定易シ



二 陣地安全且ツ占領迅速ナリ  
 三 直接ニ敵ノ小銃火ヲ受クルノ恐レナシ  
 四 運動自在ナリ

殊ニ砲兵陣地ハ高地ニシテ其基脚ニ歩兵ヲ配布スルトキノ如キハ屢々利アルコトアリ

凡ソ戦闘ニ於テ主眼トスルハ敵ニ多クノ損害ヲ與ヘ敵ノ戰鬥力ヲ撲滅スルニアリ此原則ニ基キ砲兵陣地ヲ撰定スルニ當リ先ツ第一ニ考慮スヘキハ砲兵最大ノ威力ヲ顯ハシ敵ニ損害ヲ與フルニアリ多少後方ノ景況段列ノ位置退却路等ノ關係ノ如シ惡シク又放列陣地ハ暴露シ損害ヲ蒙ルモ砲火ノ威力ヲ發揚スルニ適當ナル位置ナレハ他ノ顧慮ハ措テ之ヲ採用スヘキモノトス此クノ如ク我砲兵ノ威力ヲ發揚シ得テ次キニ亦掩護ニモ顧慮スルヲ要ス即チ敵ニ損害ヲ與フルヲ第

陣地撰定ノ標準

一 條件トシ我損害ヲ減スルハ第二條件トシテ陣地ヲ撰定スヘキナリ

陣地撰定ニ關シ顧慮スヘキ要領左ノ如シ

第一

砲兵ノ陣地ハ特ニ一般ノ戰況ニ適應スルヲ要ス而シテ又他兵種ト協同ノ動作ヲ爲シ得ヘク又攻擊點ニ向ツテ其効力ヲ逞フスルコトヲ得ヘク且ツ戰鬥中前進退却ノ運動自在ナルヲ要ス

第二

射撃ノ効力ニ關シテハ前面ニ開豁ノ射場ヲ有シ隣地前進ノ近距離ニ至ルマテ能ク射撃シ得ルヲ要ス掘起セル地點ハ概テ砲兵最良ノ陣地ナリ是レ此地點ハ遠方ヲ瞰制シ且ツ廣キ射界ヲ有スレハナリ然レトモ極メテ掘起シタル地點ハ必シモ善良ノ陣地ニアラス何トナレハ砲兵此ニ來ルコト艱難ニシテ且ツ目標ヲ甚シク下瞰スルトキハ彈丸低下シテ効力微



第三

ナレハナリ  
砲車ハ不動ノ姿勢ヲ保ツヲ要ス故ニ綿亘シテ且ツ強硬ノ地  
ヲ撰ンテ成列ノ位置トナスヘシ

第四

敵砲ノ目標トナリ或ハ敵彈ノ破壊力ヲ助クルカ如キ物體ノ  
附近ハ之レヲ避クヘシ又砲兵陣地前ノ地ハ柔軟ナルヲ要ス  
何トナレハ敵彈深ク地中ニ入りテ大ニ其効力ヲ減スレハナ

第五

リ但シ其地ハ我前進ニハ障碍タラサルヲ度トス  
砲隊ノ掩蔽ト警戒ニ就テハ漸次敵方ニ傾斜セル丘陵或ハ波

第六

狀地ノ巔頂又ハ生籬灌木林等ノ背後ニ布置スルヲ良トス  
凡ソ砲兵陣地ノ撰定ニ在ツテハ蔽障ヲ得ンコトヲ勉ムルヨ  
リ寧ロ火力ヲ逞フセンコトヲ慮ルヘシ砲兵一タヒ陣地ヲ占  
ムレハ五百米突以内ノ距離ニアリテハ其位置ヲ變換スルモ

其効力ハ轉位ノ爲メニ費ヤシタル時間ノ損ヲ償フニ足ラサ  
ルヲ以テナリ

第七

守戰ニ於テ砲兵陣地ハ成ルヘク各中隊及ヒ各大隊ノ間隔ヲ  
減少セサルヲ可トス

第八

八米突間隔ノ放列ト十四米間隔ハ放列トハ其損害三ト二ハ  
比ヲ以テ増加スルナリ

右ノ要領ニ從テ砲兵陣地ニ具備スヘキ條件ハ左ノ如クナルヘシ

一、射界廣濶ナルコト

射界ノ廣濶ナルハ射擊効力ヲ顯ハスノ第一要義ナリ如何ニ砲數  
多キモ射界ナキトキハ所謂砲數ノ握リ潰シナリ

二、敵ヲ瞰制スルコト

敵ヲ瞰制スレハ敵ノ運動ヲ充分ニ望見シ自由ニ其運動ニ對シ我

砲兵陣地ニ  
具備スヘキ  
條件



方策ヲ巡ラシ得ヘシ即チ瞰制ノ利ヲ得ルニハ高地ヲ可トス且ツ又高地ヲ占ムレハ前面ニ歩兵線アルモ超越射撃ヲ行ヒ得ルノ利アリ然レトモ極メテ掘起シタル地點ハ必ラスシモ善良ノ陣地ニアラス何トナレハ砲兵此ニ進入スルコト艱難ニシテ且ツ目標ヲ甚シク下瞰スルトキハ彈丸低下シテ効力微ナレハナリ故ニ高地ハ敵ニ向ヒ緩傾斜ヲナスモノヲ最可トス

### 三、地幅充分ナルコト

地幅充分ナルトキハ砲車間隔ヲ充分ナラシムルヲ得從ツテ我損害ヲ減スルヲ得ヘシ且ツ又各中隊各大隊等ノ間隔ヲ充分ナラシムルヲ得各隊ノ號令指揮混雜ナルコトナク即チ放列ヲ整正確實ナラシムルヲ得ヘシ中隊ハ少クモ四十米(閉收間隔)乃至百米ノ正面ヲ有シ(定間隔)正面ナレバ八十四米各中隊ハ二十米乃至四十米

ノ間隔ヲ有スルヲ利アリトス大隊ニ在ツテ定間隔ノ放列正面ハ二百七十米ヲ要ス

### 四、成ルヘク近距離ノ地ヲ掃射シ得ルコト

砲兵陣地ハ制高ノ利ヲ占メン爲メ多クハ高地ニ撰フナリ然ル時高地ノ形狀ニ由テハ前方ニ死角ヲ生シ近距離ノ地ヲ射撃シ得サルコトアリ故ニ成ルヘク敵方ニ自然ニ緩傾斜ヲナシ死角ヲ生セス近距離マテ掃射シ得レハ尤モ有利ナリ

### 五、砲車ノ位置ハ平坦堅硬ニシテ且ツ之ヲ通視シ得ヘキコト

砲車ノ位置平坦ナルトキハ砲車傾キタル位置ヲ取ルコト無ク又土地堅硬ナレハ發射ニ際シ反撞ノ爲メ砲車ノ位置ヲ不正ナラシムルコトナク又砲車ノ位置ヲ通觀シ得ルハ指揮上ノ便ヲ得ル者



ニシテ若シ中隊長ガ或ル地物ノ爲メ全砲車ヲ通觀シ得サルトキ  
ハ指揮ノ困難明ナリ

六、放列正面ハ成ルヘク射線ニ直角ナルコト

放列正面ガ射線ニ直角ナルハ射撃ヲ有利ナラシムル所以ナリ戰  
闘ノ中途ニ於テ正面ヲ變換スルハ我射撃ヲ止メ且ツ損害ヲ受ク  
ルノ恐レアルヲ以テ成ルヘク最初ヨリ射撃スヘキ方向ヲ考察シ  
至當ノ正面ヲ撰フコト緊要ナリ

七、敵ヲシテ射彈ノ觀測ヲ困難ナラシムルコト

砲兵陣地周圍ノ地殊ニ前地(敵ハ多ク近着彈ヨリ觀測ヲ始ムル故)  
柔軟ナルカ沮洳地ナルカ或ハ起伏凹凸ナル時ハ敵彈土中ニ没入  
シ又ハ凹凸ノ爲メ敵兵其觀測ヲナシ難シ此クノ如キ地形ノ爲メ  
觀測ヲ誤リタル例ハ往々有リ

八、進退容易ナルコト

砲兵ノ進退如何ハ大ニ戰闘ノ形勢ヲ左右スル者ニシテ即チ速ニ  
優勢ノ砲兵ヲ陣地ニ進入セシメ(遭遇戰ニ於テ殊ニ然リ)敵ニ先シ  
テ猛火ヲ開キ陣地變換等ノ前進ニ當リテハ速ニ此前進ヲナシ得  
テ射撃中絶ノ憂(前進間ハ射撃ヲ施行スル能ハサル故)ヲ減スルヲ  
要ス

抑モ砲火開始ノ遲速ハ戰闘先制ノ利ヲ左右スル者ニシテ若シ不  
幸ニシテ敵ニ先ニシテ敵ノ砲火ノ下ニ在ツテ我放列ヲ布ク如  
キハ願ル不利ナルハミナラズ多クノ損害ヲ蒙ルモノトス故ニ  
時トシテハ陣地ノ性能ハ最良ト云ヒ能ハサルモ砲兵進入ノ便及  
ヒ射撃開始ヲ速ナラシムルノ便ナルヲ以テ陣地ノ不完ヲ補ヒ此  
陣地ヲ採用スルコトアリ前衛砲兵ノ如キハ殊ニ然リ是レ前衛砲



兵ハ通常本隊開進ヲ掩護スル爲メ速ニ陣地進入ノ必要アルヲ以テ多クハ道路附近ニ於テ速ニ放列ニ就クモノトス例外ニ於テ假令ヘバ專守防禦ノ場合ニ於テハ陣地變換ノ便ハ多ク顧慮セズ敵ノ接近困難ナル地點ヲ撰定スルコトアリ

九、適當ナル段列ノ位置ヲ得ルコト

段列ハ砲兵ノ爲メニ戰鬥力ヲ支續セシムル要素ナルヲ以テ成ルベク安全ナル位置ニアラシムルヲ要スト雖亦彈藥ノ補給ヲ迅速容易ナラシメザルベカラズ故ニ敵火ヲ顧慮シテ遠ク後方ニ避ケシムルコト能ハズ故ニ成ルベク敵砲ノ射線ヲ避ケ側方ニ於テ蔭蔽セル地點ニ位置スルヲ可トス

右ノ外砲ヲ高地ノ稜線後ニ置ケバ第一ニ此陣地ニ進入スル迄敵ニ蔭蔽シ得ベク又放列位置モ稜線ノ爲メニ處々蔭蔽シ敵ニ全ク暴露セ

ズシテ我ハ反ツテ敵ヲ充分ニ展望シ得ルノ利アリ

放、列、正、面、前、ノ、土、地、柔、軟、ナ、ル、ト、キ、ハ、敵、彈、土、中、ニ、没、入、ス、ル、カ、或、ハ、否、ラ、ザ、ル、モ、跳、彈、ノ、害、ヲ、大、ニ、減、ジ、得、ベ、ク、又、正、面、前、ニ、斷、絶、ア、ル、ト、キ、ハ、敵、ヲ、シ、テ、此、斷、絶、内、ニ、着、發、ス、ル、觀、測、ヲ、困、難、ナ、ラ、シ、メ、我、ニ、利、ア、ル、ハ、勿、論、ナ、レ、ト、モ、若、シ、此、等、ノ、地、形、ガ、我、運、動、ヲ、妨、害、ス、ル、ト、キ、ハ、我、砲、兵、ノ、威、力、ヲ、減、ス、ル、譯、ニ、テ、不、可、ナ、リ、是、レ、前、ニ、モ、述、ヘ、タ、ル、如、ク、戰、闘、ニ、於、テ、我、砲、兵、威、力、ノ、發、揚、ヲ、第、一、ニ、シ、テ、我、損、害、ヲ、減、ス、ル、ハ、第、二、ナ、レ、バ、ナ、リ

方今無烟火藥採用ノ結果砲兵陣地變換ヲ要スレコト少クナリ從ツテ砲兵正面前ニ更ニ運動スルコト少クナリタル譯ナレドモ固ヨリ步兵決勝攻撃ノ場合ニハ之ヲ鼓舞スル爲メ砲兵猛烈ノ前進ヲ要スルコトアリ又進撃ニ際シテハ殊ニ速ニ砲兵ヲ進出セシムルノ必要等アルヲ以テ砲兵正面前ノ地形ヲ顧慮スルハ必要ノコトナリ



遮、蔽、物、放、列、ノ、前、方、ニ、ア、リ、テ、爲、メ、ニ、我、射、界、ノ、防、害、ヲ、ナ、ス、ト、キ、ハ、好、マ、シ、  
 キ、コ、ト、ニ、ア、ラ、サ、レ、ト、モ、放、列、陣、地、ガ、高、地、ニ、ア、ル、等、ノ、場、合、ニ、於、テ、前、方、ノ、  
 遮、蔽、物、我、射、擊、ヲ、妨、ゲ、ザ、ル、ト、キ、ハ、此、遮、蔽、物、ノ、爲、メ、ニ、敵、ノ、彈、着、觀、測、ヲ、ナ、  
 シ、能、ハ、サ、ラ、シ、メ、尤、モ、利、ア、リ、凡、ソ、敵、ノ、彈、着、挾、又、ヲ、以、テ、觀、測、ヲ、ナ、ス、ハ、放、  
 列、前、後、二、百、米、位、ヨ、リ、漸、次、挾、又、ヲ、短、縮、ス、故、ニ、放、列、正、面、前、二、百、米、位、ニ、至、  
 ル、地、境、ハ、敵、ノ、觀、測、ノ、爲、メ、ニ、尤、モ、必、要、ナ、ル、ナ、リ、此、地、境、カ、遮、蔽、物、ノ、爲、メ、  
 ニ、敵、ニ、遮、蔽、セ、ラ、ル、レ、ハ、殆、ン、ド、敵、ハ、觀、測、ヲ、ナ、シ、能、ハ、ザ、ル、ナ、リ、  
 著、明、ナ、ル、物、體、カ、放、列、近、傍、ニ、ア、ル、ト、キ、ハ、目、標、ニ、ナ、リ、易、ク、之、ニ、比、較、シ、テ、  
 敵、ノ、彈、着、ノ、觀、測、ヲ、容、易、ナ、ラ、シ、メ、又、放、列、近、傍、砲、確、地、ナ、ル、ト、キ、ハ、破、裂、彈、  
 跳、彈、ノ、威、力、ヲ、増、シ、損、害、多、シ、是、レ、皆、不、利、ト、ス、ル、ト、既、說、シ、タル、所、ノ、如、シ、

其四 砲兵用法ノ要領

砲、兵、用、法、ノ、巧、ミ、ナ、ル、ハ、步、兵、火、線、ノ、域、外、ニ、於、ケ、ル、遠、距、離、ニ、於、テ、其、射、擊、  
 ノ、威、力、ヲ、顯、ハ、ス、ニ、ア、リ、然、レ、ト、モ、決、戰、ノ、機、ニ、臨、メ、ハ、敵、火、ヲ、冒、シ、テ、之、レ、  
 ニ、近、接、ス、ル、ヲ、要、ス、ル、ハ、論、ヲ、俟、タ、ス、

凡、ソ、砲、兵、ノ、火、力、ヲ、逞、フ、ス、ル、ハ、聚、注、射、擊、ニ、ア、リ、我、砲、數、ヲ、シ、テ、終、始、敵、ニ、  
 優、ラ、シ、ム、ル、ハ、尤、モ、必、要、ナ、ル、モ、ノ、ニ、シ、テ、通、常、大、隊、以、上、ノ、連、繫、ヲ、以、テ、ス、  
 砲、兵、中、隊、ヲ、分、割、ス、ル、如、キ、ハ、尤、モ、忌、嫌、ス、ル、所、ニ、シ、テ、戰、術、上、地、形、ト、目、的、  
 ト、ニ、從、ツ、テ、万、己、ム、ヲ、得、ザ、ル、時、ノ、ミ、ニ、限、ル、モ、ノ、ト、ス、

砲、兵、ノ、有、効、地、帯、ハ、八、百、米、突、以、上、二、千、五、百、米、突、以、内、ニ、シ、テ、八、百、米、突、以、  
 内、ニ、近、接、ス、ル、ト、キ、ハ、小、銃、火、ノ、被、害、至、大、ナ、ル、ヘ、ク、二、千、五、百、米、突、以、外、ニ、  
 於、テ、ハ、試、射、難、ク、シ、テ、射、擊、ノ、効、力、減、ス、ル、モ、ノ、ト、ス、砲、兵、ハ、其、目、標、愈、ト、深、厚、  
 ナ、ル、ニ、隨、ヒ、効、力、愈、著、大、ナ、リ、故、ニ、斜、射、ハ、直、射、ニ、勝、リ、縱、射、ハ、斜、射、ヨ、リ、尙、  
 ホ、利、ナ、リ、砲、兵、彈、藥、已、ニ、盡、キ、射、擊、ヲ、止、メ、サ、ル、ヲ、得、ザ、ル、ト、キ、ト、雖、ト、モ、敵、



ニ對シテ効力ナキニアラス蓋シ敵ハ其射撃ヲ中止セル原因ヲ察知セ  
 ナルヲ以テ再ヒ決戰ノ機ニ至リ射撃ヲ開ク爲メ其火力ヲ貯フヤヲ疑  
 懼スレハナリ且ツ我砲兵機ニ先ンシ退却スルトキハ他兵種ノ戰闘ニ  
 大害ヲ及ホスモノナリ故ニ砲兵ハ假令大ニ損害ヲ受クルモ之レヲ以  
 テ射撃ヲ停止シ或ハ陣地ヲ去ルノ理由トナスヲ得ス時トシテハ其火  
 砲ノ失亡ハ固ヨリ過失ニアラサルノミナラス反ツテ砲兵ハ榮譽トス  
 ル所ナリ

陣地進入

陣地ニ進入スルニハ力メテ長ク道路上ヲ行進シ且ツ遮蔽物ヲ利用ス  
 ルヲ要ス之レカ爲メ砲車縱隊ヲ用ユルヲ可トス而シテ爲シ得レハ縱  
 長ヲ減ゼンガ爲メ多クノ並行路ヲ利用スルコトニ注意スヘシ然レト  
 モ遮蔽シテ陣地ニ近接シ能ハサルトキハ成ルベク廣濶ナル正面ヲ以  
 テ進ムベシ而シテ展開ハ力メテ敵ノ射撃外若クハ遮蔽物ノ背後ニ於

テスベシ

敵前ニ於テ屢々隊形ヲ變換スベカラス又敵火ノ下ニ在ツテハ力メテ  
 側面運動ヲ避ケ已ムヲ得サルトキハ砲車縱隊ヲ以テスルヲ良トス  
 歩度ノ適用ハ戰闘ノ目的戰況及ビ地形ニ關シ馬力ヲ顧慮スルヲ要ス  
 ト雖トモ爲メニ機ヲ失スルコトナク砲車ヲシテ放列陣地ニ到ラシメ  
 得ルヲ以テ基準ト爲スヘシ  
 土地ノ稜線後ニ陣地ヲ撰定シタルトキ地形地質之ヲ許セバ射撃ヲ開  
 クノ前砲車ヲ其稜線ニ出スコトナク其背後ニ於テ先ツ發射準備ヲ整  
 ヘタル後チ臂力ヲ以テ一齊ニ之ヲ進出セシメ直接照準ヲナシ得ルノ  
 度ニ止ムヘシ

陣地進入ニ先タチ時間ニ餘裕アルカ又ハ數中隊同時ニ射撃ヲ開クヲ  
 要スルトキハ先ツ遮蔽セル準備陣地ニ到リ万般ノ射撃準備ヲ整へ靜



肅ト順序トヲ保チ進入スルヲ要ス  
陣地ノ變換ハ何レノ場合ヲ問ハス一時効力ヲ失フモノナレハ戦闘ノ  
目的ヲ達スル爲メ必要ナルニ非ラザレバ之レヲ爲スベカラズ若シ之  
レヲ爲スニ當リ數中隊ナルトキハ地形ヲ利用シテ多クハ梯隊ヲ以テ  
之ヲナス

●攻撃ニ在ツテハ我歩兵攻撃前ニ守者ノ砲兵ヲ擊碎センガ爲メ成ルヘ  
ク速ニ全砲員ヲシテ戦闘ニ與カラシムルヲ以テ原則トナス既ニ敵ノ  
砲兵ヲ萎靡セシメハ我攻撃點ヲ射擊シ歩兵攻撃ノ準備ヲナス時トシ  
テハ歩兵ノ前進ヲ誘導スルタメ屢陣地ヲ轉シテ歩兵ノ火戰ヲ援助セ  
シムルコトアリ如此位置ノ變換ハ志氣ノ振興ニ於テ大ニ利アルモノ  
トス彼我ノ歩兵大ニ接近シ攻撃點ニ向ツテ射擊ヲナス能ハサルニ至  
レハ砲兵ハ尙ホ戦闘ニ與ル所ノ敵ノ砲兵ヲ射擊シ且ツ新ニ來援スル

敵ノ砲兵或ハ敵ノ豫備隊ヲ射擊スヘシ而シテ攻撃不利ナルトキハ我  
歩兵ノ退却ヲ收容スル任ヲ有ス  
擊退セシ敵ヲ追擊スルニハ通常前方ニ適良ノ陣地ヲ占領スヘシト雖  
トモ成ルヘク射擊ヲ中止セサルヲ勉ムヘシ  
●守戰ニ在ツテハ砲兵ハ最初ニ戦闘ヲ開始シ敵ノ展開ヲ妨害スヘキナ  
リ若シ敵兵主力ヲ以テ來ルノ方向當初ニ於テ分明ナラサルトキハ砲  
兵ノ大部ハ概ネ之レヲ豫備トス然レトモ砲戰一タヒ起ラハ其全砲兵  
ヲシテ猛烈ニ射擊セシムルコト攻戰ニ同シ又若シ敵カ我ニ優ルノ砲  
數ヲ以テ砲火ヲ開クトキ我位置優等ナラサル等ノタメ砲戰ヲナスコ  
ト能ハサルトキハ勉メテ攻者ノ砲擊ヲ避ケ敵ノ歩兵近接スルヲ待ツ  
テ之ヲ射擊スヘシ  
準備火戰間ハ常ニ攻者ノ砲兵ニ對シテ射擊シ攻撃實施間ハ殊ニ歩兵



ニ對シテ射撃シ敵兵近逼セハ霰彈ヲ以テ小銃急射撃ヲ援助シ敵兵退却セハ其砲火ヲ敵ノ密集隊ニ向ケ其隊伍ヲ擾亂センコトヲ力ムヘシ之レニ反シ我若シ退却ヲ要スルトキハ後方ニ於テ收容陣地ヲ占領シ退却ヲ援助スヘシ而シ之レハ首將ノ命下ルノ後ニ於テスヘシ

其五 砲兵ノ護衛

砲兵ハ自ラ其安ヲ保ツヘキ防禦力ナク且ツ其側面ハ極メテ脆弱ナリ故ニ何レノ時ニ於テモ砲兵ハ其近傍ニアル兵隊ノ掩護ヲ受クルモノトス是レ近傍兵隊ノ長ハ何レノ時ニ於テモ之ヲ援護スルノ義務ヲ有スレハナリ然レトモ砲兵一時他兵種ノ隊ト隔絶セサルヲ得サルトキハ之ニ一ノ護衛隊ヲ附ス  
護衛兵ノ兵力ハ情況ニ應シテ之ヲ定ムル者ニシテ通常砲兵一中隊ニ

護衛兵ノ兵力

護衛兵ノ動作

ハ歩兵一中隊又ハ騎兵一或ハ數小隊ヲ以テス  
護衛兵若シ歩兵ナレハ敵ヲ我砲隊ヨリ成ルヘク遠隔ノ地ニ支持スル爲メ砲煩ヨリ成ルヘク前進シ射線ノ外方ニ占位シ又所要ナレハ一部隊ヲ以テ特ニ側面ヲ警戒スヘシ護衛兵若シ騎兵ニシテ砲隊ニ先行スルトキハ同時ニ危殆ナル側面ヲ警戒シ砲隊駐止セハ其正面ヲ開キ其後方及ヒ側方ニ占位シ時機ニ乘シ襲撃ヲ以テ之ヲ掩護スルニ便ナル如クスヘシ若シ徒歩スル時ハ歩兵ニ準ス

其六 諸國砲兵使用意向ノ約説

砲兵ノ縱隊中ニ於ケル位置 各國トモ一定セル規則ナシ獨逸ニテハ種々ノ論者アリ大別スレハ甲論者ハ砲兵ノ大部分ヲ先頭ニ近キ所ニ集ムト云ヒ乙論者ハ前衛ニ小數ノ砲兵ヲ附セサルモ可ナラ



ント云フニアリ要スルニ砲兵ヲ小部分ニ分タスト云フコトニ歸ス故  
 ニ一師團許リノ行軍ニハ前衛ニ一中隊ヲ附スレハ可ナラン然レトモ  
 軍團砲兵ヲ有スルトキハ一大隊ヲ附スルヲ可トセン而シテ又速ニ先  
 頭ニ集中スル爲メ砲兵ハ長ク早步行進ヲナスノ習慣ヲ養ヒアルコト  
 ハ各國同シキカ如シ魯國ニ於テハ前衛ニ附スル砲ノ比例確然セサル  
 モ本隊ノ先頭ノ近傍ニ置クト云フコトハ各國ノ意向ト異ルコトナキ  
 カ如シ然レトモ早歩ヲ長ク行ハサルハ各國ト異ナル所トス

**攻撃ノ場合ニ於ケル砲兵ノ動作** 獨佛ニテハ戰鬪ノ初期ヨ  
 リ砲兵ヲ優勢ナラシムルヲ目的トス故ニ操典モ此主意ニテ云ヒ顯ハ  
 セリ乃ハチ前衛ニハ極少ノ砲兵ヲ附シ戰鬪ニ當ツテハ本隊ノ砲兵ハ  
 長ク早歩ヲ以テ先頭ニ集中シ一時ニ放列ヲ布クヲ目的トス之カ爲メ  
 準備陣地ニ於テ準備シ一齊ニ各砲車ヲ放列ニ備フル如クス又奧國ノ

如キハ陣地ノ後方ニ一旦集合隊形ヲ取ルノ習慣ヲ有ス此法ハ集團砲  
 兵ノ集中スルニ狭小ノ地面ニシテ足ルノ利アレトモ此集合地ヨリ陣  
 地ニ就クニハ亦多少ノ運動ヲ要スルノ害アリ

砲兵戰ノ爲メニ多クノ中隊ヲ同時ニ放列ニ出スハ尤モ望ム所ナレト  
 モ諸種ノ情況並ニ地形ノ爲メニ此クスレハ甚タ困難ナリ殊ニ遭遇戰  
 ニ在ツテハ砲兵ノ展開尤モ急ヲ要スル故通常一大隊毎ニ逐次到着次  
 第陣地ニ就カシム(如何ニ砲兵ノ展開急ヲ要スル時ト雖モ一門毎ニ逐  
 次放列ニ就カシムルハ嚴禁ナリ)

然レトモ陣地ニアル敵ニ對スル時ハ全砲兵ヲ一時ニ出スコト尤モ緊  
 要ナリ而シテ多數ノ砲兵ヲ放列ニ就カシムルトキ全砲皆ナ能ク目標  
 ヲ見得ル如キ陣地ハ稀ナリ必ス其中ノ若干ハ間接射撃ヲナサ、ルヘ  
 カラサルノ場合多キヲ覺悟スルヲ要ス凡ソ砲兵ヲ一時ニ陣地ニ就カ



シムルハ尤モ必要ナルコトニシテ之ヲ實施スル爲メ普國ニ於テハ所  
要ノ際砲兵集中ノ爲メ前夜ヨリ夜行軍ヲ爲スモ敢テ厭フ所ニ非ラス  
ト云ヘリ

魯國ハ普佛ト異ナリ砲兵ノ陣地ニ就クハ歩兵ノ戰線ニ就クニ比例ス  
トセリ乃チ必要ニ應シテハ各師團ヨリ若干宛ヲ取テ豫備砲兵トス故  
ニ戰ノ初メニハ少數ノ砲兵ノミヲ戰線ニ出タシ恰モ攻撃偵察ノ如キ  
コトヲナスナリ假令多クノ砲兵ヲ戰線ニ出スコトアルモ中隊各個ノ  
如キ運動ヲナシ集團砲兵ノ使用ニハ注意セサル如シ是レ魯人ハ數多  
ノ砲兵ヲ一時ニ陣地ニ出スハ甚タ困難ナリト思ヘルナリ其理由ハ今  
日マテバルガン半島ノ如キ土地ノミニテ局地戰ヲナシ未タ歐州ノ大  
平野ニ於テ砲兵ノ威力ヲ發揚スル集團射撃ノ必要ナルコトヲ知ラサ  
ルニ基因スト極言ヲ放ツ誹謗者モアリ

獨逸ハ其操典ヲ見ルニ歩兵ノ攻撃ヲ容易ナラシムル爲メ砲兵ハ歩兵  
ト動作ヲ同シクスルカ如シ殊ニ普國皇帝ノ訓令ニ曰ク歩兵ト運動ヲ  
共ニスルハ可ナリ志氣ヲ鼓舞スル爲メ屢陣地ヲ變換スルハ可ナリ然  
レトモ其度數ノ屢ナル爲メ反ツテ射撃効力ヲ減セサルコトヲ顧慮ス  
ヘシト乃チ普國砲兵ハ九百米突位マテ前進セシコトアリ又尙ホ一層  
志氣ヲ鼓舞スル爲メ時トシテハ四五百米突マテ進ミ霰彈射撃ヲナス  
コトモアリ大凡ソ各國トモ近距離マテ砲兵ヲ進ムルコトアレトモ此  
ク獨逸ノ如ク甚シカラス蓋シ此勇進ハ獨逸ノ勇敢ト云フヘキ者?

陣地砲兵 (曲射砲) 魯ハ十五珊知白砲ヲ用ヒ六門中隊トシ砲卒ハ乘  
車シ得テ野砲ト同一ノ運動ヲナス佛國ハ十二珊知ノ榴彈砲ヲ用ヒ魯  
ト同シ運動性ヲ有ス獨ハ十五珊知ノ榴彈砲ヲ用ヒ威力ハ魯ニ劣ラサ  
レトモ運動性ハ彼ニ劣ルナリ獨ハ此砲ヲ使用スルニ木製ノ砲床ヲ置



キ砲卒ハ徒歩シ歩度ハ早歩ヲ行ハス則チ獨魯ハ材料ノ點ニテハ稍異ナレトモ其使用ノ目的ハ共ニ軍ノ豫備砲兵トナシ攻撃ニ使用スル目的ナリ但シ敢テ敵ノ砲兵ト威力ヲ争ヒ對戦スルヲ主意トナサス何トナレハ射撃ノ精度速度射距離等野戰砲ヨリ劣レハナリ魯ノ使用法ハ約千米突ノ距離マテ野戰砲兵力カ接近シタル時此陣地砲兵ヲ出シ通常約千八百米突ノ距離ニ於テ陣地ヲ占ムルナリ此陣地砲ハ最大射距離三千米突ヲ有スレトモ二千五百米突以上ニ至レハ精度確實ナラス又變裝藥ナル故千八百米突以内ニモ接近シ得ヘシ目下此砲ノ射程短カキヲ缺點トシ遠距離ヨリ射撃シ得ル如ク改正ヲ行ハントシツ、アル如シ

獨ノ榴彈砲ハ六門中隊ナリ此材料ハ重量大ナル故運動自由ナラス爲メニ道路ノ傍ニ陣地ヲ取り間接射撃ヲ行フコトトナセリ此砲兵ノ用

法ハ野戰永キニ亘ルヲ豫想シタルトキニ於テ使用スル者ナリ蓋シ此等ノ曲射砲採用以來各國ノ試験ナキヲ以テ充分ニ詳論スルコト難シ

### 騎砲兵

騎砲兵ハ騎兵師團ト運動ヲ共ニシ騎兵ノ他兵種ニ對スル

トキ騎兵ノ支援タル者ナリ然レトモ騎兵ト騎兵ト相對スルトキノ戰鬪ハ一瞬ニシテ變化シ不定ナル故此砲兵ヲ使用スルヤ否ヤハ隊長ノ考ニアリ魯ニテハ騎兵ト騎兵トノ戰鬪ニモ必ラス側面或ハ他ノ任意ノ點ニ於テ霰發射撃ヲ行フマテ接近シテ射撃スルコト、セリ

一般ニ騎砲兵ハ騎兵師團ト共ニ獨立シテ軍ノ前方ニ動作シ而シテ兩軍戰鬪ノ始マリシトキ騎兵ト共ニ側面ニ出テ、動作スル者トス往昔獨逸ノ規則ニテハ騎兵モ亦騎砲兵モ師團ト分離シテ野砲兵ト共ニ同様ノ任務運動ヲナサシメシカ近頃ハ之レヲ廢シ騎兵ト常ニ共ニシ分